

瑞穂町子ども・若者の生活実態調査 報告書



瑞穂町公式キャラクター
みずほまる

令和 7 年 3 月
瑞 穂 町

目 次

I. 調査実施概要.....	1
1. 調査実施目的.....	1
2. 調査実施概要.....	1
3. 報告書を見る際の留意点.....	2
II. 調査結果のまとめ.....	3
III. 調査結果.....	5
1. 小学5年生・中学2年生.....	5
2. 小学5年生・中学2年生保護者.....	14
3. 町内在住の16歳・17歳.....	27
4. 町内在住の18歳～39歳.....	38
IV. 資料編.....	48
1. 自由記述の概要.....	48
2. 調査票.....	63

I. 調査実施概要

1. 調査実施目的

この調査は、こども基本法が令和5年4月1日に施行されたことに伴い、令和7年度を初年度とする「瑞穂町子ども計画」を新たに策定するための基礎資料として、子どもの意見や町の現状と今後の課題を把握することを目的に実施しました。

2. 調査実施概要

本調査の実施概要は、以下のとおりです。

●調査対象者

調査の種類	対象者
小学生・中学生	町内の小学5年生・中学2年生
小学生・中学生保護者	小学5年生・中学2年生の保護者
16歳・17歳	町内在住の16歳・17歳
18歳～39歳	町内在住の18歳～39歳のうち1,000人を無作為抽出

●調査実施期間及び方法

調査の種類	調査期間	調査方法
小学生・中学生	令和6年7月12日～8月2日	学校による配布・回収
小学生・中学生保護者	令和6年7月26日～8月16日	郵送配布・郵送回収
16歳・17歳		
18歳～39歳		

※なお、調査票には二次元コードを添付し、Webによる回答も可能とした。

●回収結果

調査の種類	調査票配布数	有効回収数		有効回収率
			うち Web	
小学生・中学生	507	325	22	64.1%
小学生・中学生保護者	489	150	27	30.7%
16歳・17歳	285	72	18	25.3%
18歳～39歳	1,000	166	48	16.6%

3. 報告書を見る際の留意点

●回答率について

- ・比率は全て百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。
- ・グラフ内の「n」は、回答者数を表します。各グラフの比率は「n」を母数とした割合を示しています。
- ・1人の回答者が複数回答することができる設問（複数回答）では、比率の合計が100%を超えることがあります。
- ・単一回答の設問で複数回答している回答者は、「無回答」として集計しています。

●表記について

- ・選択肢の語句が長い場合、本文や図表中では省略した表現を用いている場合があります。
- ・文章中で選択肢を引用する場合は「 」を用い、設問内の種別を引用する場合は【 】、
選択肢を合算して表示する場合は『 』を用いています。

Ⅱ．調査結果のまとめ

○ こどもの権利に関する認知度について、「詳しく知っている」と「少し知っている」を足した割合でみると、16 歳・17 歳が最も多い一方、小・中学生の認知度が最も低くなっていることから、子どもへの周知・啓発活動をさらに充実していく必要があります。

○ 遊びや体験のニーズとして、小・中学生では「生き物とふれあう場所」、16 歳・17 歳では「買い物ができる場所」がそれぞれ最も多く挙げられています。また、共通して「大きなスポーツ施設」も多く挙げられています。様々な機会や多様な手段を用いて、町内の生き物や自然と触れ合うことができる場所を提供していくとともに、既存公園の適切な維持管理も含め、子どもたちが自然やスポーツを楽しむことができる魅力ある公園づくりを進めていくことが重要です。

○ 子どもの親同士の交流の機会については、経験したことがある方が半数を超えており、特に、小・中学生の保護者では6 割を超えています。また、親同士の交流の機会を通じて、「子育てに必要な知識や意欲が高まった」と回答された方はいずれも7 割を超えている一方、小・中学生保護者で「地域とつながりを持ちながら、子育てができるようになった」と回答された方は約4 割にとどまっています。

子育て世帯が地域とつながり合うことで、お互いの子育ての知恵や経験の共有や、困った際に周囲に手助けを求めるなど、子育てに対する不安感・負担感の軽減を図るきっかけづくりとなることも考えられます。

そのため、より地域内のつながりを広げていけるような交流の機会を増やすことで、安心して子育てができる地域づくりにつなげていくことも必要です。

○ 読書時間については、小・中学生及び16 歳・17 歳のいずれにおいても「まったくしない」が最も多くなっています。読書は、教養や知識を身につけるだけでなく、想像力豊かな人間性を育むことにもつながります。そのため、学校教育などと連携した読書機会の充実や、読書の重要性や楽しみなどを広める啓発活動を推進するなど、子どもたちが読書に触れる機会づくりに取り組んでいくことが重要です。

○ 将来の進学希望について、小・中学生では「わからない」を除き、「大学またはそれ以上」を希望している割合が約3 割、16 歳・17 歳では大学に進学を希望している割合が6 割以上を占めています。

一方で、両親がいる家庭とひとり親家庭の世帯別で小・中学生の進学希望を比較すると、「高校まで」と回答された割合は、ひとり親家庭の子どもで回答割合が高くなっています。

教育は、全ての子どもにとって差別されることなく平等に教授されるべきものであり、町に住む全ての子どもたちが希望する進学ができるよう、関係機関と連携した多様な教育支援に取り組んでいくことが重要です。

- 性暴力を受けた際に、声を上げられるかわからないと回答された方が多く、また、各相談窓口についても「知らない」と回答されている方が多くなっています。

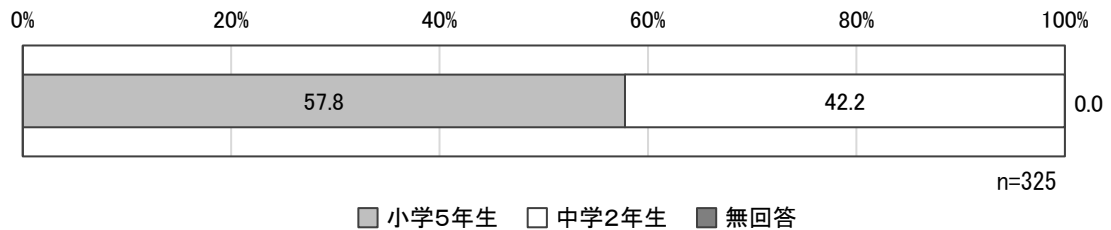
令和5年に刑法及び刑事訴訟法の一部を改正する法律が施行され、性犯罪に関する規定が大幅に見直されるなど、性暴力・性犯罪に対する社会的背景も変化する中、地域の子どもたちの誰もが性暴力や性犯罪に巻き込まれないよう、啓発活動を通じた個人及び社会の意識の変革と、性暴力・性犯罪にあった際の相談体制や切れ目のない地域支援の充実を図るなど、地域全体で子どもたちを守る体制づくりを進めることが重要です。

Ⅲ. 調査結果

1. 小学5年生・中学2年生

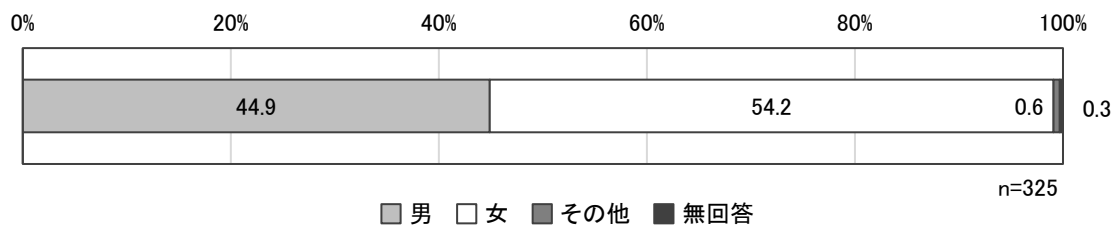
◆回答者の属性

本調査の回答者は、「小学5年生」が57.8%、「中学2年生」が42.2%となっています。



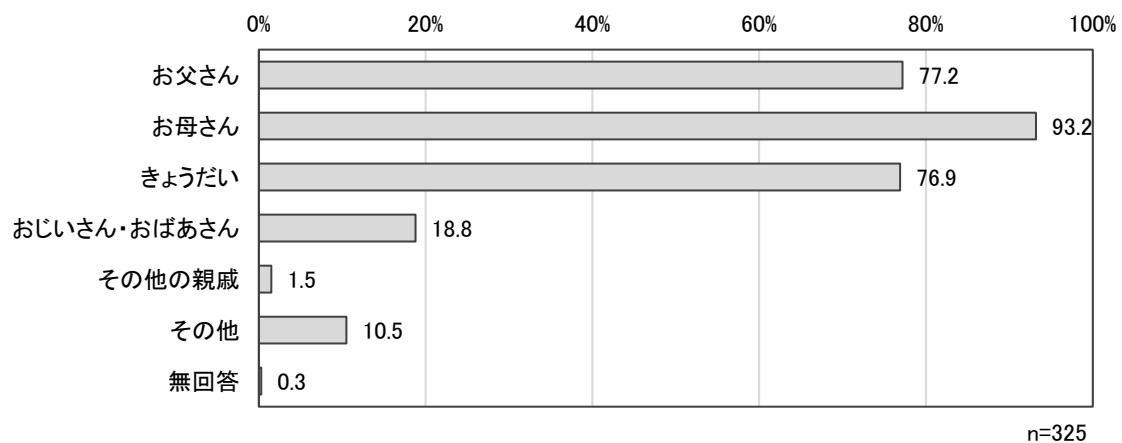
問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

性別では、「女」が54.2%と最も多く、次いで「男」が44.9%となっています。



問2 一緒に暮らしているご家族はどなたですか。(○はいくつでも)

一緒に暮らしている家族では、「お母さん」が93.2%と最も多く、次いで「お父さん」が77.2%、「きょうだい」が76.9%となっています。

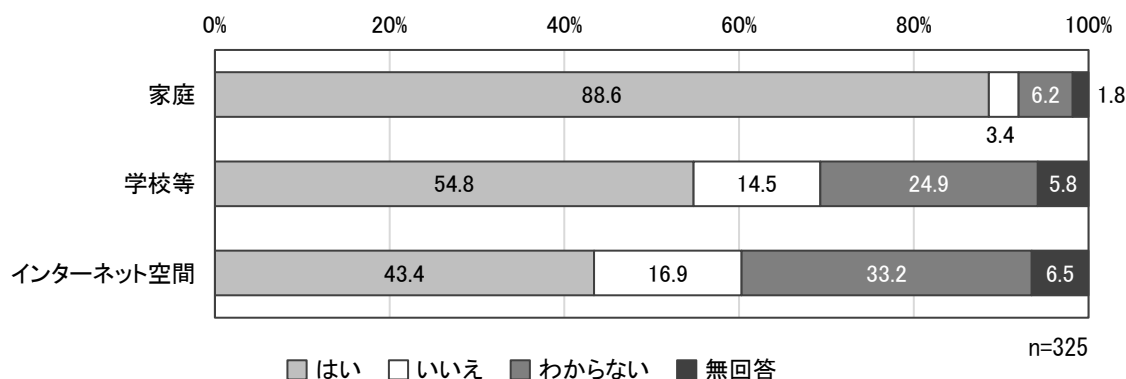


問3 次の場所は、あなたにとって、ほっとできる場所・安心できる場所になっていますか。ア)～ウ) それぞれにもっともあてはまる番号に○をつけてください。
(1つに○)

【家庭】では、「はい」が88.6%「いいえ」が3.4%となっています。

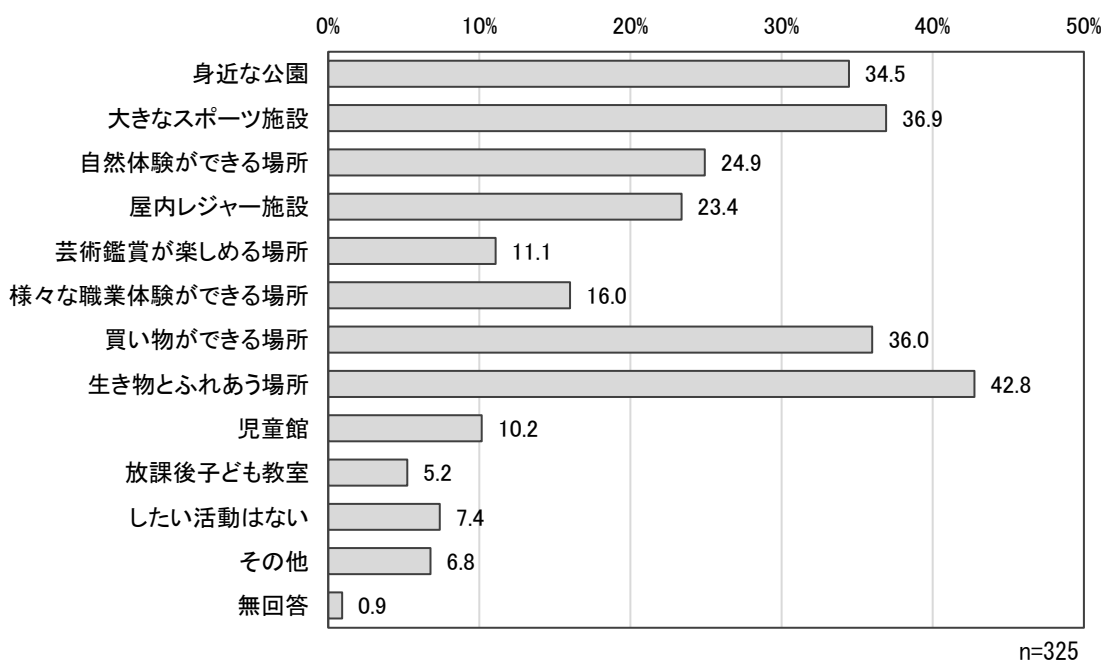
【学校等】では、「はい」が54.8%、「いいえ」が14.5%となっています。

【インターネット空間（SNS やオンラインゲームなど）】では、「はい」が43.4%、「いいえ」が16.9%となっています。



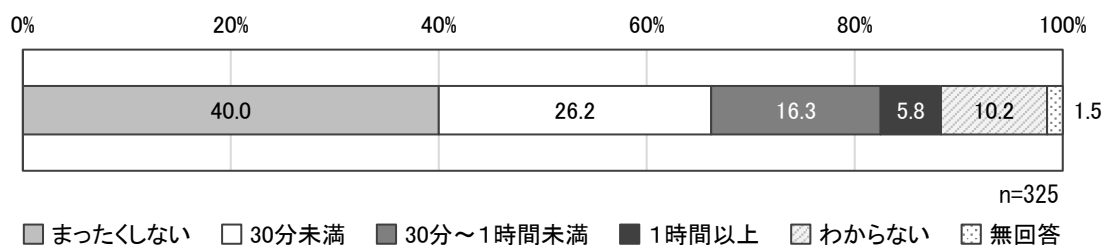
問4 あなたは、次のうち、どのようなところで遊びや体験をしてみたいですか。
(○は3つまで)

してみたい遊びや体験では、「生き物とふれあう場所」が42.8%と最も多く、次いで「大きなスポーツ施設」が36.9%、「買い物ができる場所」が36.0%となっています。



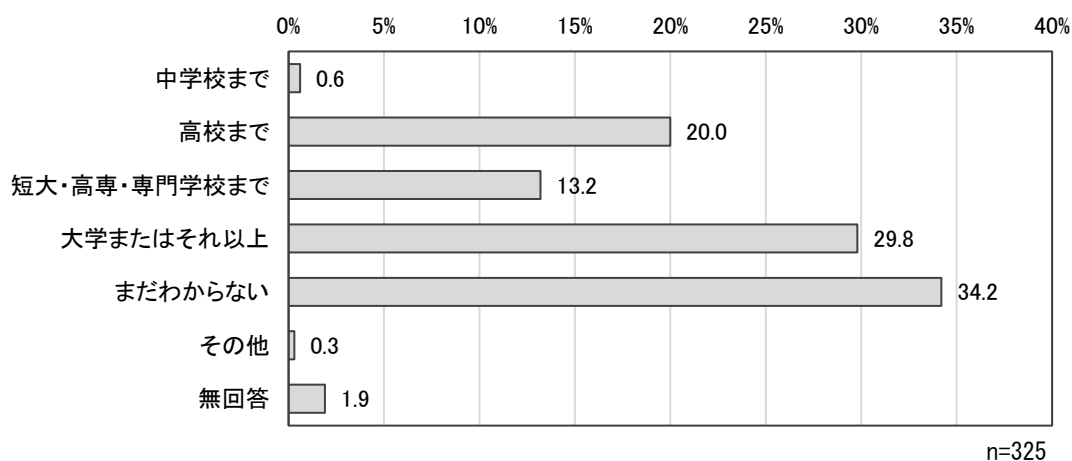
問5 あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。
(教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます。)(1つに○)

1日あたりの読書の時間では、「まったくしない」が40.0%と最も多く、次いで「30分未満」が26.2%、「30分～1時間未満」が16.3%となっています。



問6 あなたは、将来、どの段階まで進学（勉強）したいですか。(1つに○)

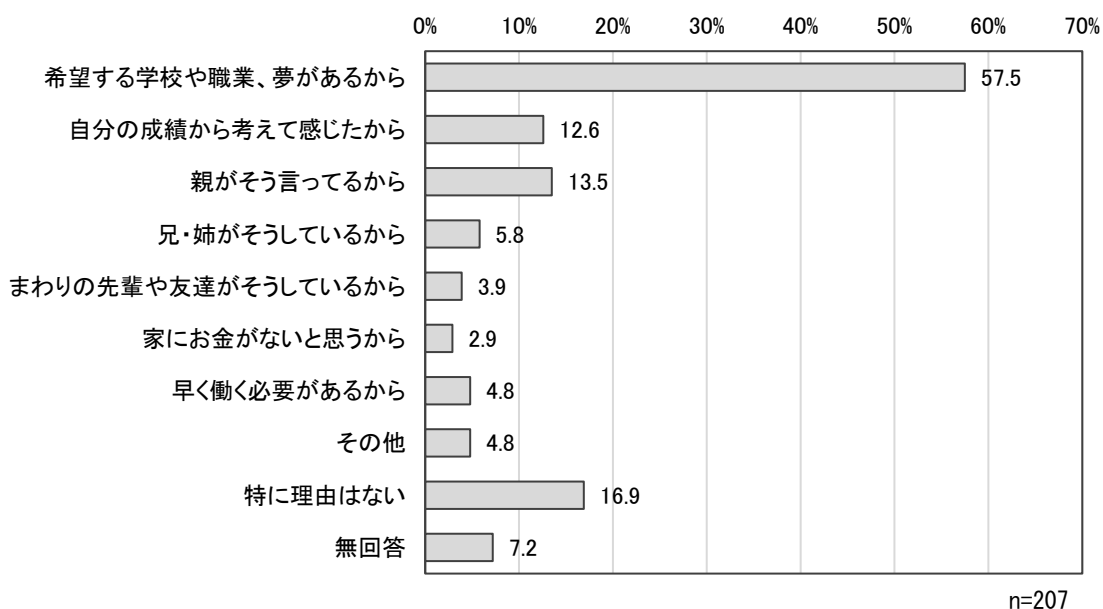
将来の進学希望では、「まだわからない」が34.2%と最も多く、次いで「大学またはそれ以上」が29.8%、「高校まで」が20.0%となっています。



【問6で「1」～「4」と答えた方にお聞きします】

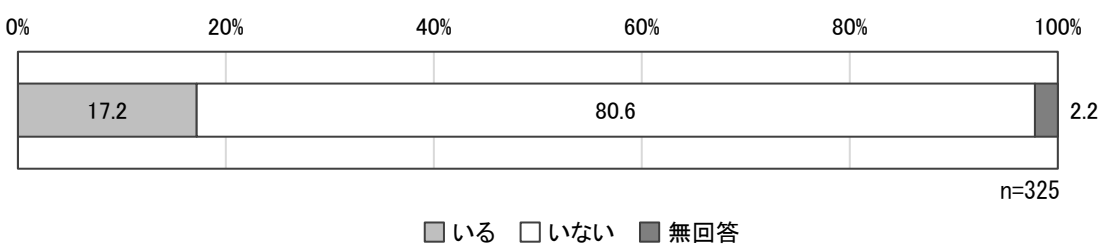
問6－1 問6で答えた理由はなぜですか。(〇はいくつでも)

進学希望した理由では、「希望する学校や職業、夢があるから」が57.5%と最も多く、次いで「特に理由はない」が16.9%、「親がそう言ってるから」が13.5%となっています。



問7 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(1つに〇)

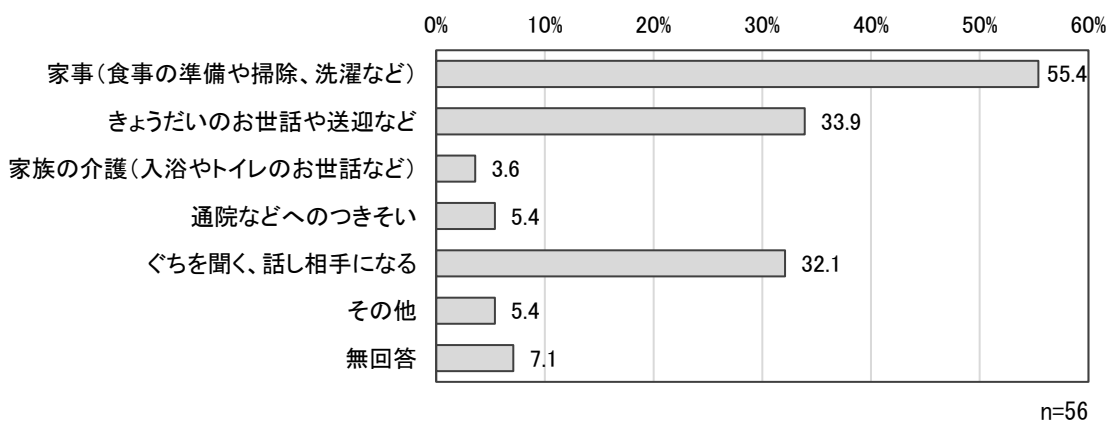
家族のお世話をしている人の状況については、「いない」が80.6%、「いる」が17.2%となっています。



【問7で「1. いる」と答えた方にお聞きします】

問7-1 あなたと一緒に暮らしている大人の代わりに行っているお世話は、どのようなものですか。(〇はいくつでも)

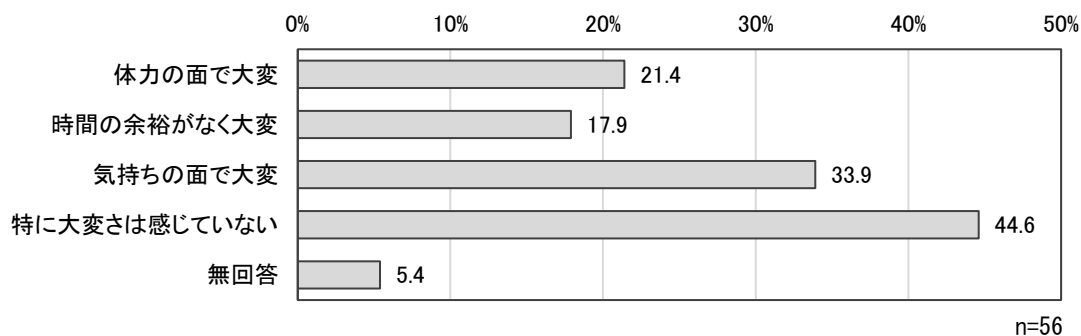
大人の代わりに行っているお世話では、「家事（食事の準備や掃除、洗濯など）」が55.4%と最も多く、次いで「きょうだいのお世話や送迎など」が33.9%、「ぐちを聞く、話し相手になる」が32.1%となっています。



【問7で「1. いる」と答えた方にお聞きします】

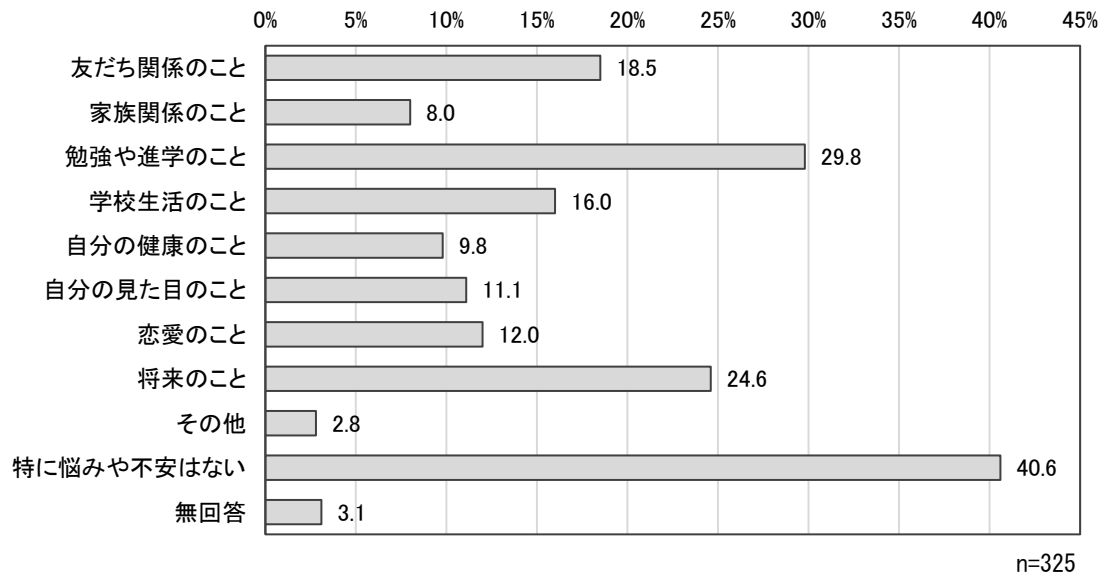
問7-2 お世話をするに次のような大変さを感じていますか。(〇はいくつでも)

お世話をするることの大変さについては、「特に大変さは感じていない」が44.6%と最も多く、次いで「気持ちの面で大変」が33.9%、「体力の面で大変」が21.4%となっています。



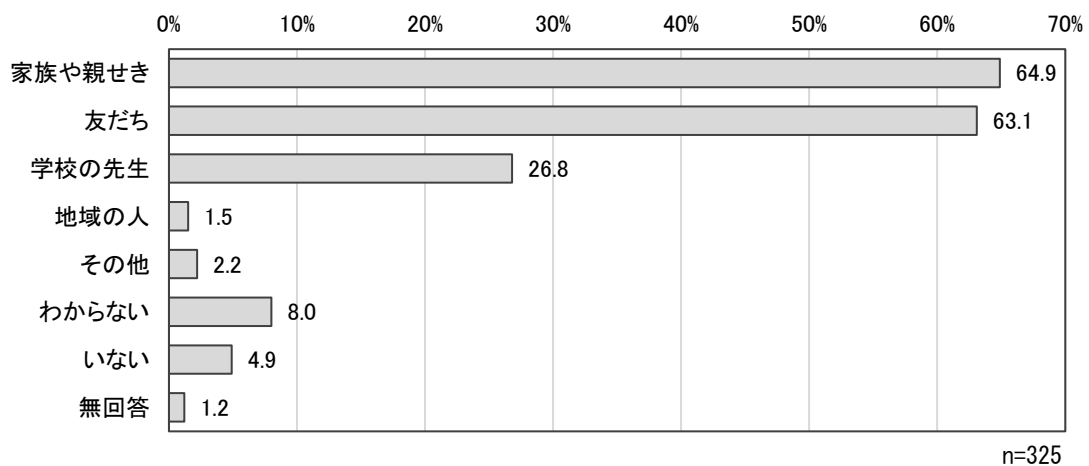
問8 現在、悩んでいることや不安に感じていることはありますか。(〇はいくつでも)

現在の不安状況については、「特に悩みや不安はない」が40.6%と最も多く、次いで「勉強や進学のこと」が29.8%、「将来のこと」が24.6%となっています。



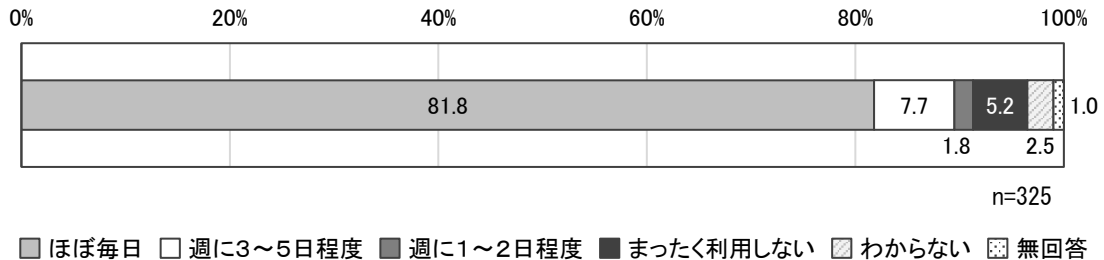
問9 あなたは、落ち込んだ時に、助けてもらったり、相談する人はいますか。(〇はいくつでも)

相談相手については、「家族や親せき」が64.9%と最も多く、次いで「友だち」が63.1%、「学校の先生」が26.8%となっています。



問 10 あなたは普段、学校以外で、インターネット（YouTube など）やSNS（LINE、X、Instagram、TikTok など）をどのくらい利用しますか。（1つに○）

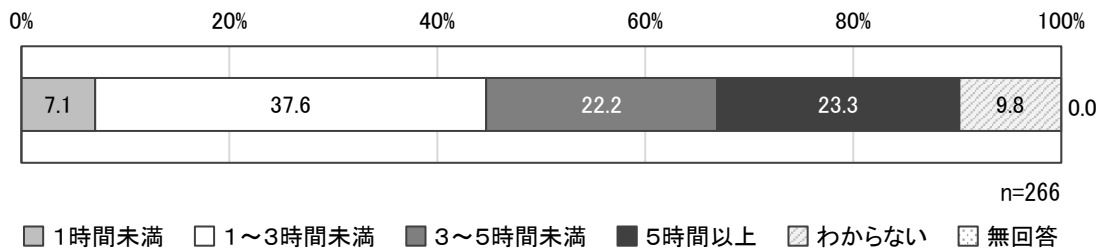
インターネットの利用頻度については、「ほぼ毎日」が81.8%と最も多く、次いで「週に3～5日程度」が7.7%、「まったく利用しない」が5.2%となっています。



【問 10 で「1. ほぼ毎日」と答えた方にお聞きします】

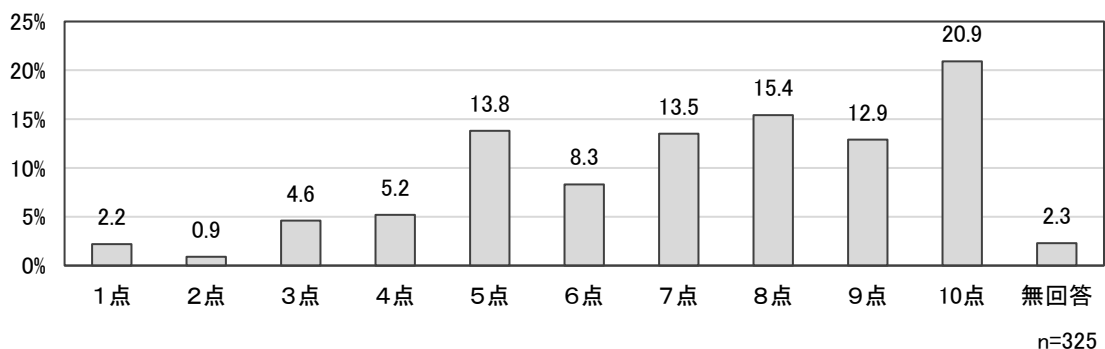
問 10-1 あなたは普段、学校以外で、インターネット（YouTube など）やSNS（LINE、X、Instagram、TikTok など）を1日にどのくらい利用しますか。（1つに○）

インターネットの利用時間では、「1～3時間未満」が37.6%と最も多く、次いで「5時間以上」が23.3%、「3～5時間未満」が22.2%となっています。



問 11 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「1」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字に○をつけてください。（1つに○）

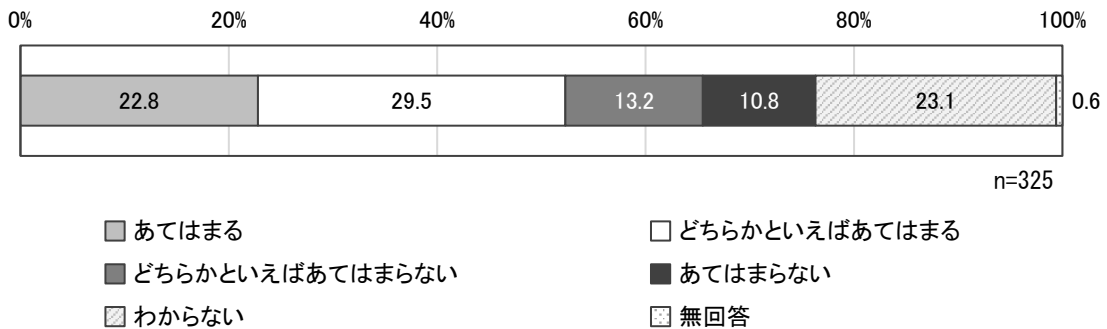
生活の満足度については、「10点」が20.9%と最も多く、次いで「8点」が15.4%、「5点」が13.8%となっています。



問 12 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものはどれですか。
(それぞれ1つに○)

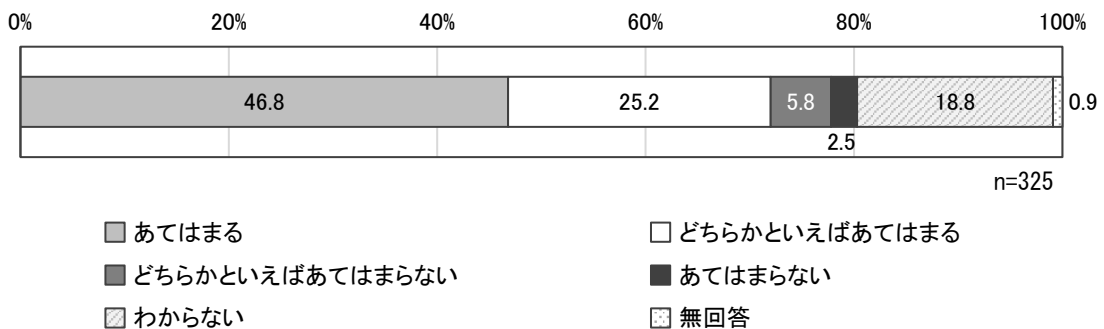
(1) 今の自分が好きだ

今の自分が好きかについては、「どちらかといえばあてはまる」が 29.5%と最も多く、次いで「わからない」が 23.1%、「あてはまる」が 22.8%となっています。



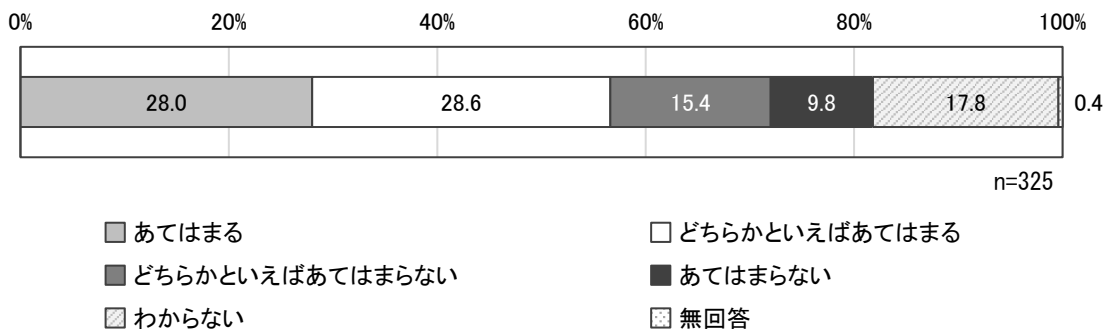
(2) 自分には自分らしさというものがあると思う

自分には自分らしさというものがあると思うかについては、「あてはまる」が 46.8%と最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が 25.2%、「わからない」が 18.8%となっています。



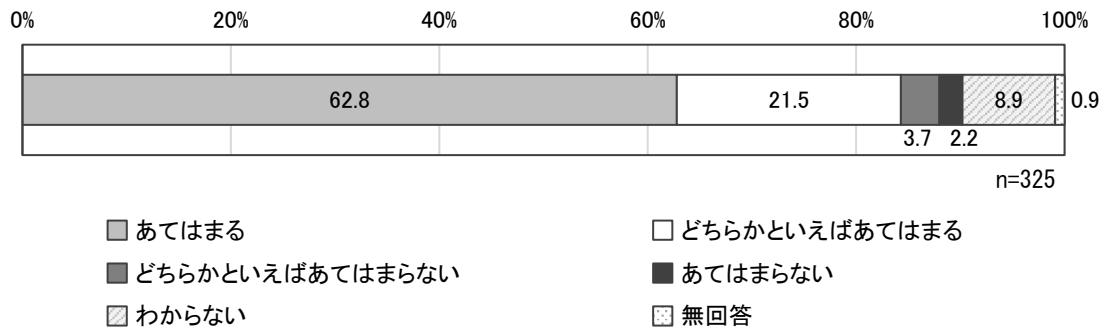
(3) 自分はだれとでもすぐに仲良くなれる方だ

だれとでもすぐに仲良くなれる方かについては、「どちらかといえばあてはまる」が 28.6%と最も多く、次いで「あてはまる」が 28.0%、「わからない」が 17.8%となっています。



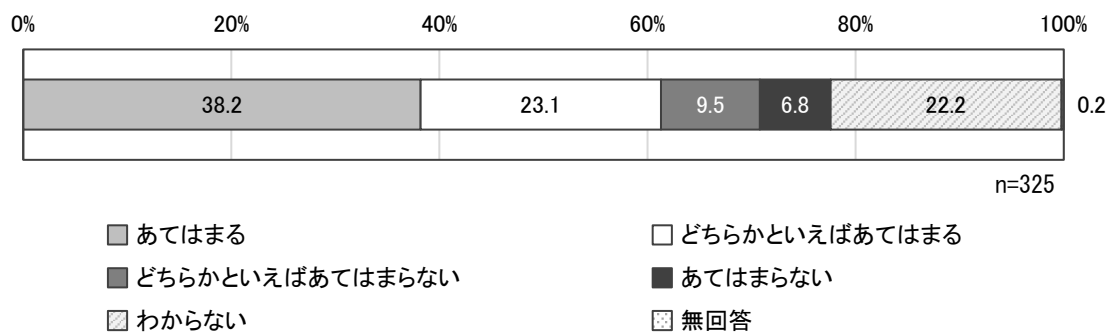
(4) 自分には困ったときに助けてくれる人がいる

困ったときに助けてくれる人がいるかについては、「あてはまる」が62.8%と最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が21.5%、「わからない」が8.9%となっています。



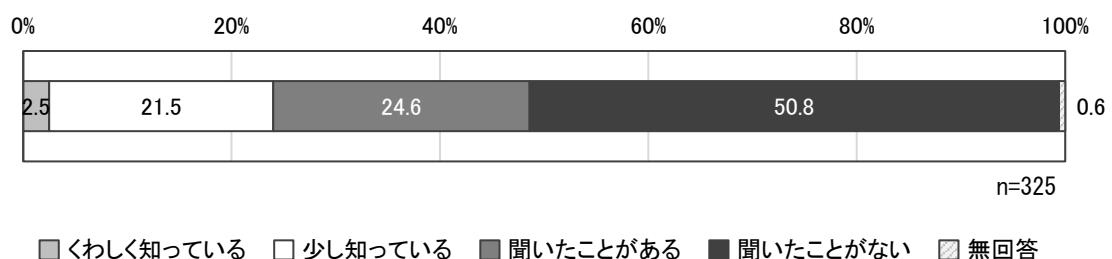
(5) 自分の将来について希望を持っている

自分の将来に希望を持っているかについては、「あてはまる」が38.2%と最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が23.1%、「わからない」が22.2%となっています。



問 13 「こどもの権利」とは、子どもが大人と同じく一人の人間として持つ権利です。権利には安心して生活できること、自由に意見を言ったり活動したりできることなどが含まれます。あなたは、「こどもの権利」について知っていますか。(1つに○)

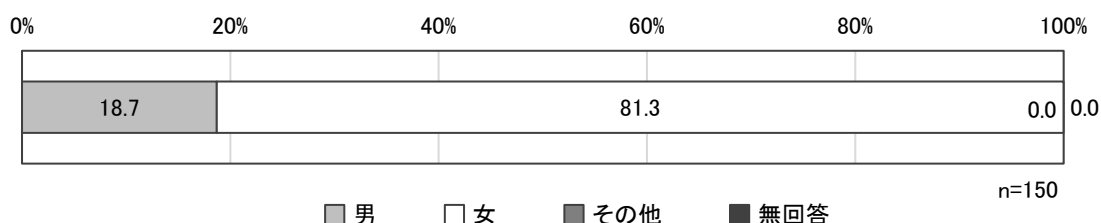
「こどもの権利」の認知については、「聞いたことがない」が50.8%と最も多く、次いで「聞いたことがある」が24.6%、「少し知っている」が21.5%となっています。



2. 小学5年生・中学2年生保護者

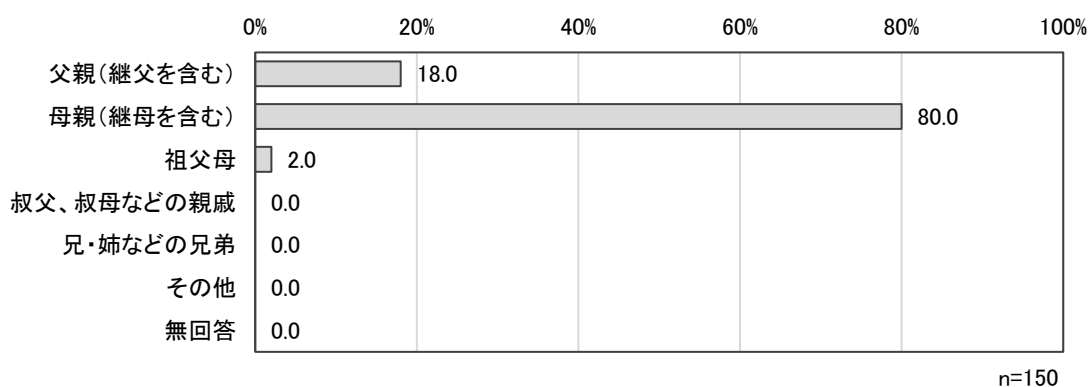
問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

回答者の性別では、「女」が81.3%、「男」が18.7%となっています。



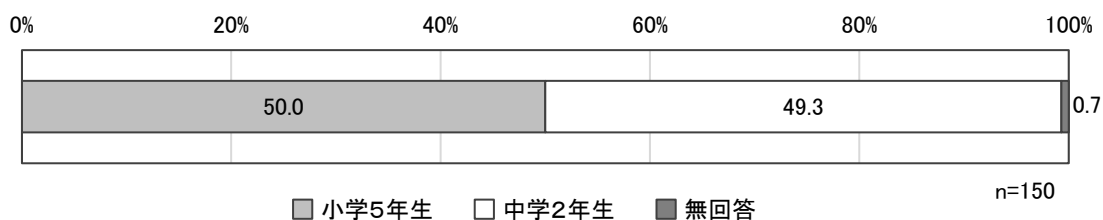
問2 お子さまとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。(1つに○)

回答者とお子さまとの関係では、「母親（継母を含む）」が80.0%と最も多く、次いで「父親（継父を含む）」が18.0%、「祖父母」が2.0%となっています。



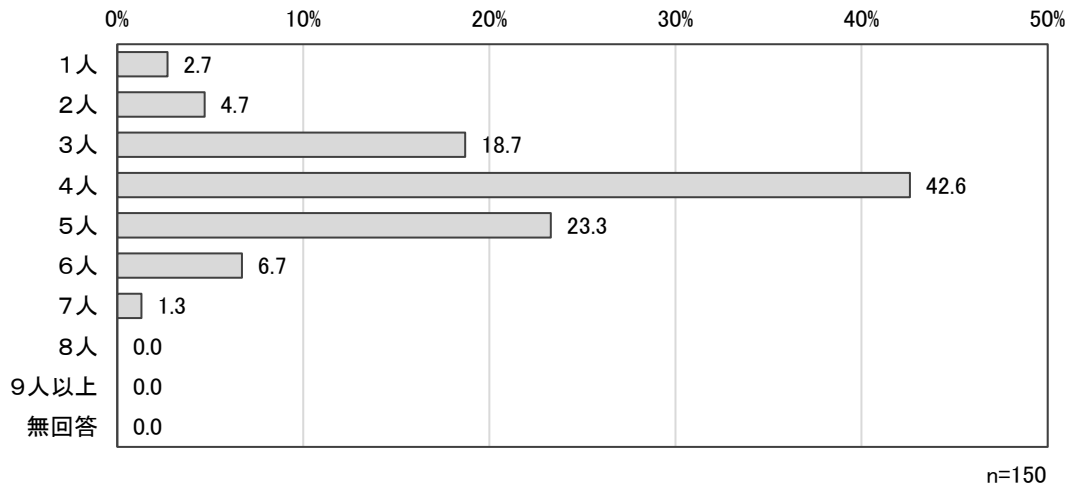
問3 調査対象となるお子さまの学年をお答えください。(1つに○)

調査対象となるお子さまの学年では、「小学5年生」が50.0%、「中学2年生」が49.3%となっています。



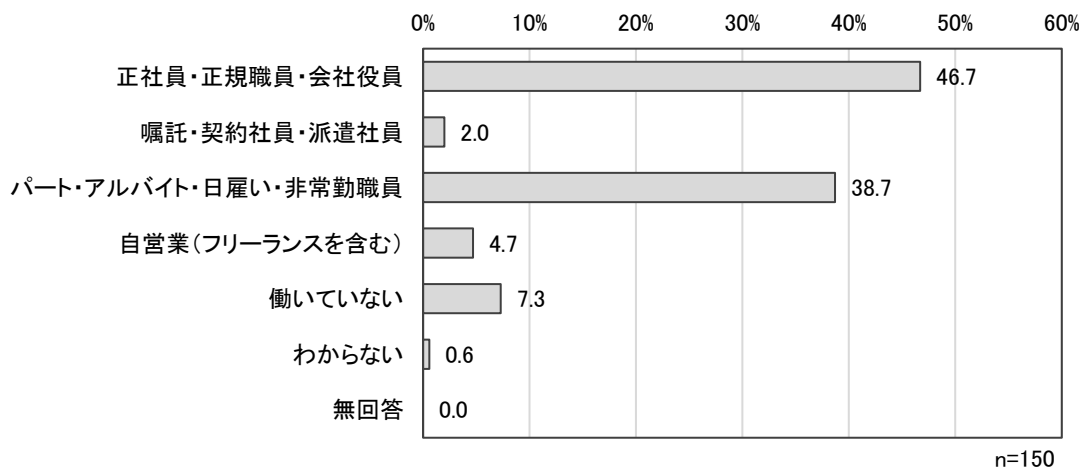
問4 お子さまと同居し、生計を同一にしているご家族の人数（お子さまを含む）をお答えください。（1つに○）

お子さまと同居し、生計を同一にしているご家族の人数（お子さまを含む）については、「4人」が42.6%と最も多く、次いで「5人」が23.3%、「3人」が18.7%となっています。



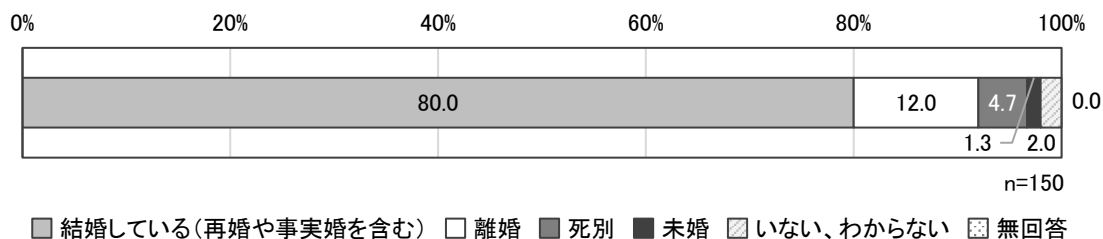
問5 あなたの就労状況について、お答えください。（1つに○）

就労状況では、「正社員・正規職員・会社役員」が46.7%と最も多く、次いで「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が38.7%、「働いていない」が7.3%となっています。



問6 あなたの婚姻状況について、お答えください。(1つに○)

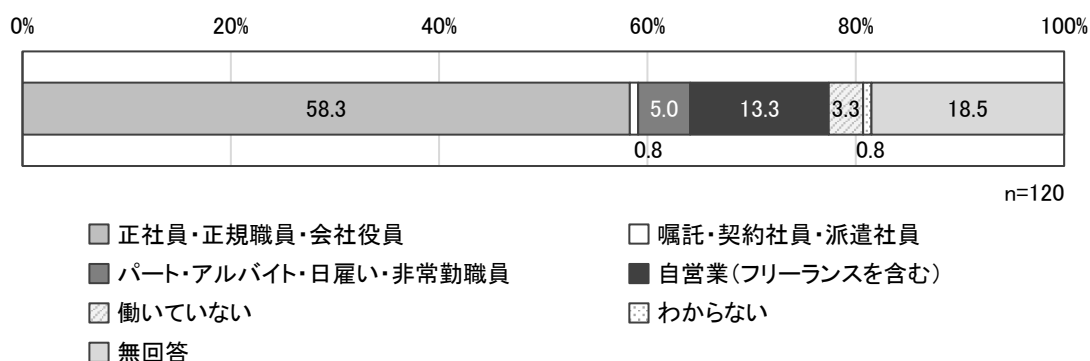
婚姻状況では、「結婚している(再婚や事実婚を含む)」が80.0%と最も多く、次いで「離婚」が12.0%、「死別」が4.7%となっています。



【問6で「1. 結婚している(再婚や事実婚を含む)」を選択した方にお伺いします】

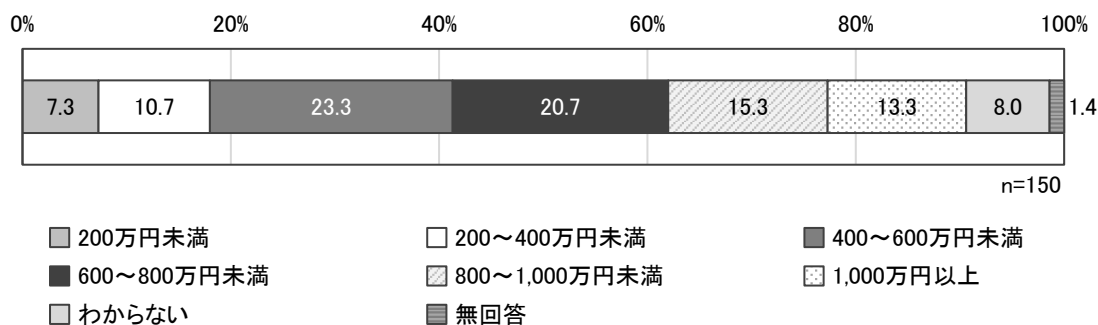
問6-1 あなたの配偶者(パートナー)の就労状況について、お答えください。(1つに○)

配偶者(パートナー)の就労状況では、「正社員・正規職員・会社役員」が58.3%と最も多く、次いで「自営業(フリーランスを含む)」が13.3%、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が5.0%となっています。



問7 前年の世帯全員の収入を合わせた「年間の世帯収入」をお答えください。(1つに○)

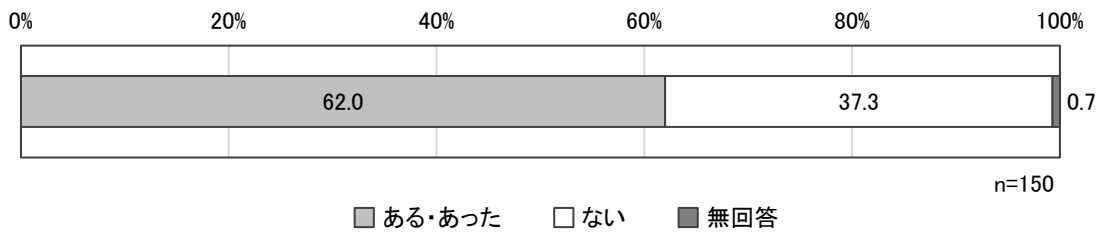
前年の世帯全員の収入を合わせた年間の世帯収入では、「400～600 万円未満」が23.3%と最も多く、次いで「600～800 万円未満」が20.7%、「800～1,000 万円未満」が15.3%となっています。



問8 あなたは、学校や地域において、子どもの親同士の交流の機会がありますか。
 (または、ありましたか。)(1つに○)
 また、「ある・あった」方はどのような交流に参加していますか。
 (または、いましたか。)記述にてご記入ください。

親同士の交流の機会は、「ある・あった」が62.0%、「ない」が37.3%となっています。

また、その交流の機会としては、学校のPTA(役員会含む)、部活の保護者会、町内会・自治会、子ども会、ご近所、お祭り(納涼祭・夏祭り等)、習い事などがありました。

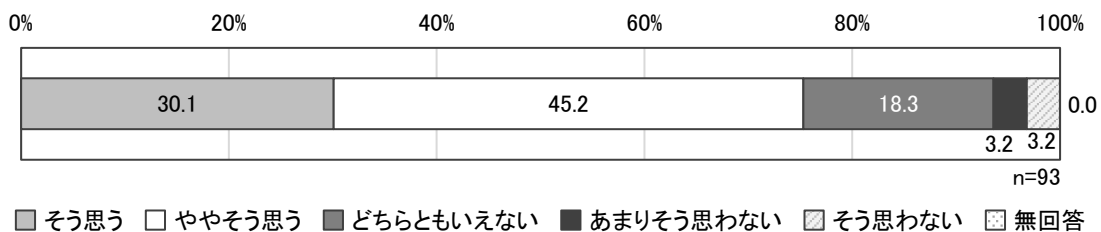


【問8で「1. ある・あった」を選択した方にお伺いします】

問8-1 親同士の交流を通じて、ご自身にとってどのような変化があったと思いますか。
 (それぞれ1つに○)

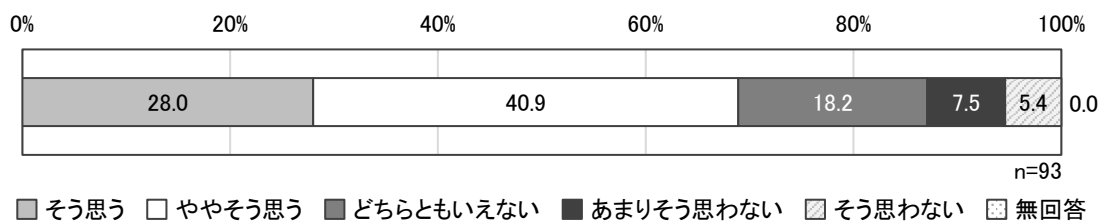
(1) 子育てに必要な知識や意欲が高まった

子育てに必要な知識や意欲の高まりについては、「ややそう思う」が45.2%と最も多く、次いで「そう思う」が30.1%、「どちらともいえない」が18.3%となっています。



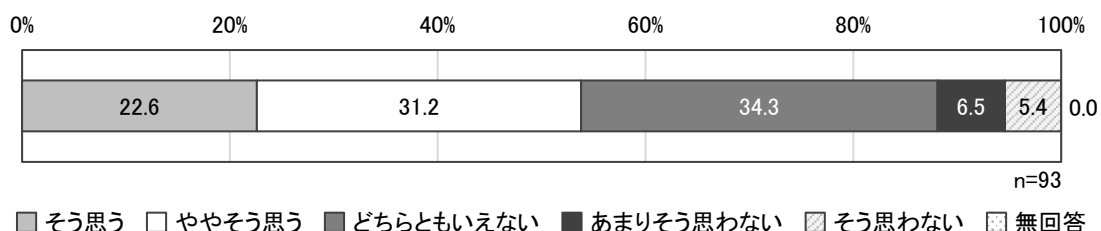
(2) 子育てに対して悩みや不安、孤立感が軽減した

子育てに対して悩みや不安、孤立感の軽減については、「ややそう思う」が40.9%と最も多く、次いで「そう思う」が28.0%、「どちらともいえない」が18.2%となっています。



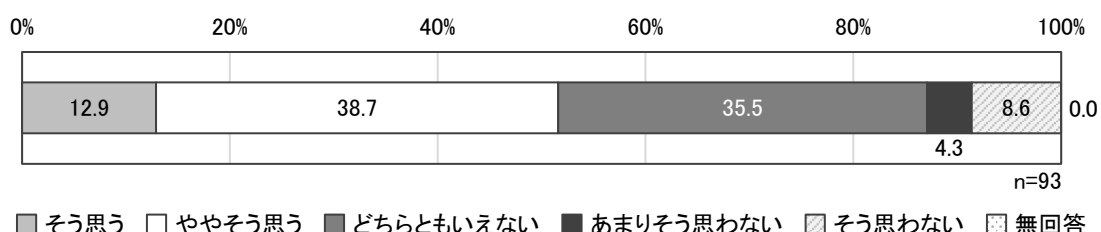
(3) 家族で協力しながら子育てができるようになった

家族で協力しながら子育てができるようになったかでは、「どちらともいえない」が34.3%と最も多く、次いで「ややそう思う」が31.2%、「そう思う」が22.6%となっています。



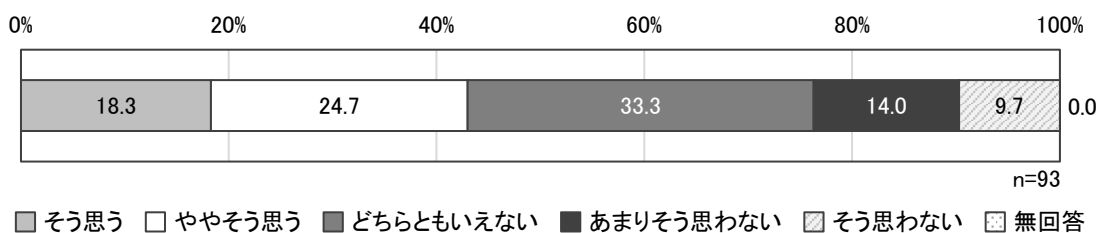
(4) 学校と協力（相談）しながら子育てをするようになった

学校と協力（相談）しながら子育てをするようになったかでは、「ややそう思う」が38.7%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が35.5%、「そう思う」が12.9%となっています。



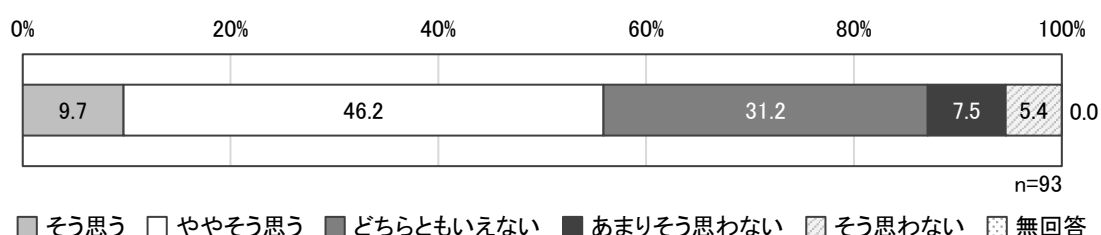
(5) 地域とつながりを持ちながら、子育てができるようになった

地域とつながりを持ちながら、子育てができるようになったかでは、「どちらともいえない」が33.3%と最も多く、次いで「ややそう思う」が24.7%、「そう思う」が18.3%となっています。



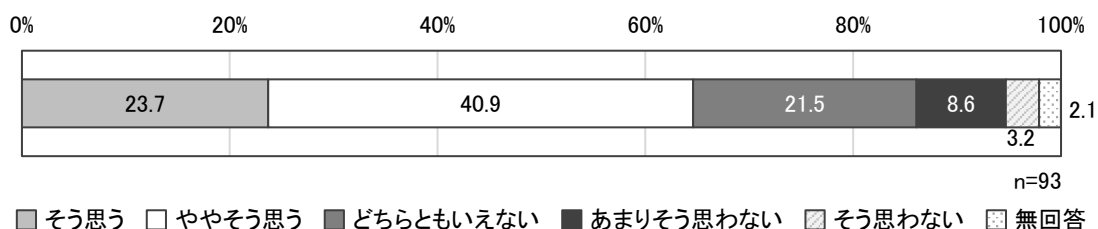
(6) 子育てに関して必要な情報を必要なときに入手できるようになった

子育てに関して必要な情報を必要なときに入手できるようになったかでは、「ややそう思う」が46.2%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が31.2%、「そう思う」が9.7%となっています。



(7) 子育てに関して必要なときに身近な相手に相談できるようになった

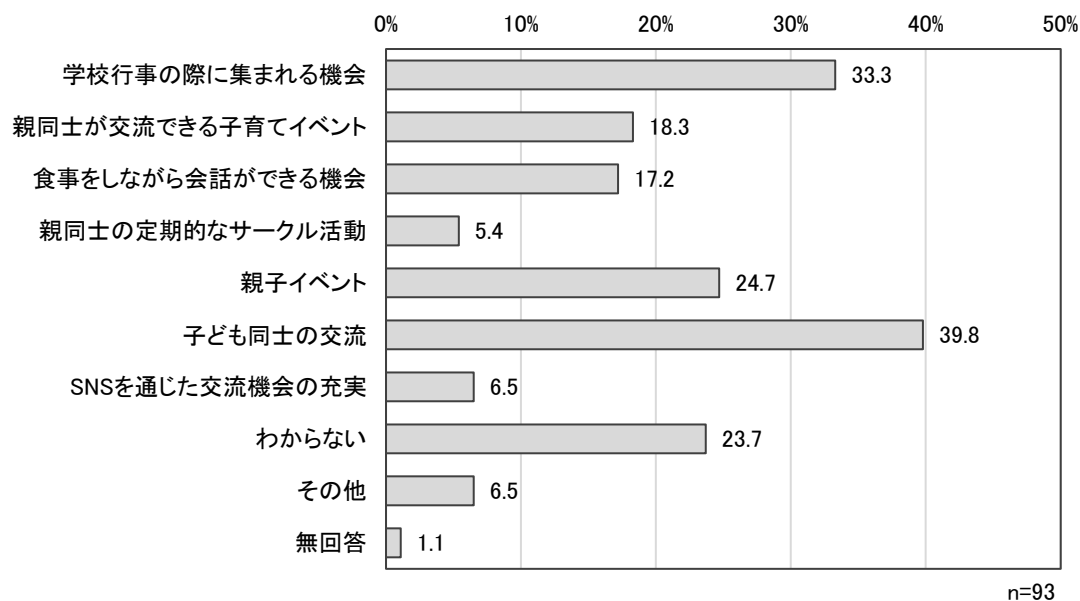
子育てに関して必要なときに身近な相手に相談できるようになったかでは、「ややそう思う」が40.9%と最も多く、次いで「そう思う」が23.7%、「どちらともいえない」が21.5%となっています。



【問8で「1. ある・あった」を選択した方にお伺いします】

問8-2 親同士の交流を深めるために、どのような機会があればいいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

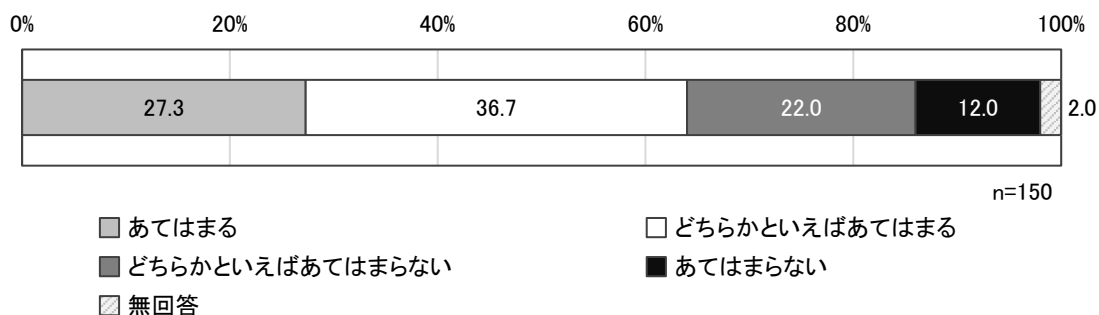
学校や地域において、親同士の交流を深めるために、どのような機会があればいいと思うかについては、「子ども同士の交流」が39.8%と最も多く、次いで「学校行事の際に集まれる機会」が33.3%、「親子イベント」が24.7%となっています。



問9 保護者の方とお子さまの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(それぞれ1つに○)

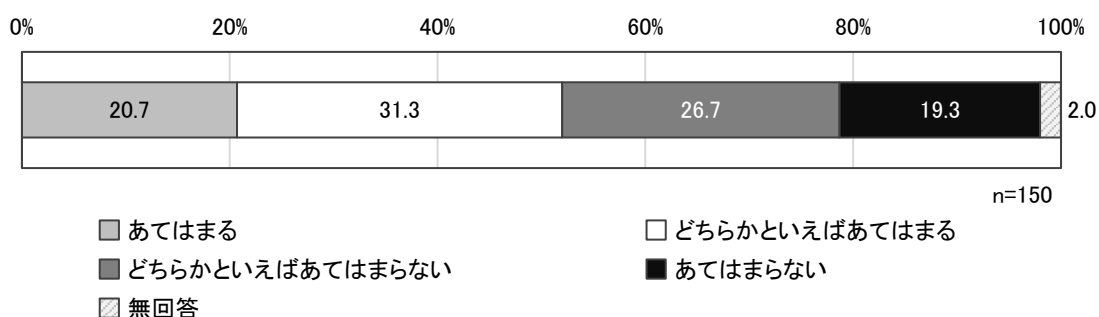
a) テレビ・ゲーム・インターネットなどの視聴時間等のルールを決めている

テレビ・ゲーム・インターネットなどの視聴時間等のルールを決めているかでは、「どちらかといえばあてはまる」が36.7%と最も多く、次いで「あてはまる」が27.3%、「どちらかといえばあてはまらない」が22.0%、「あてはまらない」が12.0%となっています。



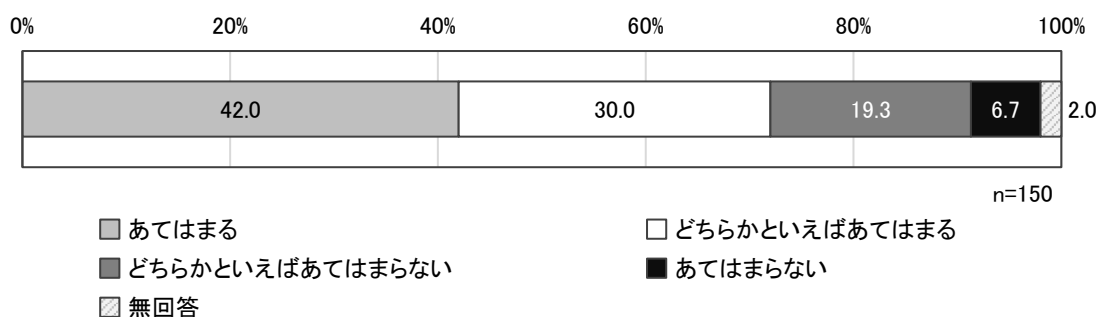
b) お子さまに本や新聞を読むように勧めている

お子さまに本や新聞を読むように勧めているかでは、「どちらかといえばあてはまる」が31.3%と最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」が26.7%、「あてはまる」が20.7%となっています。



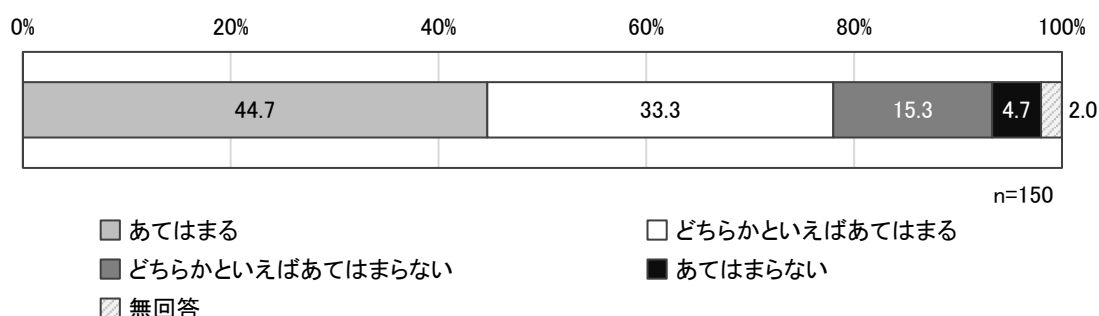
c) お子さまが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

お子さまが小さいころに絵本の読み聞かせをしていたかでは、「あてはまる」が42.0%と最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が30.0%、「どちらかといえばあてはまらない」が19.3%となっています。



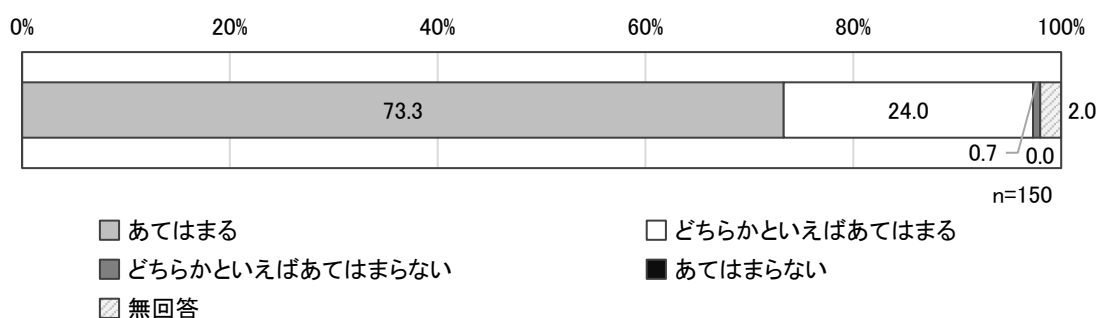
d) お子さまから、学校のことについて話をしてくれる

お子さまから、学校のことについて話をしてくれるかでは、「あてはまる」が 44.7%と最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が 33.3%、「どちらかといえばあてはまらない」が 15.3%となっています。



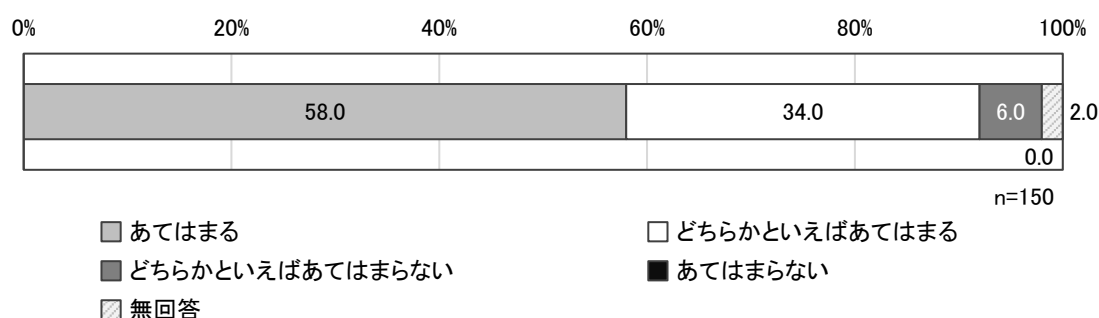
e) お子さまが悪いことをしたらきちんとしかっている

お子さまが悪いことをしたらきちんとしかっているかでは、「あてはまる」が 73.3%と最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が 24.0%、「どちらかといえばあてはまらない」が 0.7%となっています。



f) お子さまの良いところをほめるなどして自信を持たせるようにしている

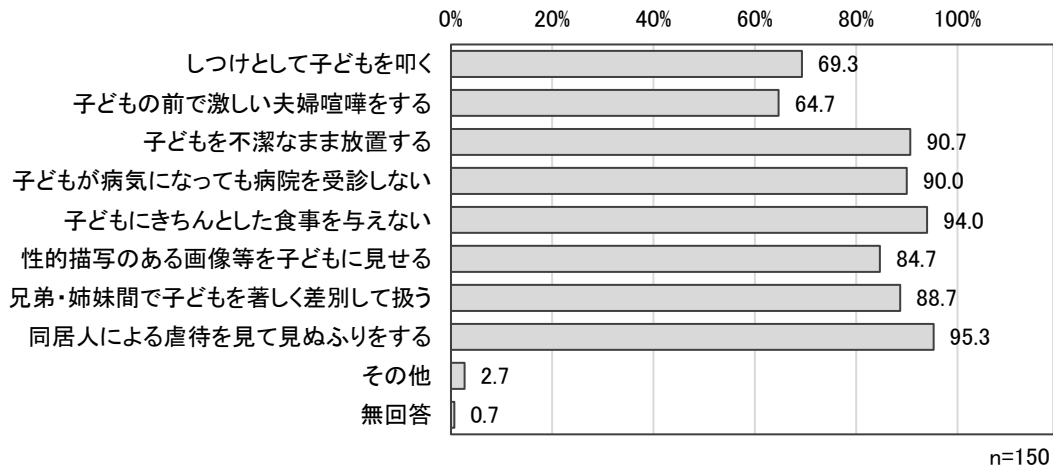
お子さまの良いところをほめるなどして自信を持たせるようにしているかでは、「あてはまる」が 58.0%と最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が 34.0%、「どちらかといえばあてはまらない」が 6.0%となっています。



問 10 あなたが、次の中から児童虐待と思うものを選んでください。

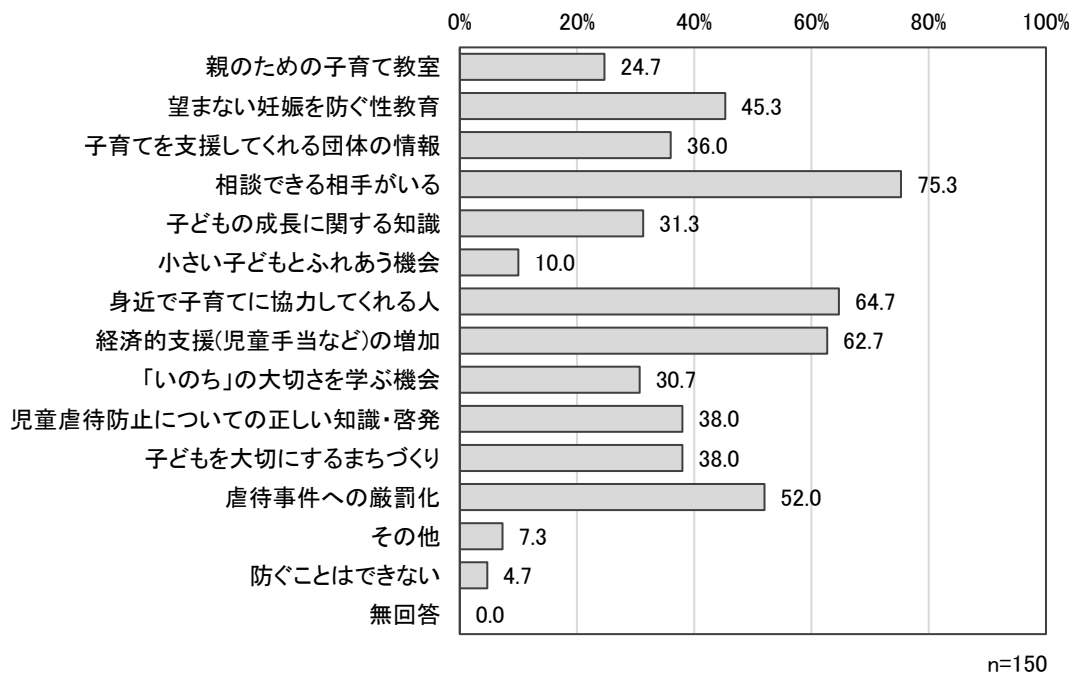
(あてはまるものすべてに○)

児童虐待だと思うものについては、「同居人による虐待を見て見ぬふりをする」が95.3%と最も多く、次いで「子どもにきちんとした食事を与えない」が94.0%、「子どもを不潔なまま放置する」が90.7%、「子どもが病気になっても病院を受診しない」が90.0%となっています。



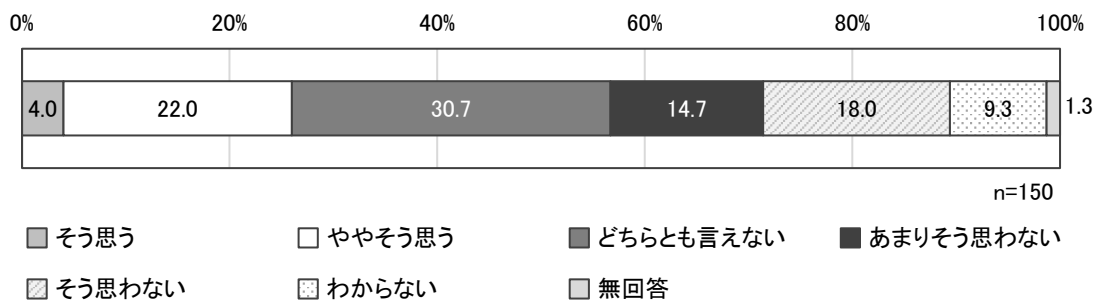
問 11 どのようなことがあれば児童虐待を防ぐことができると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

児童虐待を防ぐことについては、「相談できる相手がいる」が75.3%と最も多く、次いで「身近で子育てに協力してくれる人」が64.7%、「経済的支援(児童手当など)の増加」が62.7%となっています。



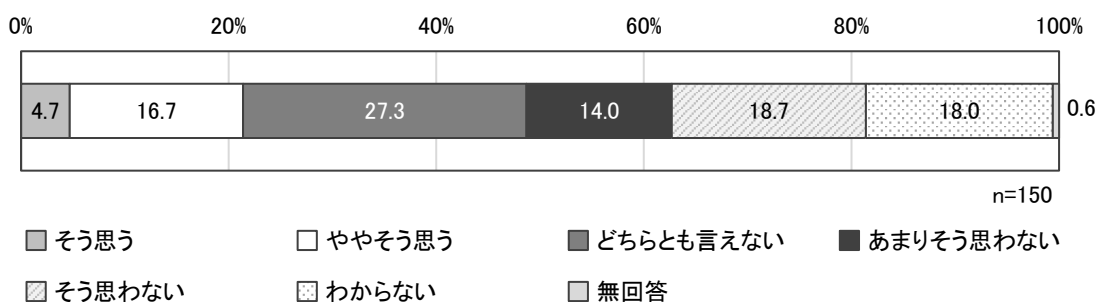
問 12 あなたは、瑞穂町が「こどもまんなか社会」の実現に向かっていていると思いますか。
(1つに○)

瑞穂町が「こどもまんなか社会」の実現に向かっていていると思うかについては、「どちらともいえない」が30.7%と最も多く、次いで「ややそう思う」が22.0%、「そう思わない」が18.0%となっています。



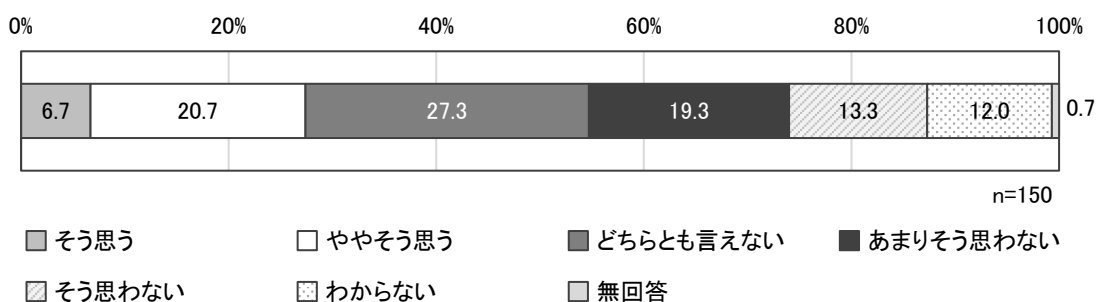
問 13 あなたは、瑞穂町取組において、子ども・若者の意見を聞いてもらえていると思いますか。(1つに○)

瑞穂町取組において子ども・若者の意見を聞いてもらえていると思うかについては、「どちらともいえない」が27.3%と最も多く、次いで「そう思わない」が18.7%となっています。



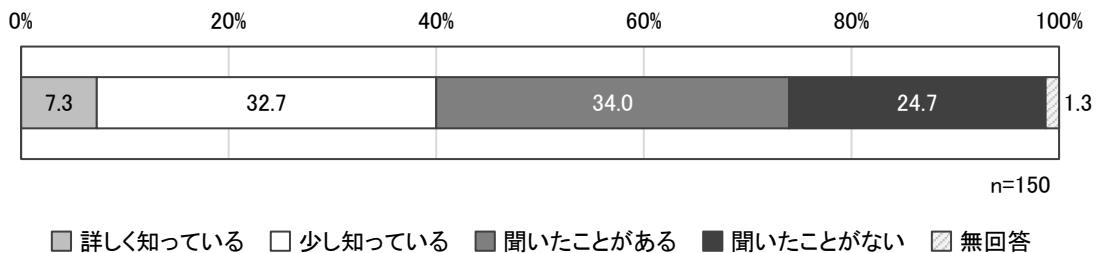
問 14 あなたは、瑞穂町が、結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっていていると思いますか。(1つに○)

瑞穂町が、結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっていていると思うかについては、「どちらともいえない」が27.3%と最も多く、次いで「ややそう思う」が20.7%、「あまりそう思わない」が19.3%となっています。



問 15 「こどもの権利」とは、子どもが大人と同じく一人の人間として持つ権利です。権利には安心して生活できること、自由に意見を言ったり活動したりできることなどが含まれます。あなたは、「こどもの権利」について知っていますか。（1つに○）

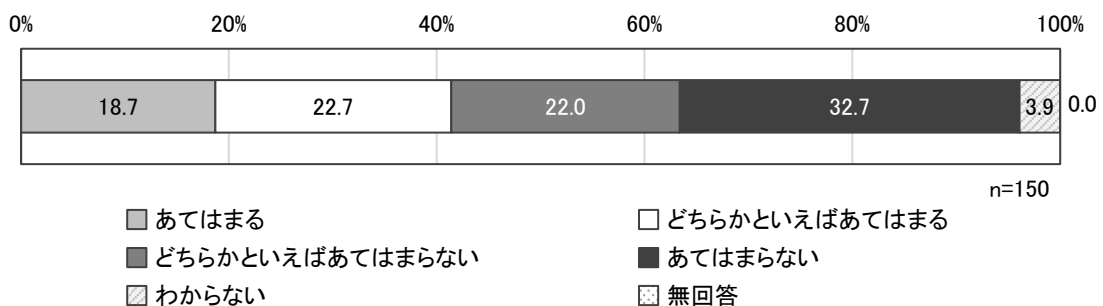
こどもの権利の認知では、「聞いたことがある」が34.0%と最も多く、次いで「少し知っている」が32.7%、「聞いたことがない」が24.7%となっています。



問 16 あなた自身の思いや気持ちについて、もっとも近いものはどれですか。（それぞれ1つに○）

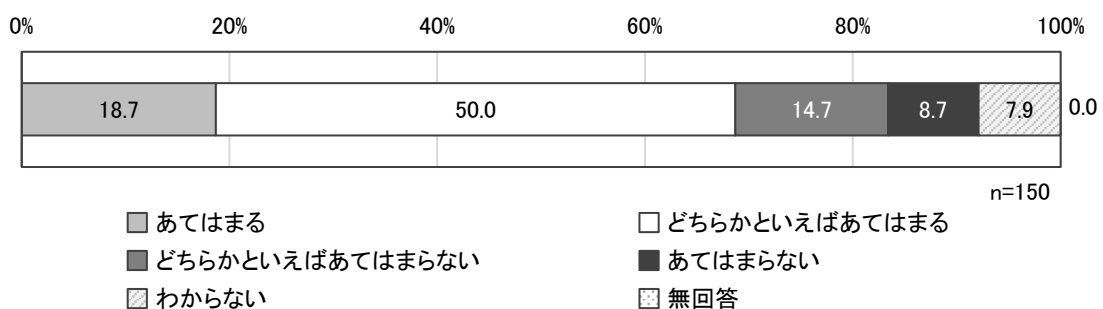
（1）社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がある

社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験があるかでは、「あてはまらない」が32.7%と最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が22.7%、「どちらかといえばあてはまらない」が22.0%となっています。



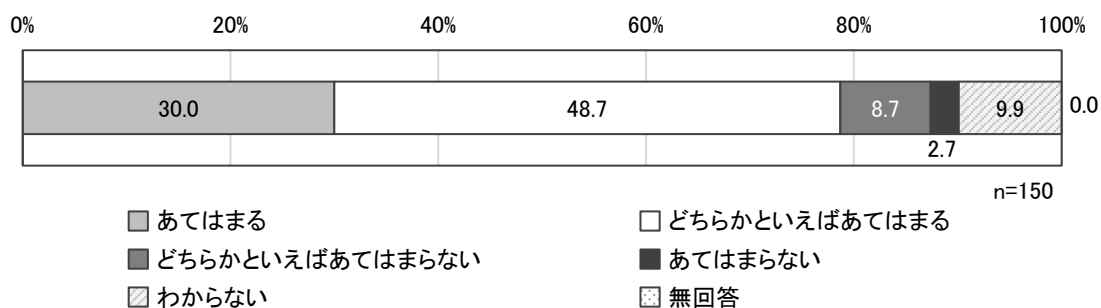
（2）今の自分が好きだ

今の自分が好きかでは、「どちらかといえばあてはまる」が50.0%と最も多く、次いで「あてはまる」が18.7%、「どちらかといえばあてはまらない」が14.7%となっています。



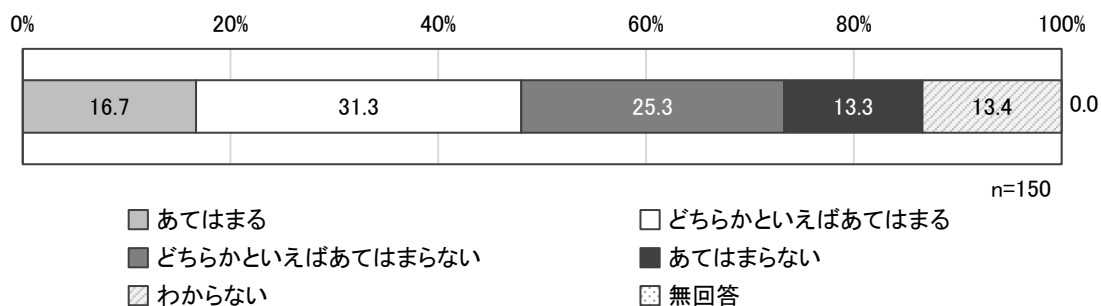
(3) 自分には自分らしさというものがあると思う

自分には自分らしさというものがあると思うかでは、「どちらかといえばあてはまる」が48.7%と最も多く、次いで「あてはまる」が30.0%となっています。



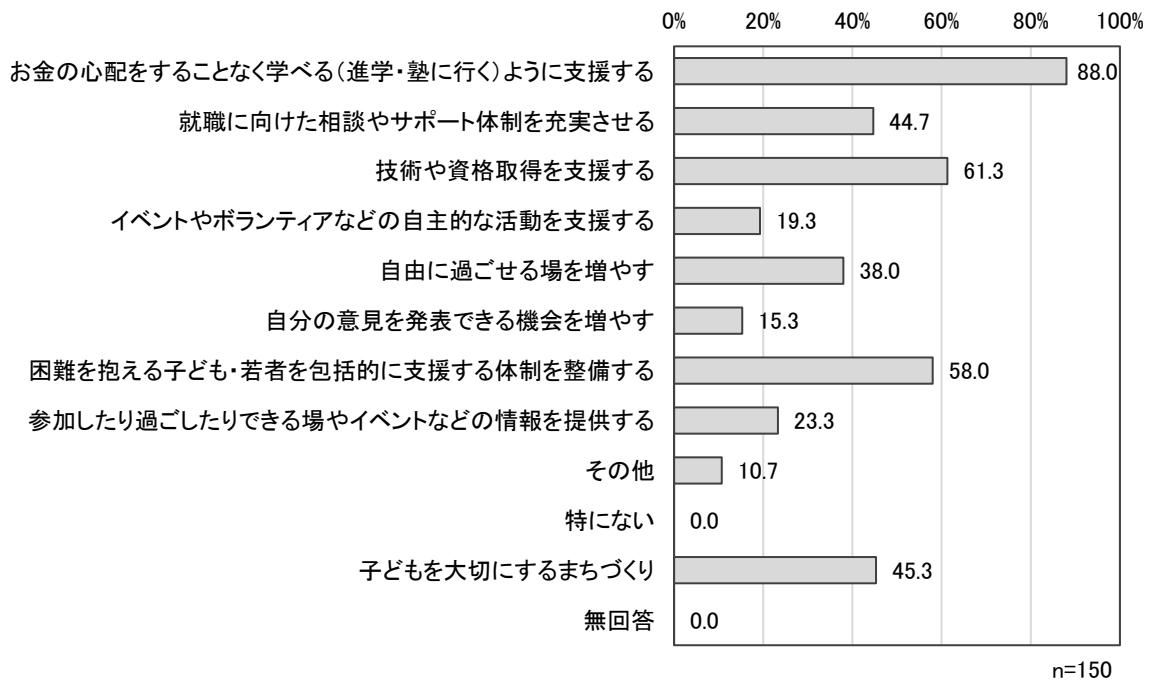
(4) 自分の将来について希望を持っている

自分の将来について希望を持っているかでは、「どちらかといえばあてはまる」が31.3%と最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」が25.3%、「あてはまる」が16.7%となっています。



問 17 あなたは、これから子ども・若者のために、瑞穂町に必要な取組は何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

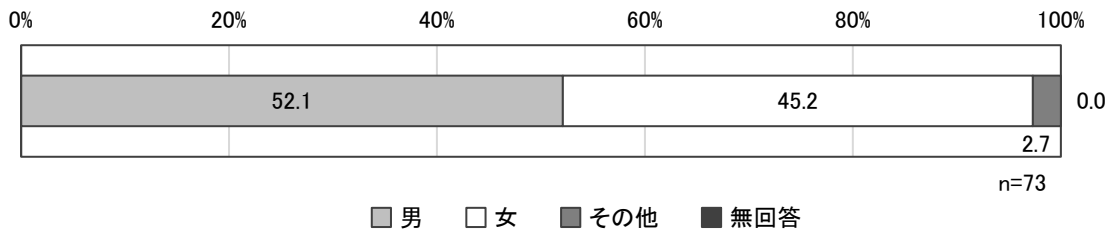
これから子ども・若者のために、瑞穂町に必要な取組は何だと思うかについては、「お金の心配をすることなく学べる（進学・塾に行く）ように支援する」が88.0%と最も多く、次いで「技術や資格取得を支援する」が61.3%、「困難を抱える子ども・若者を包括的に支援する体制を整備する」が58.0%となっています。



3. 町内在住の16歳・17歳

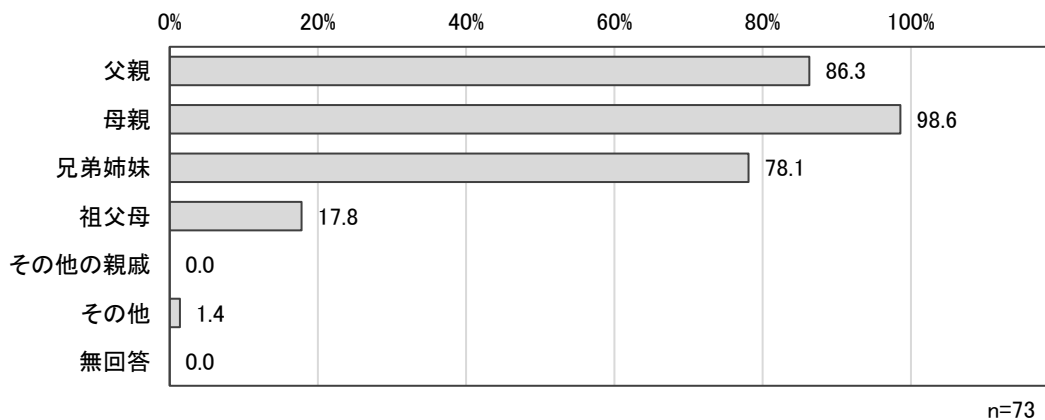
問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

性別では、「男」が52.1%、「女」が45.2%となっています。



問2 一緒に暮らしているご家族はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

一緒に暮らしている家族では、「母親」が98.6%と最も多く、次いで「父親」が86.3%、「兄弟姉妹」が78.1%となっています。

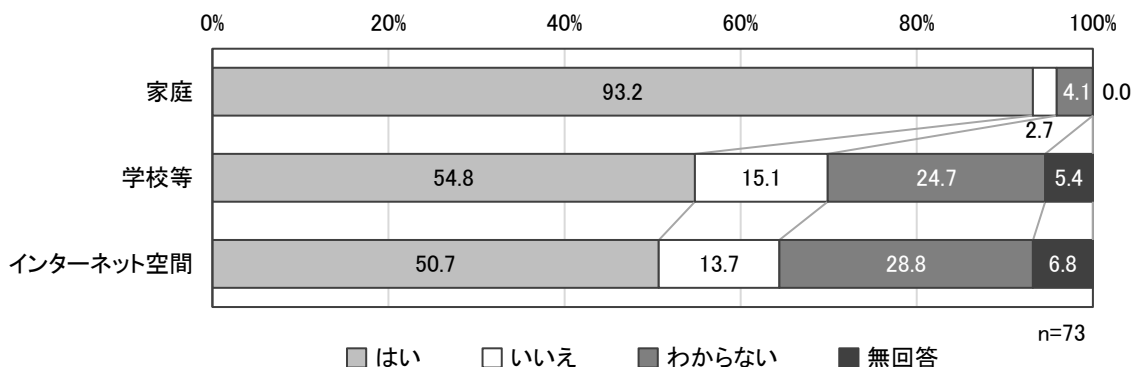


問3 次の場所は、あなたにとって、ほっとできる場所・安心できる場所になっていますか。(それぞれ1つに○)

【家庭】では、「はい」が93.2%「いいえ」が2.7%となっています。

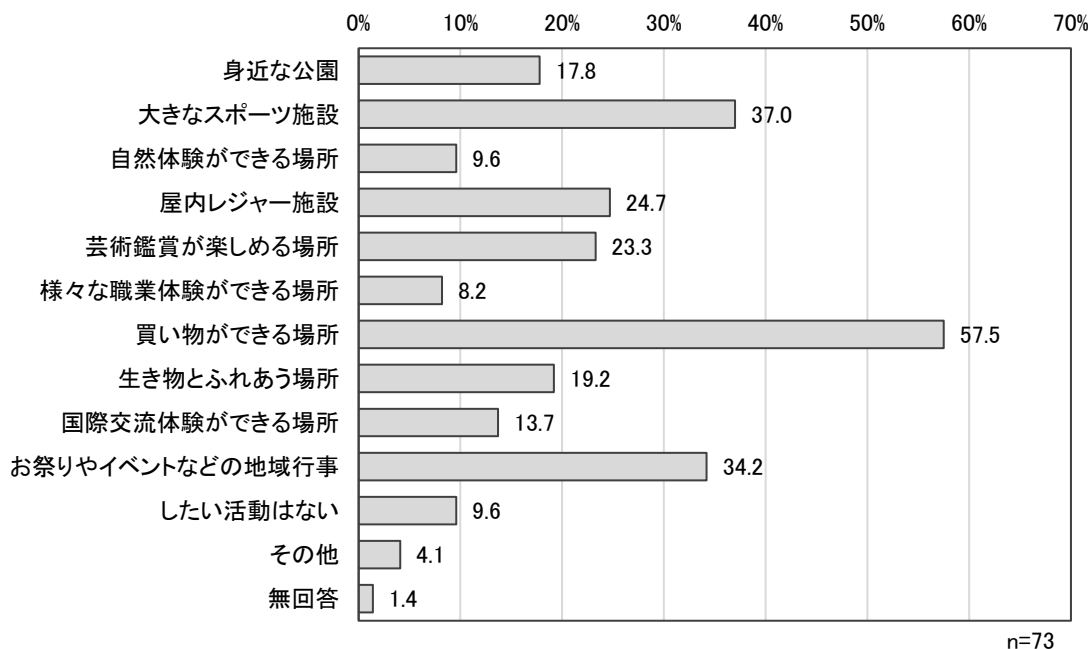
【学校等】では、「はい」が54.8%、「いいえ」が15.1%となっています。

【インターネット空間 (SNS やオンラインゲームなど)】では、「はい」が50.7%、「いいえ」が13.7%となっています。



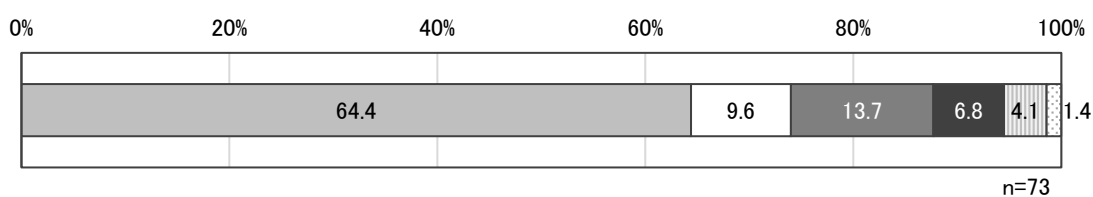
問4 あなたは、次のうち、どのような場所で遊びや体験をしてみたいですか。

してみたい遊びや体験では、「買い物ができる場所」が57.5%と最も多く、次いで「大きなスポーツ施設」が37.0%、「お祭りやイベントなどの地域行事」が34.2%となっています。



問5 あなたは、1日あたりどれくらいの時間、読書しますか。※学校の授業時間以外の時間をお答えください。また教科書や参考書、マンガや雑誌を除きます。(1つに○)

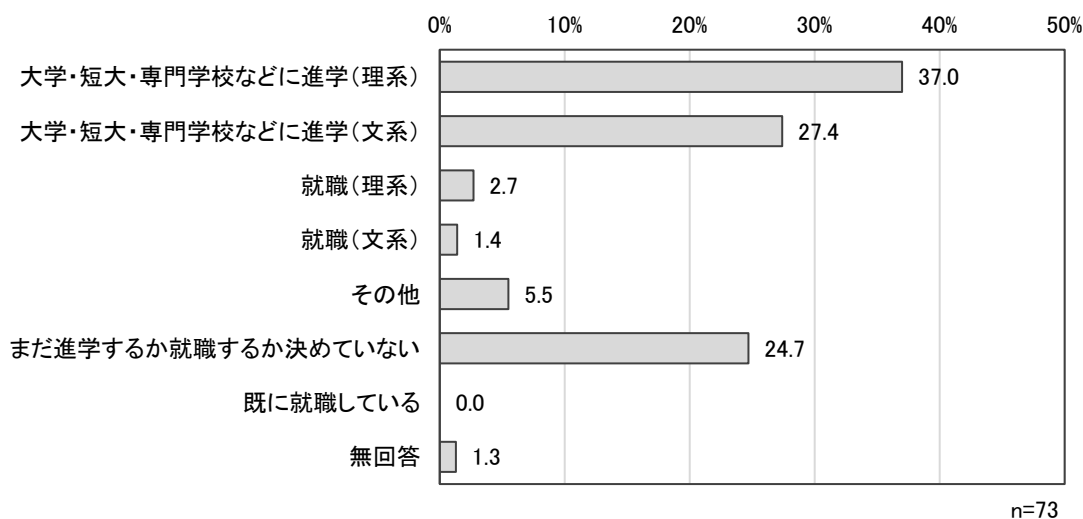
1日あたりの読書の時間では、「まったくしない」が64.4%と最も多く、次いで「30分～1時間未満」が13.7%、「30分未満」が9.6%となっています。



■ まったくしない □ 30分未満 ■ 30分～1時間未満 ■ 1時間以上 ▨ わからない ▨ 無回答

問6 現在、どのような進路を希望していますか。(1つに○)

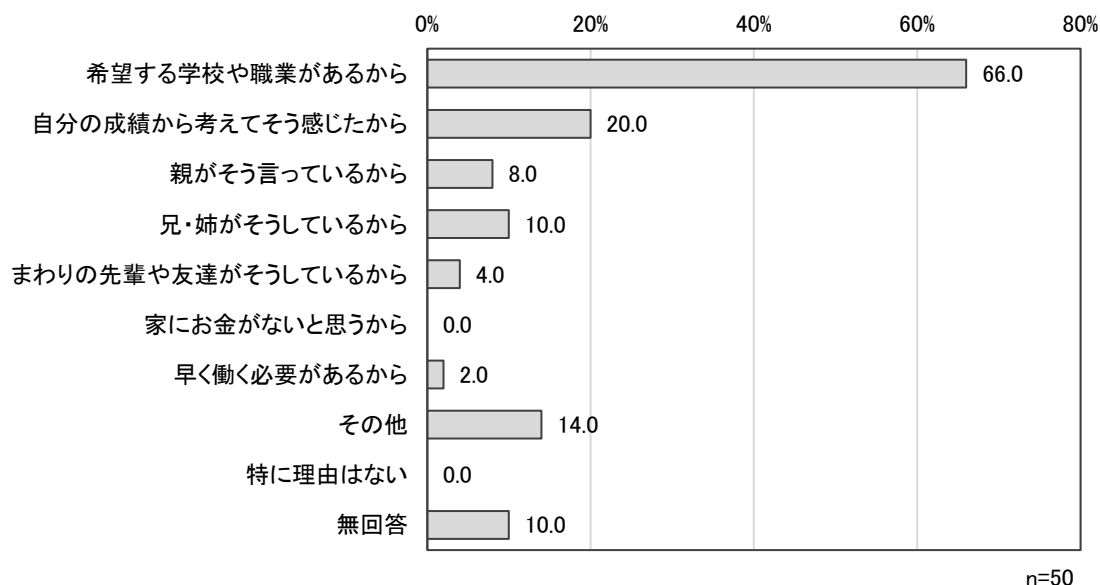
進路では、「大学・短大・専門学校などに進学(理系)」が37.0%と最も多く、次いで「大学・短大・専門学校などに進学(文系)」が27.4%、「まだ進学するか就職するか決めていない」が24.7%となっています。



【問6で「1～4」を選択した方にお伺いします】

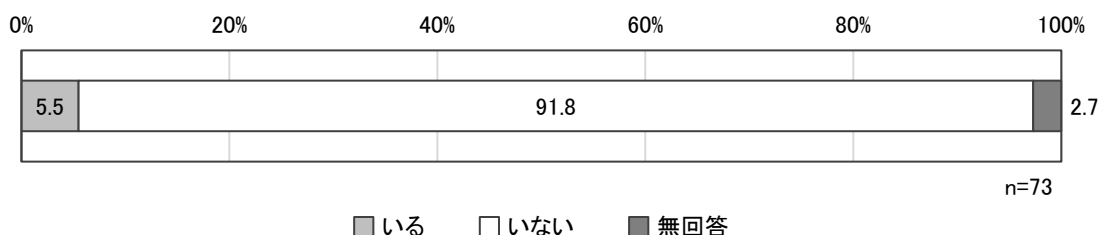
問6-1 問6で答えた理由はなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

進路希望の理由では、「希望する学校や職業があるから」が66.0%と最も多く、次いで「自分の成績から考えてそう感じたから」が20.0%となっています。



問7 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(1つに○)

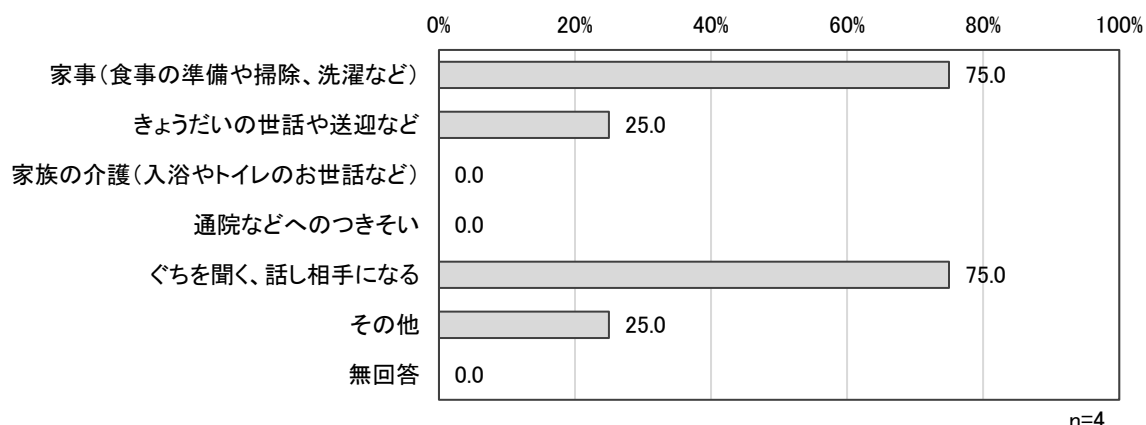
お世話をしている人については、「いない」が91.8%、次いで「いる」が5.5%となっています。



【問7で「1. いる」を選択した方にお伺いします】

問7-1 あなたと一緒に暮らしている大人の代わりに行っているお世話は、どのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

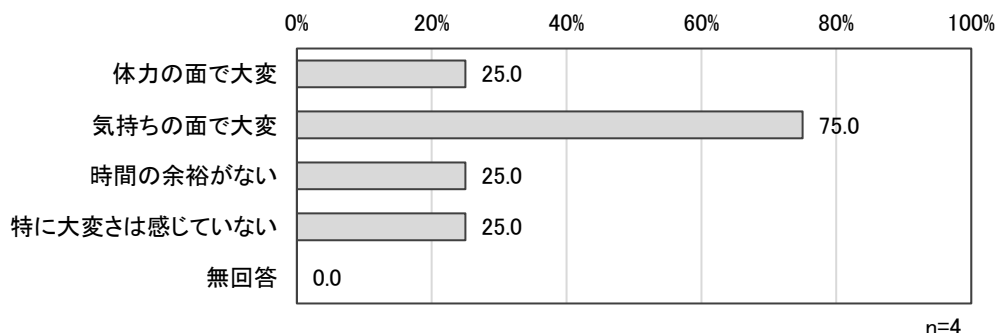
大人の代わりに行っているお世話では、「家事（食事の準備や掃除、洗濯など）」、「ぐちを聞く、話し相手になる」が75.0%と最も多く、次いで「きょうだいのお世話や送迎など」が25.0%となっています。



【問7で「1. いる」を選択した方にお伺いします】

問7-2 お世話をすることに大変さを感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

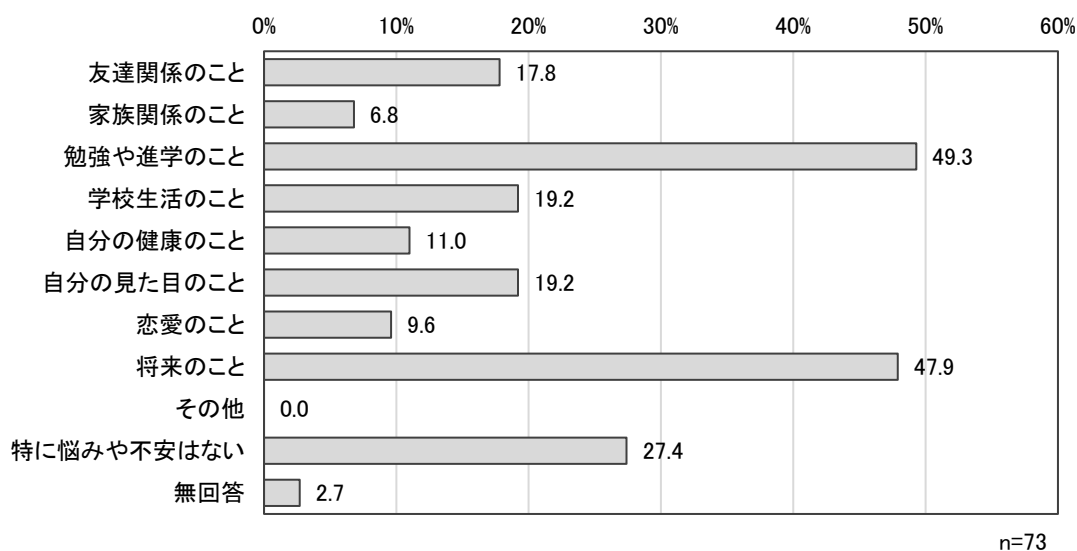
お世話をすることの大変さについては、「気持ちの面で大変」が75.0%と最も多く、次いで「体力の面で大変」、「時間の余裕がない」、「特に大変さは感じていない」がそれぞれ25.0%となっています。



問8 現在、悩んでいることや不安に感じていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

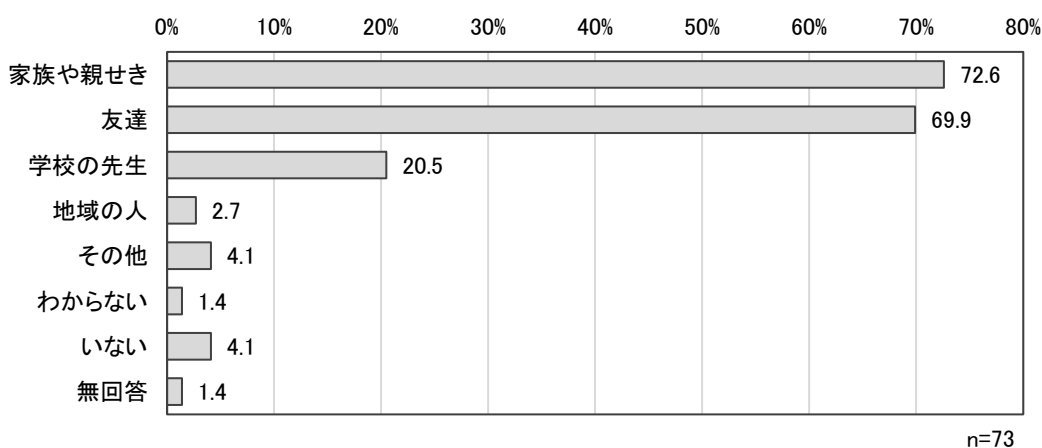
不安については、「勉強や進学のこと」が49.3%と最も多く、次いで「将来のこと」が47.9%、「特に悩みや不安はない」が27.4%となっています。



問9 あなたは、落ち込んだ時に、助けてもらったり、相談する人はいますか。

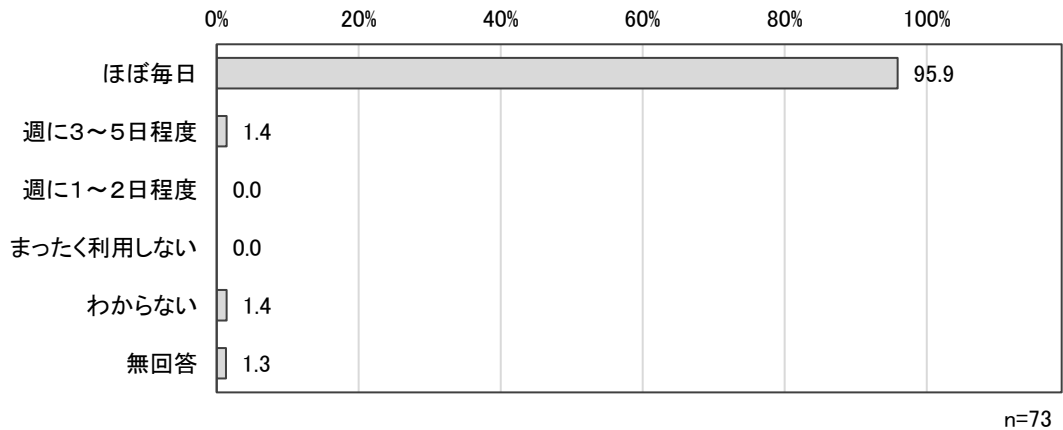
(あてはまるものすべてに○)

相談相手については、「家族や親せき」が72.6%と最も多く、次いで「友達」が69.9%、学校の先生が20.5%となっています。



問 10 あなたは普段、インターネットやSNS（LINE、X、Instagram、YouTube、TikTok など）をどのくらい利用しますか。（1つに○）

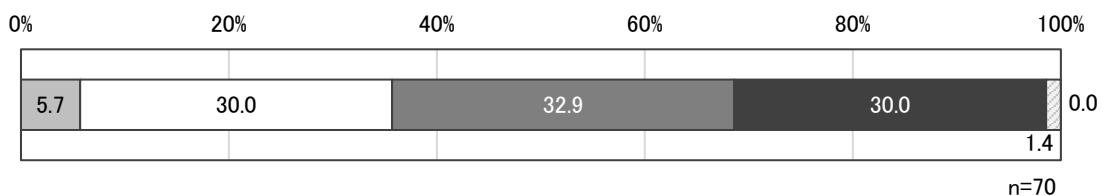
インターネットの利用頻度では、「ほぼ毎日」が95.9%と最も多くなっています。



【問 10 で「1. ほぼ毎日」を選択した方にお伺いします】

問 10-1 あなたは普段、インターネットや SNS（LINE、X、Instagram、YouTube、TikTok など）を1日にどのくらい利用しますか。（1つに○）

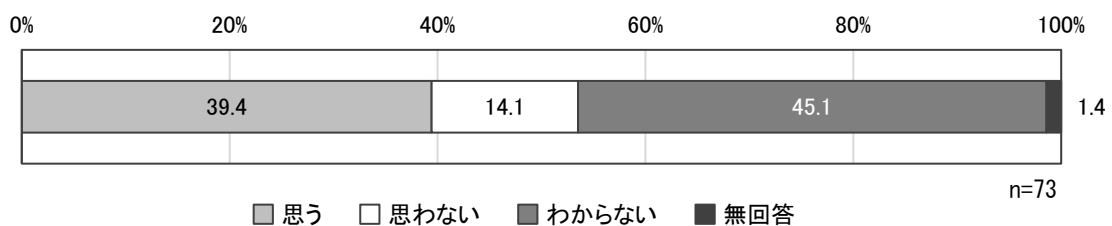
インターネットの利用時間では、「3～5時間未満」が32.9%と最も多く、次いで「1～3時間未満」、「5時間以上」がそれぞれ30.0%となっています。



■ 1時間未満 □ 1～3時間未満 ■ 3～5時間未満 ■ 5時間以上 ▨ わからない ▩ 無回答

問 11 あなたが性的暴力や性的ハラスメントを受けた時、声をあげられると思いますか。（1つに○）

性的暴力や性的ハラスメントを受けた時、声をあげられるかについては、「わからない」が45.1%と最も多く、次いで「思う」が39.4%、「思わない」が14.1%となっています。

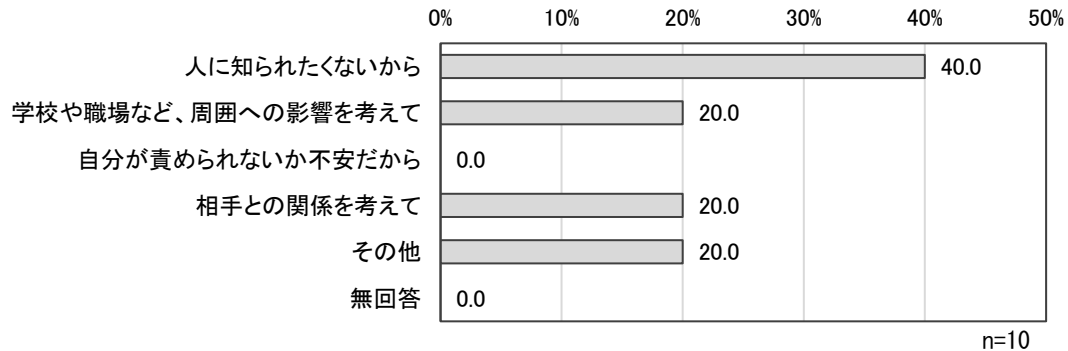


■ 思う □ 思わない ■ わからない ■ 無回答

【問 11 で「2. 思わない」を選択した方にお伺いします】

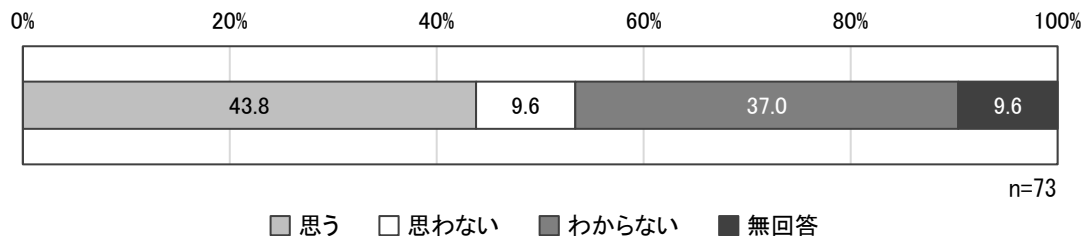
問 11-1 あなたが性的暴力や性的ハラスメントを受けた時、声をあげられないのはなぜですか。（1 つに○）

性的ハラスメントを受けたときに声をあげられない理由では、「人に知られたくないから」が 40.0%と最も多く、次いで「学校や職場など、周囲への影響を考えて」、「相手との関係を考えて」がそれぞれ 20.0%となっています。



問 12 あなたが性的暴力や性的ハラスメントを受けた場合、話や相談をできると思いますか。（1 つに○）

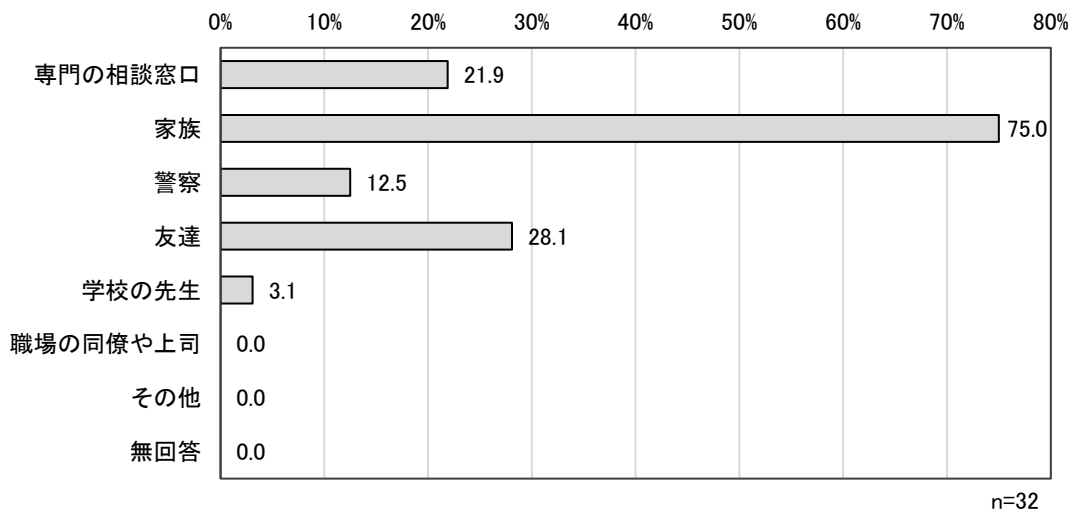
性的暴力や性的ハラスメントを受けた場合、話や相談ができるかでは、「思う」が 43.8%と最も多く、次いで「わからない」が 37.0%、「思わない」が 9.6%となっています。



【問 12 で「1. 思う」を選択した方にお伺いします】

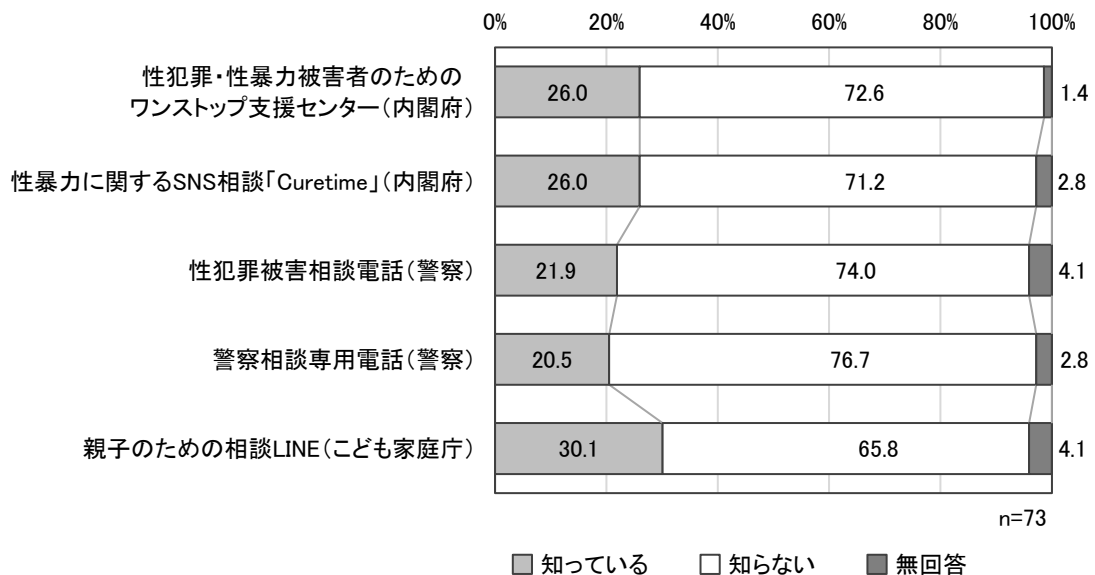
問 12-1 あなたが性的暴力や性的ハラスメントを受けた場合、主に誰に話や相談をしますか。（1 つに○）

性的ハラスメントを受けたときの主な相談相手では、「家族」が 75.0%と最も多く、次いで「友達」が 28.1%、「専門の相談窓口」が 21.9%となっています。



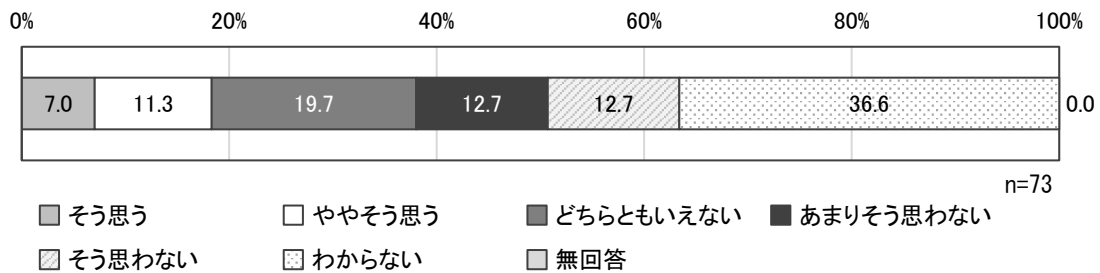
問 13 あなたは、以下のような相談窓口を知っていますか。（それぞれ 1 つに○）

相談窓口で知っているという回答された割合は、【親子のための相談 LINE(こども家庭庁)】が 30.1%と最も多く、次いで【性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター(内閣府)】、【性暴力に関する SNS 相談『Curetime』(内閣府)】が 26.0%となっており、いずれの相談窓口も「いいえ(知らない)」が 7 割程度となっています。



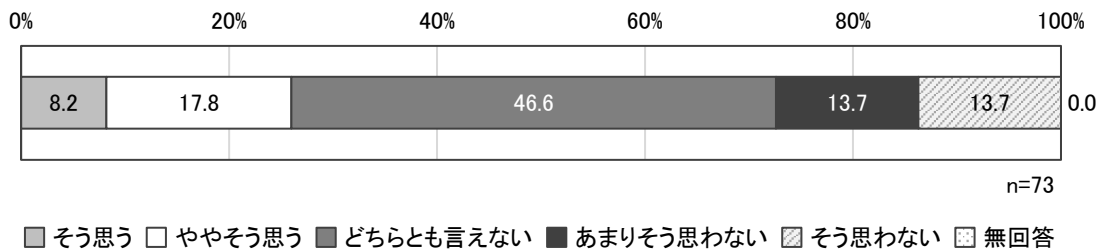
問 14 あなたは、瑞穂町が「こどもまんなか社会」の実現に向かっていていると思いますか。（1つに○）

瑞穂町が「こどもまんなか社会」の実現に向かっていていると思うかでは、「わからない」が36.6%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が19.7%、「あまりそう思わない」、「そう思わない」がそれぞれ12.7%となっています。



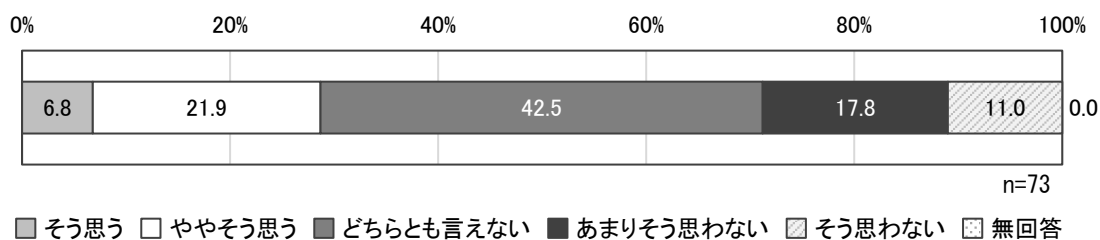
問 15 あなたは、瑞穂町取組において、子ども・若者の意見を聞いてもらえていると思いますか。（1つに○）

瑞穂町取組において、子ども・若者の意見を聞いてもらえていると思うかでは、「どちらともいえない」が46.6%と最も多く、次いで「ややそう思う」が17.8%、「あまりそう思わない」、「そう思わない」がそれぞれ13.7%となっています。



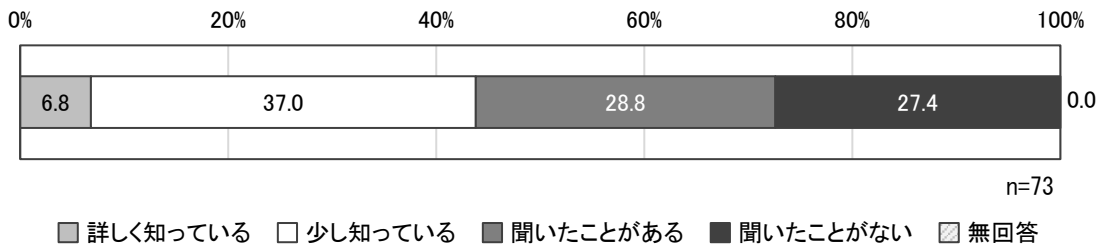
問 16 あなたは、瑞穂町が、結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっていていると思いますか。（1つに○）

瑞穂町が、結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっていていると思うかでは、「どちらともいえない」が42.5%と最も多く、次いで「ややそう思う」が21.9%、「あまりそう思わない」が17.8%となっています。



問 17 「こどもの権利」とは、子どもが大人と同じく一人の人間として持つ権利です。権利には安心して生活できること、自由に意見を言ったり活動したりできることなどが含まれます。あなたは、「こどもの権利」について知っていますか。(1つに○)

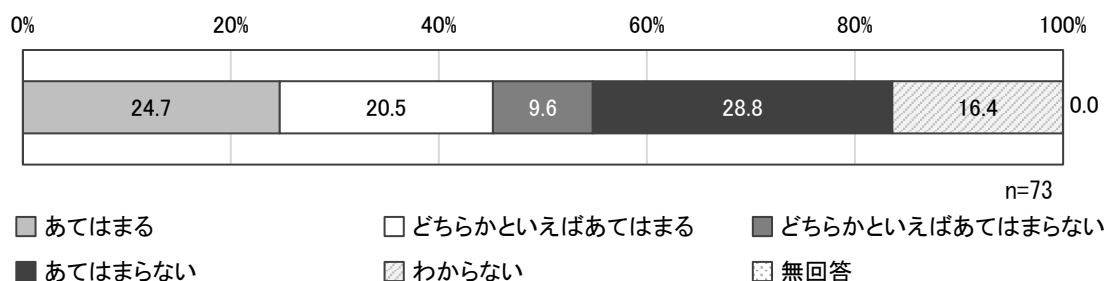
「こどもの権利」の認知については、「少し知っている」が37.0%と最も多く、次いで「聞いたことがある」が28.8%、「聞いたことがない」が27.4%となっています。



問 18 あなた自身の思いや気持ちについて、もっとも近いものはどれですか。(それぞれ1つに○)

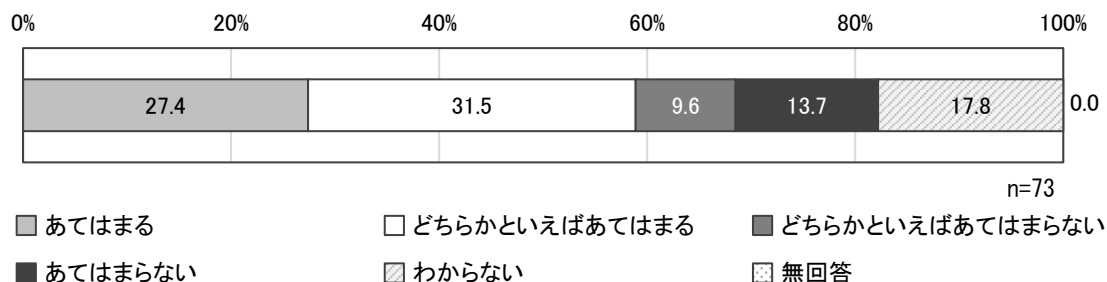
(1) 社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がある

社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験があるかでは、「あてはまらない」が28.8%と最も多く、次いで「あてはまる」が24.7%、「どちらかといえばあてはまる」が20.5%となっています。



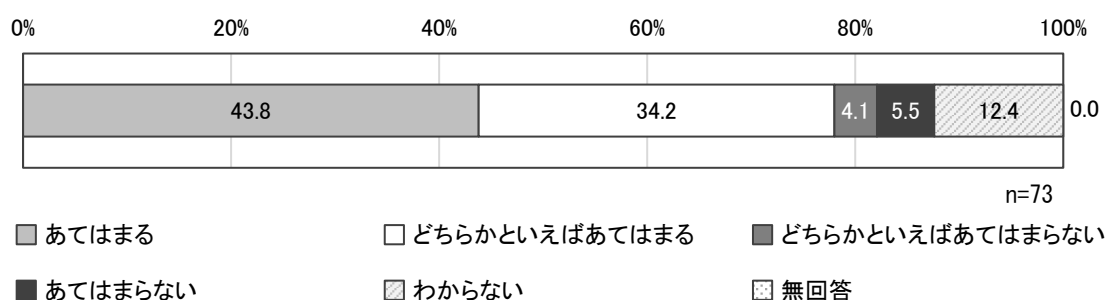
(2) 今の自分が好きだ

今の自分が好きかどうかでは、「どちらかといえばあてはまる」が31.5%と最も多く、次いで「あてはまる」が27.4%、「わからない」が17.8%となっています。



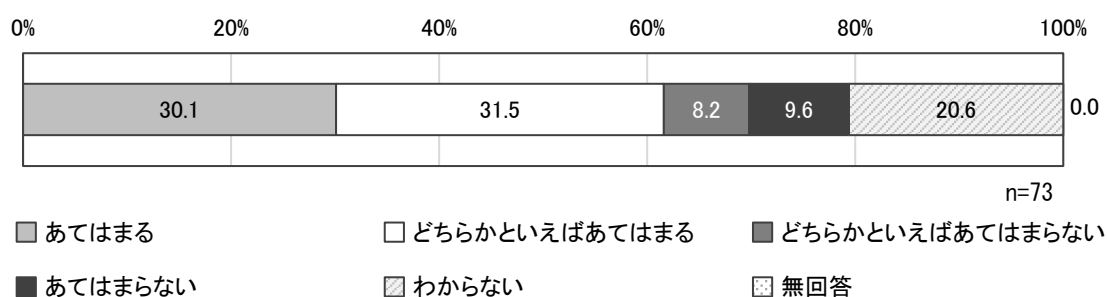
(3) 自分には自分らしさというものがあると思う

自分には自分らしさというものがあると思うかでは、「あてはまる」が43.8%と最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が34.2%、「わからない」が12.4%となっています。



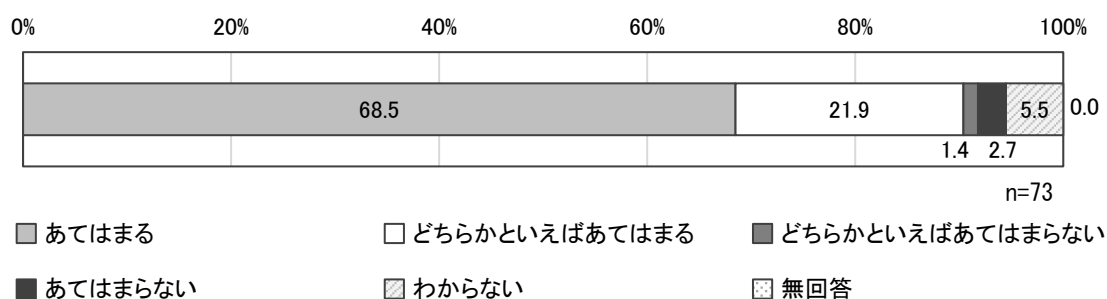
(4) 自分の将来について希望を持っている

自分の将来について希望を持っているかでは、「どちらかといえばあてはまる」が31.5%と最も多く、次いで「あてはまる」が30.1%、「わからない」が20.6%となっています。



(5) 自分には困った時に助けてくれる人がいる

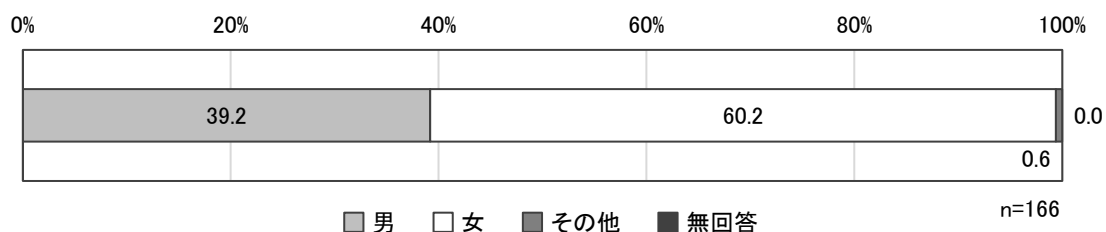
自分には困った時に助けてくれる人がいるかでは、「あてはまる」が68.5%と最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が21.9%、「わからない」が5.5%となっています。



4. 町内在住の18歳～39歳

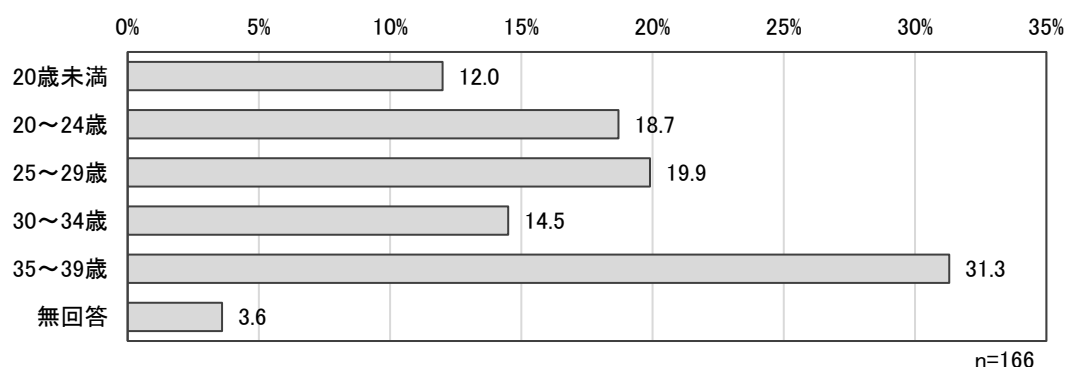
問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

性別では、「女」が60.2%、「男」が39.2%となっています。



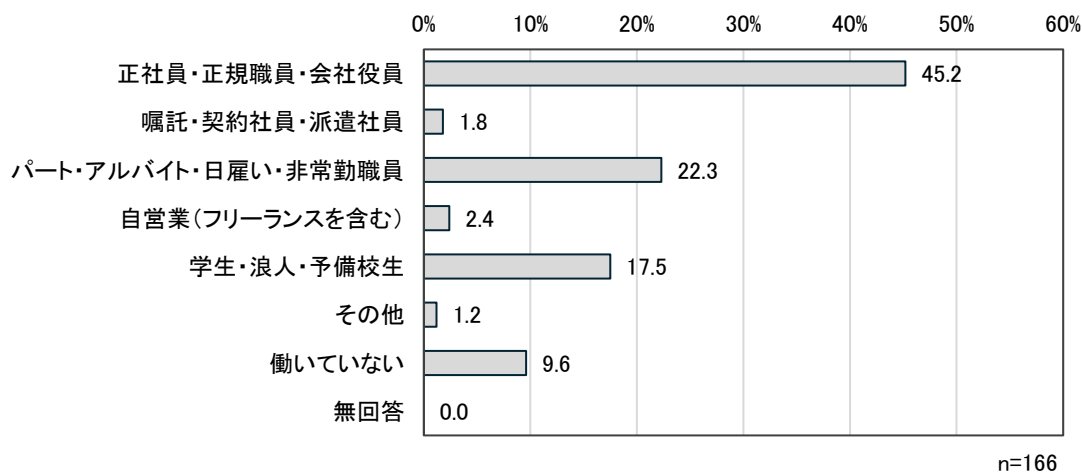
問2 あなたの年齢（令和6年7月1日“現在”）をお答えください。

回答者の年齢では、「35～39歳」が31.3%と最も多く、次いで「25～29歳」が19.9%、「20～24歳」が18.7%となっています。



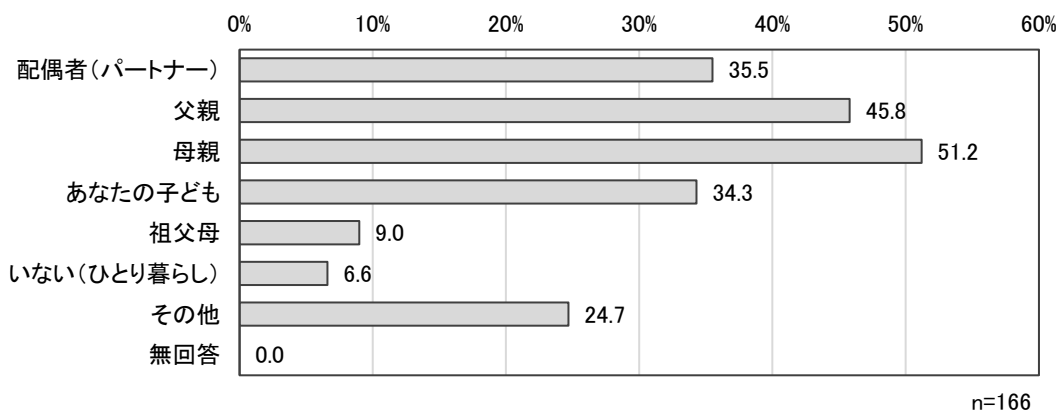
問3 あなたの就労状況について、お答えください。(1つに○)

就労状況では、「正社員・正規職員・会社役員」が45.2%と最も多く、次いで「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が22.3%、「学生・浪人・予備校生」が17.5%となっています。



問4 現在、あなたと同居している方はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

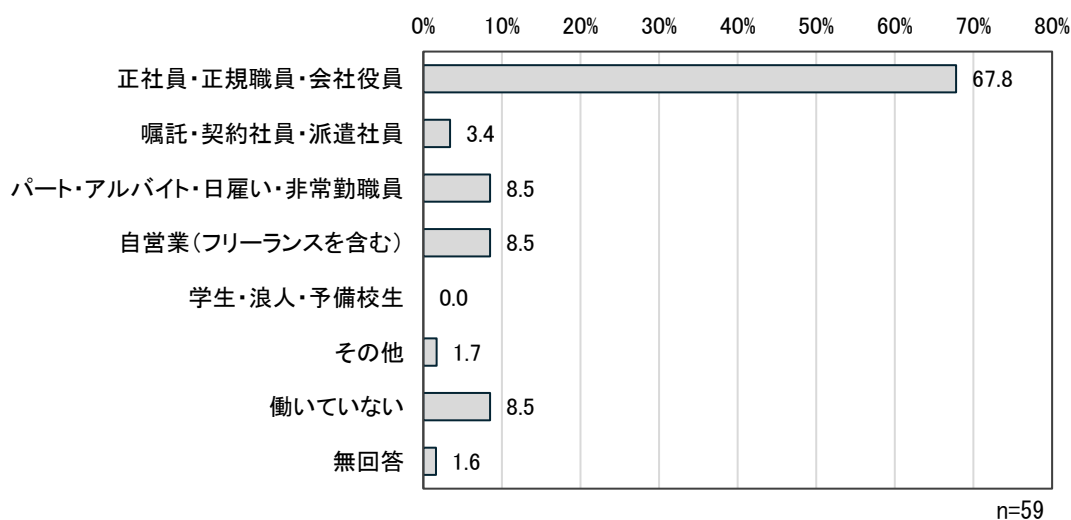
同居している方については、「母親」が51.2%と最も多く、次いで「父親」が45.8%、「配偶者（パートナー）」が35.5%となっており、「いない（ひとり暮らし）」は6.6%となっています。



【問4で「1. 配偶者（パートナー）」を選択した方にお伺いします】

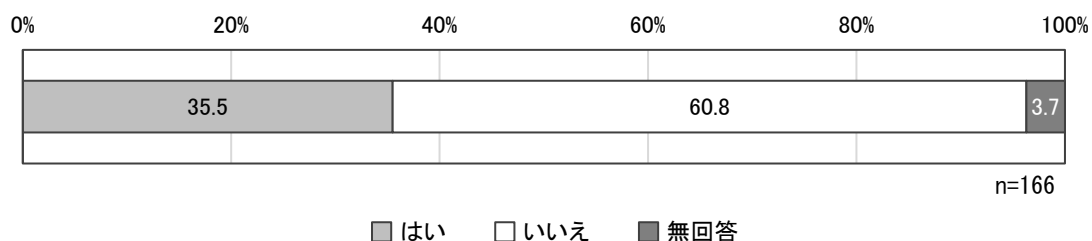
問4-1 あなたの配偶者（パートナー）の就労状況について、お答えください。（1つに○）

配偶者（パートナー）の就労状況では、「正社員・正規職員・会社役員」が67.8%と最も多く、次いで「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」、「自営業（フリーランスを含む）」、「働いていない」がそれぞれ8.5%となっています。



問5 あなたに、子どもはいますか。(1つに○)

回答者の子どもの有無については、「はい」が35.5%、「いいえ」が60.8%となっています。

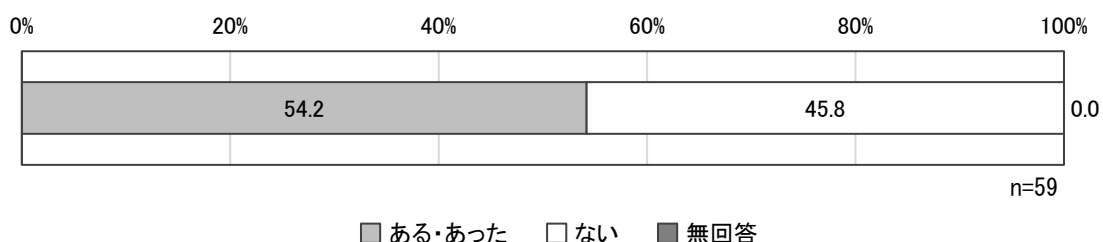


【問5で「1. はい」を選択した方にお伺いします】

問5-1 あなたは、学校や地域において、子どもの親同士の交流の機会がありますか。(または、ありましたか。)(1つに○)

親同士の交流の機会では、「ある・あった」が54.2%、「ない」が45.8%となっています。

また、その交流の機会としては、児童館のイベント、学校・保育園行事、子ども会、お祭り（納涼祭など）、習い事などがありました。

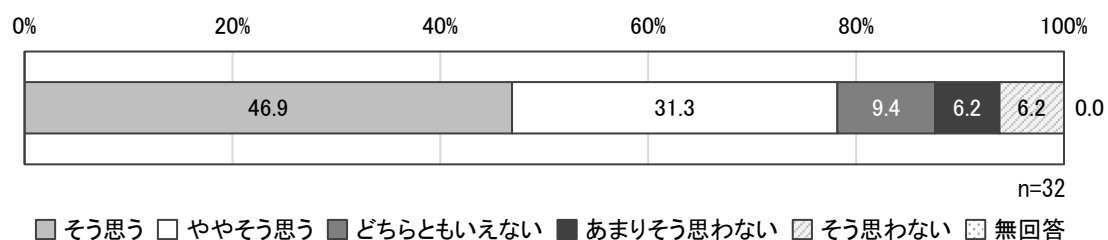


【問5-1で「1. ある・あった」を選択した方にお伺いします】

問5-2 親同士の交流を通じて、ご自身にとってどのような変化があったと思いますか。(それぞれ1つに○)

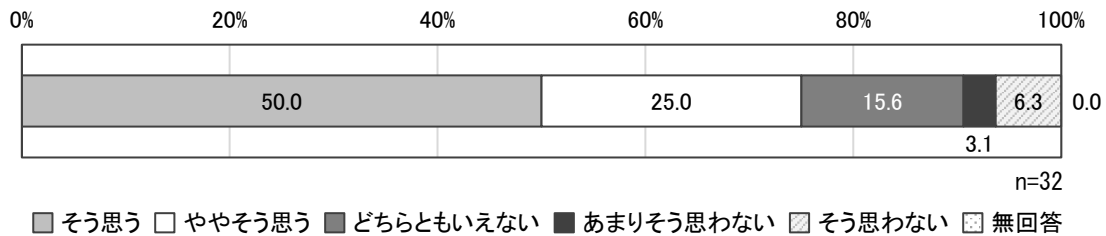
(1) 子育てに必要な知識や意欲が高まった

子育てに必要な知識や意欲が高まったかでは、「そう思う」が46.9%と最も多く、次いで「ややそう思う」が31.3%、「どちらともいえない」が9.4%となっています。



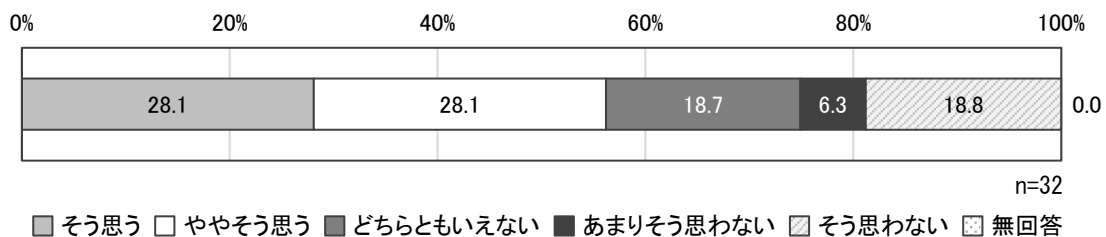
(2) 子育てに対して悩みや不安、孤立感が軽減した

子育てに対して悩みや不安、孤立感が軽減したかでは、「そう思う」が50.0%と最も多く、次いで「ややそう思う」が25.0%、「どちらともいえない」が15.6%となっています。



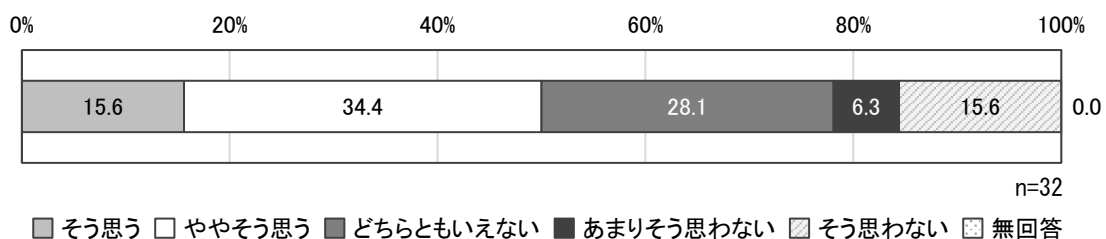
(3) 家族で協力しながら子育てができるようになった

家族で協力しながら子育てができるようになったかでは、「そう思う」、「ややそう思う」がそれぞれ28.1%と最も多く、次いで「そう思わない」が18.8%、「どちらともいえない」が18.7%となっています。



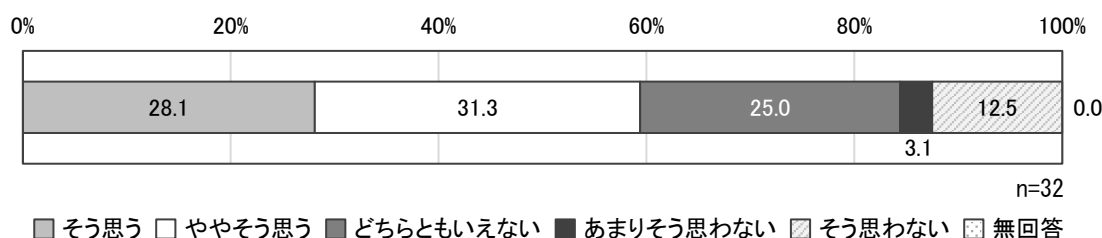
(4) 学校と協力（相談）しながら子育てをするようになった

学校と協力（相談）しながら子育てをするようになったかでは、「ややそう思う」が34.4%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が28.1%、「そう思う」、「そう思わない」がそれぞれ15.6%となっています。



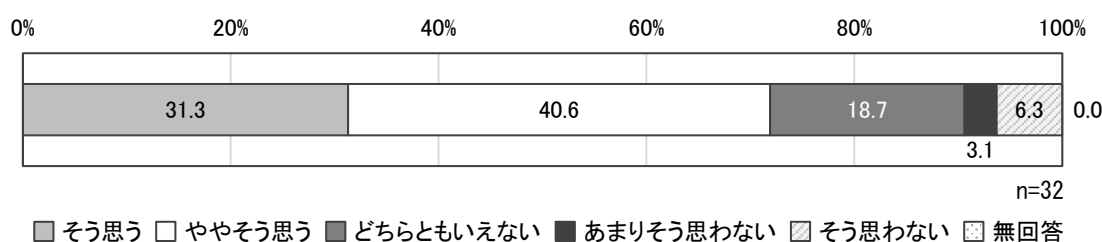
(5) 地域とつながりを持ちながら、子育てができるようになった

地域とつながりを持ちながら、子育てができるようになったかでは、「ややそう思う」が31.3%と最も多く、次いで「そう思う」が28.1%、「どちらともいえない」が25.0%となっています。



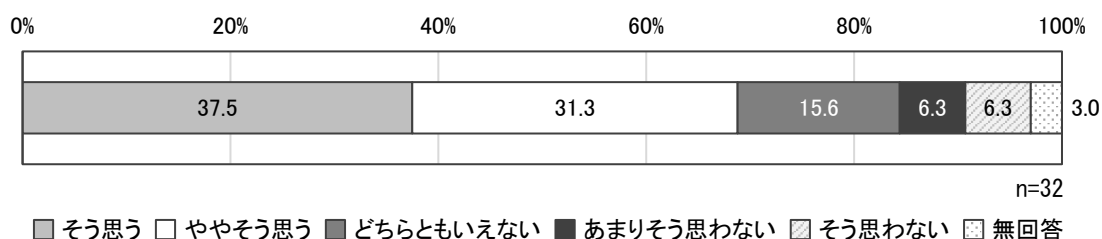
(6) 子育てに関して必要な情報を必要なときに入手できるようになった

子育てに関して必要な情報を必要なときに入手できるようになったかでは、「ややそう思う」が40.6%と最も多く、次いで「そう思う」が31.3%、「どちらともいえない」が18.7%となっています。



(7) 子育てに関して必要なときに身近な相手に相談できるようになった

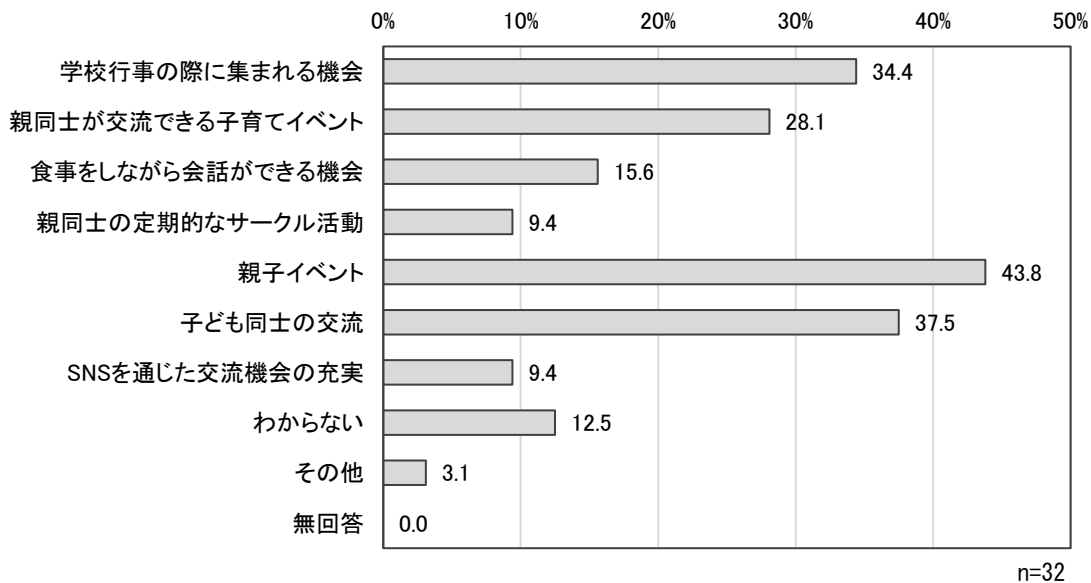
子育てに関して必要なときに身近な相手に相談できるようになったかでは、「そう思う」が37.5%と最も多く、次いで「ややそう思う」が31.3%、「どちらともいえない」が15.6%となっています。



【問5-1で「1. ある・あった」を選択した方にお伺いします】

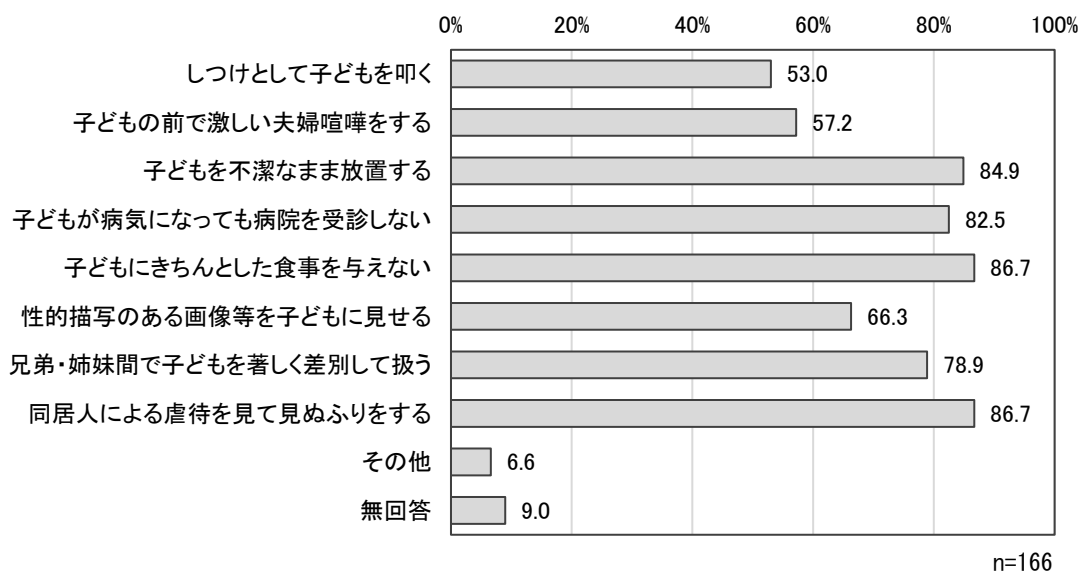
問5-3 親同士の交流を深めるために、どのような機会があればいいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

親同士の交流を深めるために、どのような機会があればいいと思うかについては、「親子イベント」が43.8%と最も多く、次いで「子ども同士の交流」が37.5%、「学校行事の際に集まれる機会」が34.4%となっています。



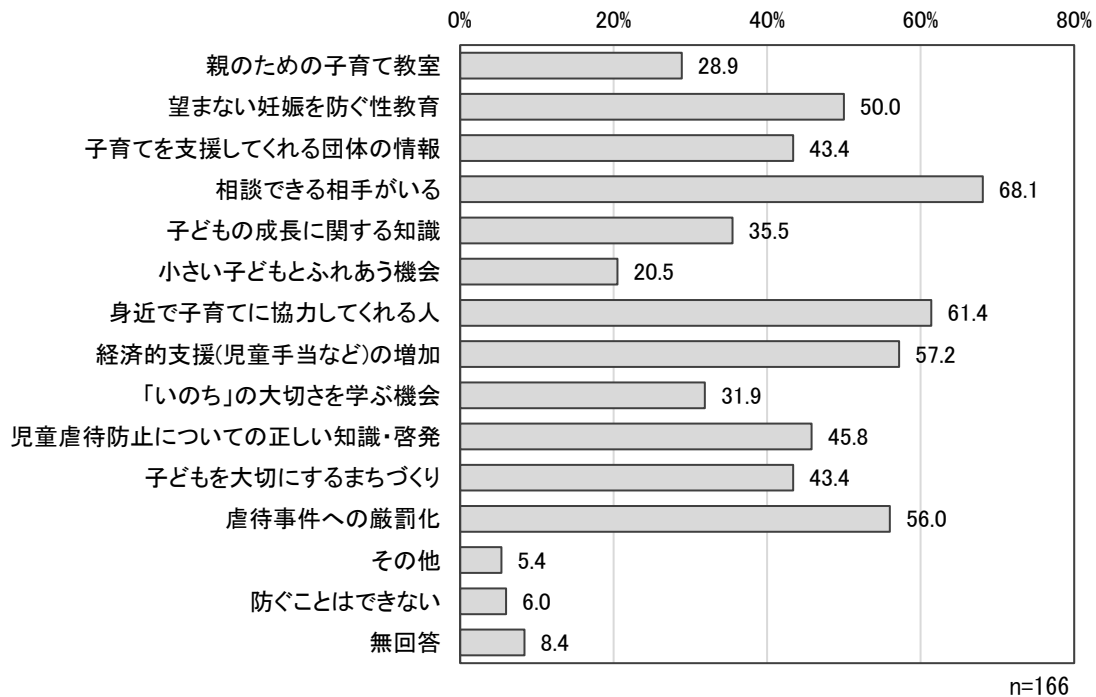
問6 あなたが、次の中から児童虐待だと思うものを選んでください。
(あてはまるものすべてに○)

児童虐待だと思うものについては、「子どもにきちんとした食事を与えない」、「同居人による虐待を見て見ぬふりをする」がそれぞれ86.7%と最も多く、次いで「子どもを不潔なまま放置する」が84.9%、「子どもが病気になっても病院を受診しない」が82.5%となっています。



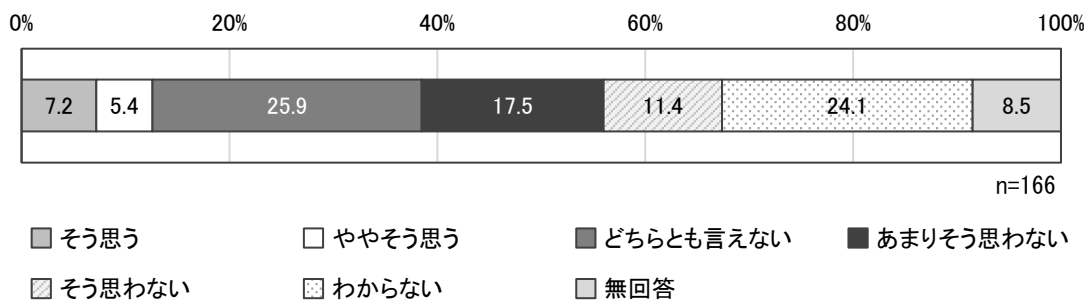
問7 どのようなことがあれば児童虐待を防ぐことができますか。(あてはまるものすべてに○)

児童虐待を防ぐことについては、「相談できる相手がいる」が68.1%と最も多く、次いで「身近で子育てに協力してくれる人」が61.4%、「経済的支援(児童手当など)の増加」が57.2%となっています。



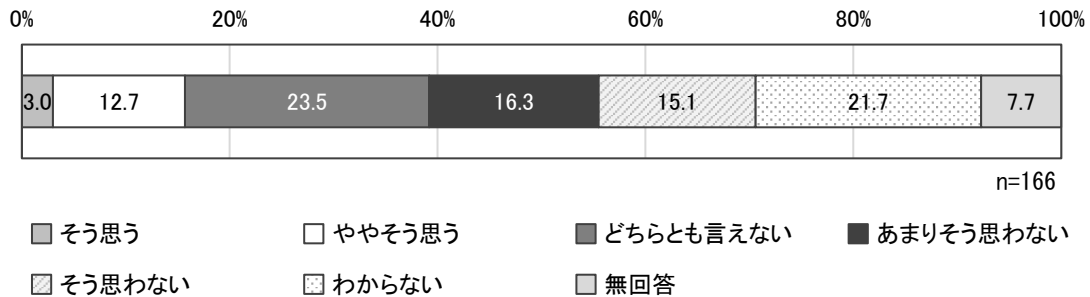
問8 あなたは、瑞穂町が「こどもまんなか社会」の実現に向かっていると思いますか。(1つに○)

瑞穂町が「こどもまんなか社会」の実現に向かっていると思うかでは、「どちらともいえない」が25.9%と最も多く、次いで「わからない」が24.1%となっています。また、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『思う』は12.6%、「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『そう思わない』は28.9%となっています。



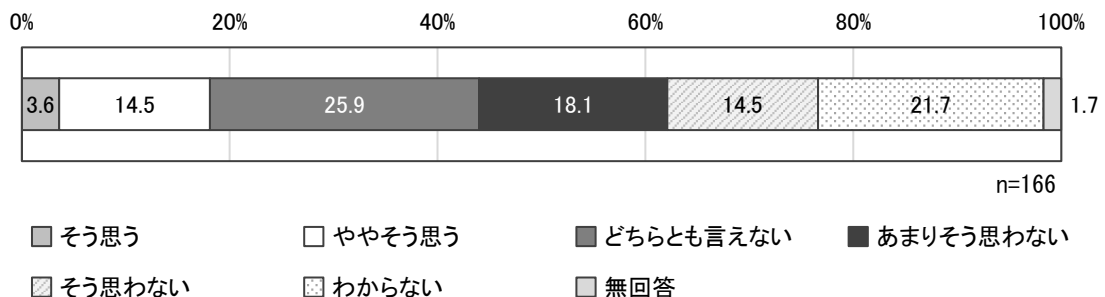
問9 あなたは、瑞穂町の取組において、子ども・若者の意見を聞いてもらえていると思いますか。(1つに○)

瑞穂町の取組において子ども・若者の意見を聞いてもらえていると思うかについては、「どちらともいえない」が23.5%と最も多く、次いで「わからない」が21.7%、「あまりそう思わない」が16.3%となっています。



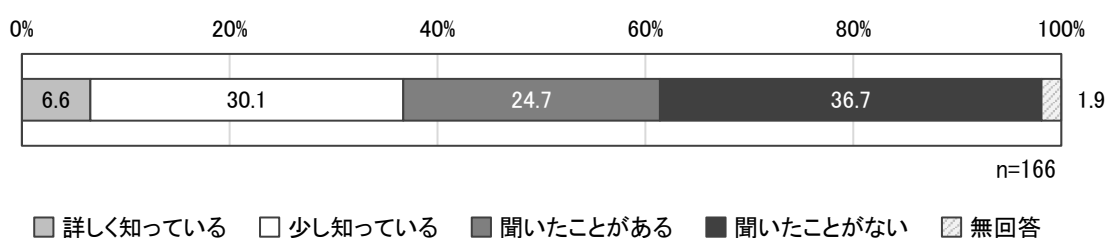
問10 あなたは、瑞穂町が、結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっていっていると思いますか。(1つに○)

瑞穂町が、結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっていっていると思うかについては、「どちらともいえない」が25.9%と最も多く、次いで「わからない」が21.7%、「あまりそう思わない」が18.1%となっています。



問11 「こどもの権利」とは、子どもが大人と同じく一人の人間として持つ権利です。権利には安心して生活できること、自由に意見を言ったり活動したりできることなどが含まれます。あなたは、「こどもの権利」について知っていますか。(1つに○)

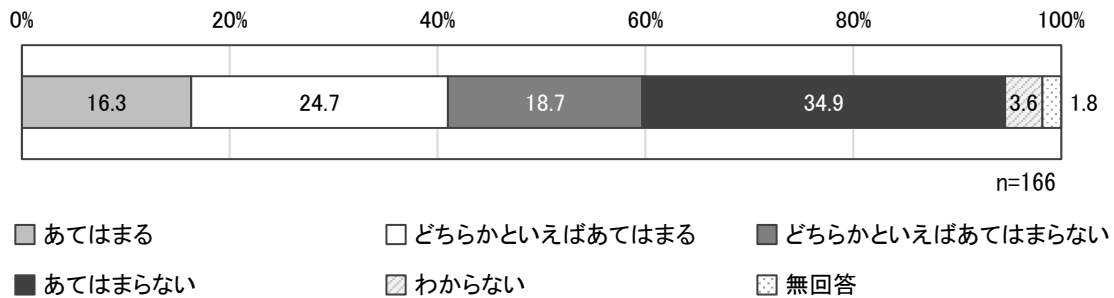
こどもの権利の認知では、「聞いたことがない」が36.7%と最も多く、次いで「少し知っている」が30.1%、「聞いたことがある」が24.7%となっています。



問 12 あなた自身の思いや気持ちについて、もっとも近いものはどれですか。
(それぞれ1つに○)

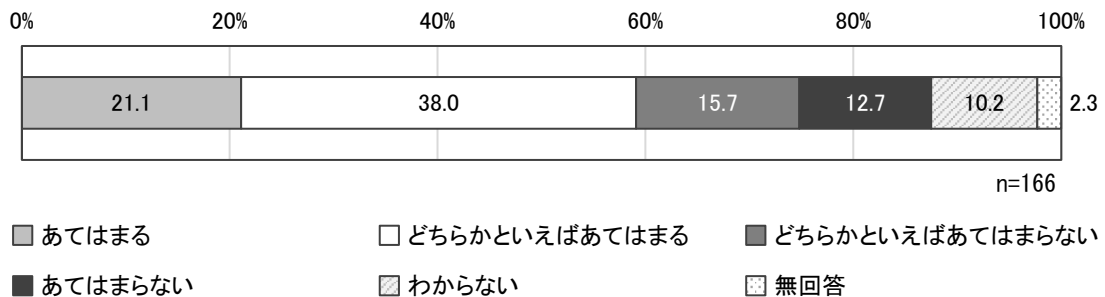
(1) 社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がある

社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験があるかでは、「あてはまらない」が34.9%と最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が24.7%、「どちらかといえばあてはまらない」が18.7%となっています。



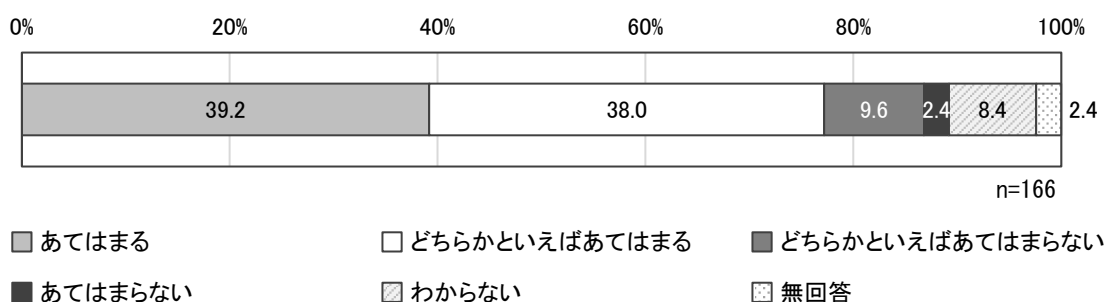
(2) 今の自分が好きだ

今の自分が好きかでは、「どちらかといえばあてはまる」が38.0%と最も多く、次いで「あてはまる」が21.1%、「どちらかといえばあてはまらない」が15.7%となっています。



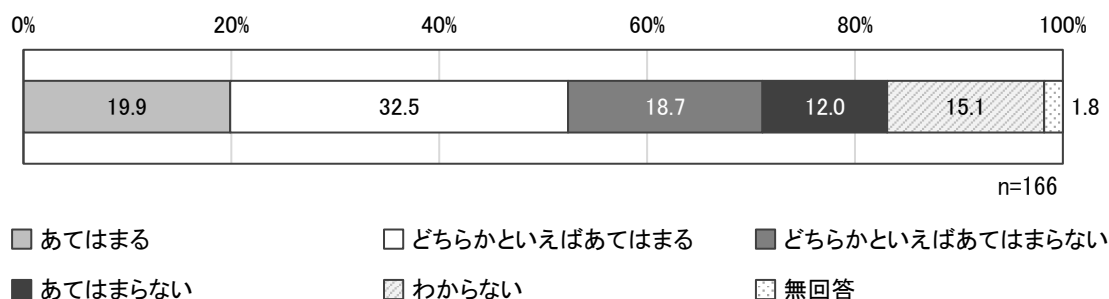
(3) 自分には自分らしさというものがあると思う

自分には自分らしさというものがあると思うかでは、「あてはまる」が39.2%と最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が38.0%、「どちらかといえばあてはまらない」が9.6%となっています。



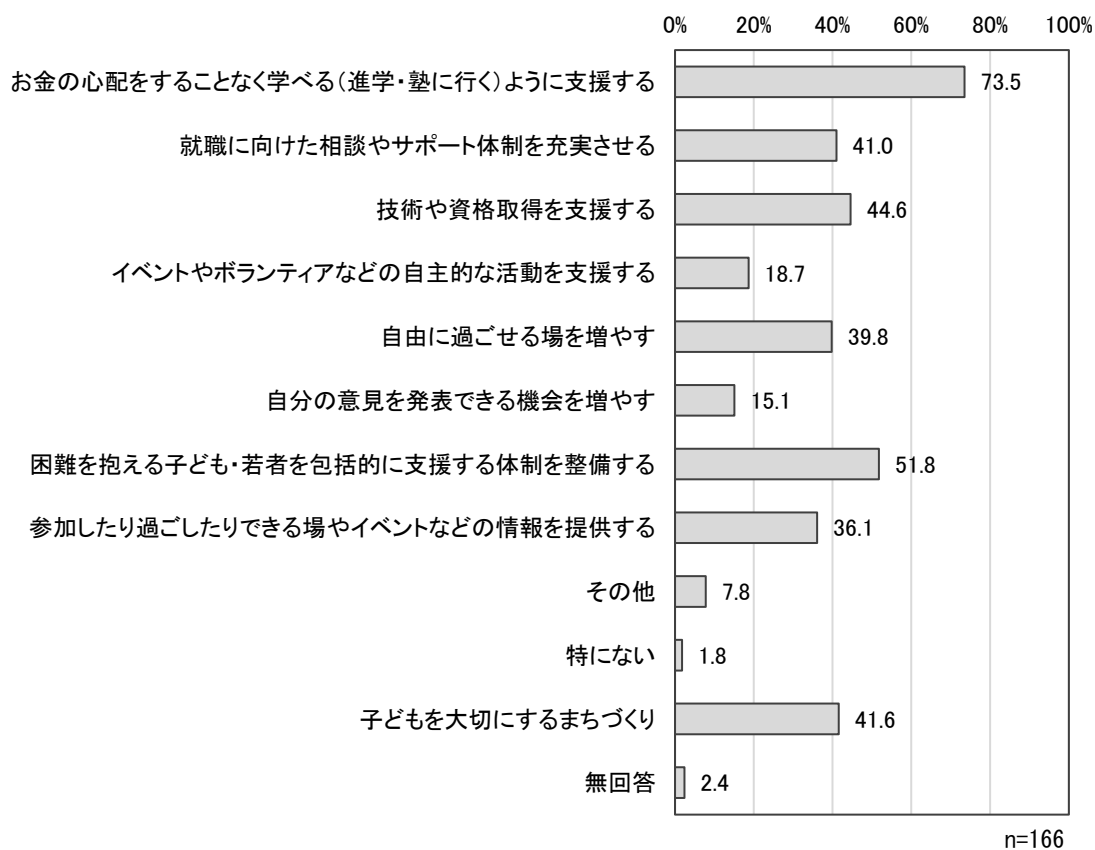
(4) 自分の将来について希望を持っている

自分の将来について希望を持っているかでは、「どちらかといえばあてはまる」が32.5%と最も多く、次いで「あてはまる」が19.9%、「どちらかといえばあてはまらない」が18.7%となっています。



問 13 あなたは、これから子ども・若者のために、瑞穂町に必要な取組は何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

これから子ども・若者のために、瑞穂町に必要な取組は何だと思うかについては、「お金の心配をすることなく学べる(進学・塾に行く)ように支援する」が73.5%と最も多く、次いで「困難を抱える子ども・若者を包括的に支援する体制を整備する」が51.8%、「技術や資格取得を支援する」が44.6%となっています。



IV. 資料編

1. 自由記述の概要

本調査の自由記述では、日頃感じていることや悩みごと、瑞穂町をより良くするための取組について、多くの意見をいただきました。

なお、本報告書への記載に際しては、個人や団体などが特定される表現を一部加工して記載させていただいた部分があります。また、いただいた意見等は関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。

小学5年生・中学2年生

問 14 今の生活に関して、日頃感じていることや悩みごとなどがありましたら、なんでもいいので自由に書いてください。

91 件の意見等がありました。主な意見等は以下のとおりです。。

1. 友達のこと

- ・友達関係がうまくいかない、不安になる。
- ・友達と話すのが楽しい。
- ・クラス替えで仲の良かった友達と離れたのが残念。
- ・いじめ。いじりすぎ。
- ・恋愛のこと。

2. 勉強のこと

- ・宿題。宿題が多い。宿題をやっていると寝るのが遅くなる。
- ・勉強。
- ・塾が大変。

3. 学校のこと

- ・学校に行きたくない。行くのがつらい。
- ・先生と合わない。生徒への呼び方を考えてほしい。
- ・先生も生徒も同じように決まりを守ればいい。
- ・授業がわかりやすい。
- ・学校の階段が滑る。地面がボコボコで水たまりができています。
- ・体育館が暑い。
- ・校庭の芝生を整備してほしい。
- ・天気が悪かったので、プールができなくて残念。
- ・コミュニティバスをスクールバスにしてほしい。
- ・部活がつまらない。

4. 家族のこと・家庭のこと

- ・家族に感謝。
- ・兄弟げんかがイヤ。
- ・親がうるさい。親の喧嘩が多い。
- ・自分の部屋が欲しい。

5. その他

- ・将来が不安。受験が不安。
- ・相談先が分からない。

問 15 あなたにとって、瑞穂町をより良い町にするためには、どのような取組が大事だと思いますか。なんでもいいので自由に書いてください。

229 件の意見等がありました。主な意見等は以下のとおりです。

1. まちをきれいに

- ・ごみ拾い。ごみ拾いボランティア。
- ・ごみを捨てない。ポイ捨てしないで持ちかえってほしい。
- ・公園にゴミ箱が必要。
- ・きれいな街にすること。環境破壊をしない。
- ・自然を大事にする。リサイクル。

2. 安心・安全なまち

- ・犯罪をなくす。治安のよい町にしたい。
- ・交番に人がいてほしい。
- ・朝の見回りの人を増やしてほしい
- ・いじめをなくす。
- ・夜、バイクがうるさい。

3. 遊べる場所がほしい

- ・遊べる場所・施設がほしい。児童館、図書館。
- ・気軽に行ける公園。町外の人が来てくれる公園。安心して遊べる公園。
- ・スポーツができる場所・公園を増やしてほしい。屋内スポーツ施設。
- ・町営プールをなんとかしてほしい。

4. 学校について

- ・学校の設備。体育館にクーラー。体育館が古いので、建て直してほしい。
- ・夏休みの学校プールを開放してほしい。
- ・いろんな物をつくるより、学校を過ごしやすい環境にしてほしい。

5. 買い物できる場所がほしい

- ・お店を増やす、ショッピングモール。
- ・本屋さん、文房具屋さん、駄菓子屋さん、百均、スーパー、コンビニ。
- ・商店街の復活。

- ・経済を回す。

6. 公共交通、治安の改善

- ・バスを増やしてほしい。コミュニティバスの最終が早すぎる。
- ・利用する人がほぼいないから、コミュニティバスの廃止。
- ・電車の本数を増やす。
- ・人口を増やしてからモノレールを作る。
- ・モノレール不要。
- ・車のスピードをゆっくりしてほしい。
- ・街灯やガードレールを増やしてほしい。交通安全。

7. 人とのつながり

- ・挨拶。笑顔で挨拶。声かけ。
- ・ボランティアをする。
- ・あきらめない。
- ・ルールは守る。
- ・地域の人と助け合う。地域交流。

8. 魅力発信

- ・映えスポット。
- ・イベントを増やす。夏祭り。イベントで人と触れ合う。大人も子どもも楽しい行事。
- ・SNS等で瑞穂の魅力を発信する。
- ・みずほまるのグッズ化。
- ・瑞穂町のブランドを主張する。特産物を増やす。
- ・瑞穂町の自然をアピールする。

9. その他

- ・「ストップ22」をなくす。
- ・瑞穂町はいい町です。これ以上は必要ない。
- ・税金の無駄遣いをやめる。
- ・建物のバリアフリー化。
- ・都会化。
- ・子どもの意見をきく。住民の意見をきく。

問 18 今の生活に関して、日頃感じていることや悩みごとなどがありましたら、自由に書いてください。

56 件の意見等がありました。主な意見等は以下のとおりです。

1. 経済的な不安・負担

- ・町民税等すべて高い。安くしてほしい。
- ・経済的に厳しく余裕はありません。全ひとり親世帯への支援（手当や給付金等）や住宅手当等、拡充してほしい。
- ・この数年での物価高騰がかなり家計にダメージ。子どもの進学や自分たちの老後も心配。
- ・物価高騰し、日常の生活でも贅沢はできない状況。もう少し町から補助金等があれば助かる。特に学校の学習に関わる（社会科見学、林間学校、移動教室）は高額になるので検討してほしい。
- ・扶養からはずれて働いています。シングルの人への補助などは手厚いので、その方が楽だと思う。
- ・子どもの進学に対して、経済的な不安で、やりたいことをやらせてあげられない。
- ・子どもを大学に行かせてあげられるか不安。中級家庭にも補助金が必要です。
- ・学習塾の費用が大きな負担。

2. 学校のこと

- ・小中学校の体育館にエアコンを入れてほしい。
- ・小中学校の老朽化が深刻。災害時の避難所なので、災害に強い校舎にすべき。
- ・学校のトイレが汚い。きれいに新しくしてほしい。
- ・勉強面では瑞穂町の小中学校のレベルが全国平均より低い。学習の理解に問題があるのか、教え方に問題があるのか、調査してほしい。
- ・学校で放課後に勉強できるスペースがあるとよい。
- ・小中学校の給食無償化に感謝。
- ・連休前後になると給食がなくなるが、毎日出してほしい。
- ・通学時の交通費の無償化。
- ・「体験格差」について、町でも対策してほしい。
- ・町は教育にお金をかけていない。検定取得の取組がなくなり、宿泊学習の日数も減った。
- ・小中学校でプールの授業がほとんどできない。
- ・学校の先生を増やしてほしい。1 クラス担任とサポートの先生の2人体制希望。

3. 学校生活のこと

- ・夏休みが長くて、食事の準備に困る。
- ・四小学区の（二中への）自転車通学が可能だが、すべての生徒が自転車通学を可能に。
- ・授業を休む、見学する際の理由など、デリケートな理由で子どもたちが指導者に伝えたくないときの不信感。
- ・学校で頑張ることに疲れ、毎日行きたくないと言いながら通学している。
- ・五小の近くに学童がほしい。（学童が遠い）

- ・学校が遠い。バスをスクールバスとして利用できないか。

4. 遊び場のこと

- ・暑い夏でも子どもが安心して遊べる場所（屋内）がほとんどない。
- ・公園の整備。
- ・子どもがのびのび遊べる場所が少ない。
- ・子どもだけで遊びに行くと、トラブルが起こる。
- ・夕方まで公園で遊んでも注意される。ボール遊びができない。
- ・ストリートダンスやスケートボードの施設があるとよい。
- ・高学年～中学生あたりも楽しく体を動かせるようになってほしい。
- ・瑞穂町は車社会だが、公園には駐車場がとても少ない。
- ・駅の西口にできる公園の完成時期を知りたい。

5. 公共施設のこと

- ・公共施設のスタッフの態度が気になる。大きな話し声が耳障りで、部下への厳しい言い方に不快感をおぼえる。
- ・町営プールに屋根をつけてほしい。
- ・子どもだけでは学区外の図書館やプールにも行けない。

6. 公共交通、移動のこと

- ・自動車専用レーンがない。自転車道の整備。
- ・モノレールが開通していないのに、バス代の値上がりは痛手。
- ・中高生にも交通費負担軽減の仕組みがほしい。

7. 生活の困りごと

- ・買い物が不便。
- ・路線バスや駅まで遠い人たちは買い物をどうしてるのだろう。
- ・駅前にスーパーがほしい。
- ・遅くまで開いている病院を増やしてください。

8. 行政・まちづくりのこと

- ・町のこころの相談に行ったが、町の中で解決することが難しかった。
- ・若い人の意見を聞かない瑞穂町。意見が出ても「それは通らない」で終わる。これでは町が育たない。
- ・路上に日陰で休めるベンチがほしい。

9. その他

- ・六道山公園など、自然が豊かな瑞穂町をアピールしたらどうか。
- ・うちの子は勉強ができない。自宅学習も乗り気になってくれない。
- ・今年引っ越したばかりだが、子どもがいじめられ、学校に行かなくなった。
- ・高齢のため、こどもが成人するまで世話ができるか不安。
- ・障がいのある子の親亡き後の自立した社会生活が不安。
- ・変質者が多いので心配。
- ・幼少期からLGBTについて教育して悩む子が減るように、学校教育でも多様性の受け入れを。

- ・子どもに遊びのルールや携帯電話（SNS 等）の使い方を教えたり、チェックするのが大変
- ・親が共働きなので、子どものために家にいてあげることができない。
- ・ひとり親ではないが、ほぼワンオペです。病気になっても病院に行くことができない。課税世帯の場合は頼れるものがない。
- ・自営業をしているが、人出不足が長く続いている。税金が高く、続けるのも大変。

問 19 あなたにとって、瑞穂町をより良い町にするためには、どのような取組が大事だと思いますか。自由に書いてください。

64 件の意見等がありました。主な意見等は以下のとおりです。

1. 公共交通・移動手段について

- ・道路幅が狭くてもスピードが出やすい道が多い。歩行者や自転車、運転手が安心して通れる道が必要。
- ・道路、歩道の雑草をきれいにする。
- ・高齢ドライバーの危険運転が目立つ。免許返納を進めてほしい。
- ・交通の便をよくする。
- ・コミュニティバスの料金が安い。
- ・バスの本数を増やしてほしい。
- ・早くモノレールが通るとうれしい。

2. 学校について

- ・学校の学習レベルが低い。子どもの学力をあげる取組が必要。
- ・学力をあげてほしい。
- ・学校で「作文」を書かせることがないのか。子どもの文章力や読解力がなさすぎる。
- ・検定等への支援が少なくなった。
- ・中学校の課題が多すぎる。
- ・町役場はキレイだが、瑞穂中は古いのできれいな校舎にしてほしい。
- ・トイレに行きづらい。
- ・小中学校の体育館に冷暖房をつけてほしい。
- ・PTAがかなり負担。朝の旗振りだけでも委託できないか。

3. 子どもの居場所について

- ・子どもの居場所が少ない。
- ・遊具のある公園が少ない。公園に禁止事項が多く、遊べることが限られる。
- ・子どもが遊べる場所が少ないので公園を増やしてほしい。
- ・公園の駐車場を増やしてほしい。
- ・学区内に児童館もプールもない。子どもだけで遊べる場所がない。
- ・学区にひとつずつ児童館を作してほしい。
- ・児童館や図書館だけでなく屋内で遊べる場所が必要。
- ・日曜・祝日には児童館がやっていないので、遊べるところがない。
- ・子どもが遊べる場所がないと、携帯などで遊ぶしかなくなる。

4. 町の公共施設について

- ・公共施設の学区格差がある。
- ・地域内に子どもが利用できる学習室もなく、コミュニティセンターや体育館は大人優先になっており、子どもだけで利用できるスペースがない。
- ・子どもが集まりたくなる場所を公共施設内に増やしてほしい。
- ・都営住宅に路上駐車が多い。管理をきちんとしてほしい。
- ・町民プールを年中無休で入れる温水プールにしてほしい。
- ・移動児童館ではなく、児童館がほしい。
- ・二小の学童が古く、狭い。希望者全員が入れる環境になるとよい。

5. 商業施設がほしい

- ・スーパーがない。ネット注文を使えばと言われるが、高齢者にはづらい。
- ・子供服を売ってるところがほしい。
- ・町内に買い物できる場所がないので、町外での買い物をしいられる。
- ・飲食店も少ないので、親子同士の交流の場に限られる。ファミレスがほしい。
- ・子どもたちが少し遊べるような場所のあるショッピングセンターがほしい。
- ・商店街がもっと活性化し、人が集えるカフェなどがあると、町の人たちの交流の場にも子どもたちの見守りにもなる。
- ・モノレールが通るなら、人が集まる場所が必要である。
- ・病院が少ない。増やしてほしい。(小児科、皮膚科、整形外科、婦人科)
- ・スポーツクラブがあるとよい。

6. 子どもと大人の交流

- ・子どもの話をちゃんと聞いてくれる大人が、地域の見回りをしてほしい。
- ・ものの良し悪しを子どもに教えてくれる大人がいることはありがたい。
- ・子どもに大声を上げる大人を何とかしてほしい。
- ・親の教育(しつけや接し方)から見直しが必要。怖い人や口が悪い人が多すぎる。
- ・子どもと高齢者が、ともに過ごせる場所があるとよい。
- ・子どもの成長には、たくさんの人の意見や感情に触れることが大切である。

7. 子どものころからの体験

- ・子どものころから、役場や議会を見学し、仕事を知ってもらう機会を増やす。
- ・中学生の職業体験では、色んな職があることを知ってもらう。
- ・工場見学など、町の資源や魅力を多くの人に知ってもらうことが重要。

8. 地域のつながり

- ・住民参加型のイベントを催し、地域とのつながりを持つこと。
- ・無理をしなくてもいい、自然な地域の交流。
- ・町内会に入っても、やめてしまう家庭が見受けられる。入っていて得がある楽しい等思える取組を考えるべき。
- ・町内会への入会を嫌がる世代が増えた。
- ・小さな地域のお祭りやマルシェは、子どもたちも喜んでいるので増やしてほしい。
- ・イベントに参加することで、地域への関心を持つ保護者が増えるとよい。

9. まちづくりについて

- ・町の資源や魅力を多くの人に知ってもらうことが重要。
- ・町を活性化するには、町民を増やすことが必要。そのためには、町のアピールが重要である。
- ・他市町から瑞穂町を目的としてくるようなまちづくりが必要。瑞穂町は畑や物産品も多いので、道の駅があると産業が活気づきそう。
- ・企業誘致に力を入れてほしい。
- ・インフラ整備や大型マンションの誘致などができると、町の税収が増えると思う。
- ・働く場所ができると移住する人が増え、学校もにぎやかになる。
- ・高校生がバイトできる場所がない。

10. その他

- ・大学に通うにも奨学金を利用している人が多く、将来が不安。
- ・小さい子の支援だけでなく、多胎にも支援してほしい。
- ・医療費、給食費の無料化はありがたい。長く続けばいい。
- ・当たり前のように野焼きをする人がいる。
- ・近所の人から、石を投げられたことがある。
- ・うちのキックボードを他の子が勝手に使う。
- ・羽村市と合併してほしい。

町内在住の16歳・17歳

問 19 今の生活に関して、日頃感じていることや悩みごとなどがありましたら、自由に書いてください。

13 件の意見等がありました。主な意見等は以下のとおりです。

1. 治安のこと

- ・治安がわるい。
- ・バイクの騒音がひどい。
- ・深夜にコンビニやマンションにたまっている子たちがうるさい。
- ・街灯が少ない。人通りが少ないところが多く、暗くて怖い。

2. 交通手段のこと

- ・移動が不便。(八高線、バス)
- ・高齢者の信号無視が多い。

3. 遊べる場所のこと

- ・学生が遊べるところがない。
- ・遊べるところを増やしてほしい。
- ・青梅や羽村まで行かないと遊べない。
- ・バスケのコートが少なすぎる。(あっても質が悪い)
- ・コミュニティセンター前の広場の金網を直してほしい。

4. 買い物のこと

- ・買い物が大変。買い物ができる場所が少ない。
- ・ごはんを食べる場所が少ない。

5. 将来のこと

- ・大人になりたくない。
- ・このままだと、社会で生きていけない。
- ・働けるところが少ない。
- ・もし結婚したら、瑞穂から出たい。不便だし住所が長い。

6. その他

- ・家の近くに何もないので、暮らしにくい。
- ・孤独感が強い。
- ・ニキビが治りにくい。
- ・運動不足解消のための縄跳びをしようか迷っている。
- ・みずほまるのガチャガチャを役場の1階エントランスに置いてほしい。
- ・パンダにあいたい。

問 20 あなたにとって、瑞穂町をより良い町にするためには、どのような取組が大事だと思いますか。自由に書いてください

24 件の意見等がありました。主な意見等は以下のとおりです。

1. 交通手段や道路の改善

- ・バスの本数を増やす。電車の本数を増やす。
- ・学生でも車などで移動できる方法を増やす。
- ・八高線の利便性アップ。
- ・雑草が歩道を覆っていたりする。歩くのに安全なよう、頻繁に手入れをしてほしい。
- ・安全のために道を広くする取組が必要。
- ・雨が降ったときに、道路が冠水するので、改善してほしい。

2. 買い物などの利便性向上

- ・買い物をできる場所がないので不便。ショッピングセンターが出来てほしい。
- ・シャッター商店街をどうにかしてほしい。
- ・公園や遊べる場所・施設を増やしてほしい。
- ・病院が少ない。駅周辺以外にも増やしてほしい。
- ・駅前にカフェや飲食店がほしい。

3. まちづくりについて

- ・1人ひとりが町をきれいに利用する。
- ・ボランティアで掃除をする取組。
- ・瑞穂町の知名度を上げる。
- ・最近自然が少なくなってきた。もっと自然を生かした何かをしたほうがよい。
- ・瑞穂の人が日頃から自然を感じれるよう、緑を増やしてほしい。
- ・公園を増やしてほしい。

4. 若者や子どもが集まれる場所がほしい

- ・若者や子どもが集まれる場所づくり。
- ・フードコートのような、学生が遊んだり勉強できるところ。

5. その他

- ・アンケートは小中学生から聞いたほうがよい。
- ・こどもの意見や悩みを聞く手段がほしい。
- ・自分から相談機関に相談する勇気がない子もいるので、悩んでいる子を救う取組。
- ・学費を無料に。
- ・取組は役所が考えてください。
- ・瑞穂町の政策を、さまざまな方法で分かりやすく宣伝する。
- ・税金をみんなのために使ってほしい。

町内在住の18歳～39歳

問 14 今の生活に関して、日頃感じていることや悩みごとなどがありましたら、自由に書いてください。

58 件の意見等がありました。主な意見等は以下のとおりです。

1. 交通手段のこと

- ・住宅街の狭い道をものすごいスピードで走っていく車が多い。
- ・公共施設に行くにも、必ず車が要る。
- ・箱根ヶ崎駅の自転車置き場を無料にしてほしい。
- ・電車の本数が少ない。終電時間が早い。
- ・駅に駅員がいないことが多い。駅を使いやすくしてほしい。駅で乗り越し精算ができない。
- ・大型バスでなくてよいので、コミュニティバスの本数を増やしてほしい。
- ・駅から循環バスの乗り継ぎが悪い。
- ・役場に直接行ける公共交通がない。
- ・自転車ヘルメットの購入補助の申請が手間だった。

2. 生活の不便

- ・シャッター商店街をどうにかできないか。
- ・ショッピングモールがなくなり、不便。
- ・駅の西側・東側ともに何も商店がない。
- ・病院がないので不便。
- ・近くに本屋がない。
- ・スーパーマーケットが少なく、閉店時間も早い。利便性が下がった。
- ・日々の生活用品の買い物に困っている。町内に増やしてほしい。

3. 子育て支援のこと

- ・早く保育料無償化になったらいい。
- ・学童が遠い。学校内に学童をつくることはできないか。
- ・放課後デイがないため、預け先が遠方になってしまう。
- ・小学校教員の指導力不足（スキル不足）を感じる。
- ・全国学力、学習状況調査の結果をみても、瑞穂町の子ども達には基礎学力の向上が必要。
- ・学校で発達の特性を持つ児童に適切に支援されていないようにみえる。
- ・学校での言葉の暴力や体の暴力をなくしてください。
- ・保育士の質が悪い。虐待に近い扱いや、こどもの権利を軽視している。
- ・保育園でおむつの処分ができるようにしてほしい。

4. その他の町の事業のこと

- ・児童館の幼児事業が多くてよい。広く告知してほしい。
- ・日、祝日（GW など）も、児童館や支援センターがやっていると助かる。
- ・町の西側地域にもいろんな施設や相談できる場所があるとよい。
- ・保健センター等が駅から遠く、山の上にある。行くのが大変。

- ・こども食堂にもっと力を入れてほしい。内容がいまいちになった。
- ・図書館の自習スペースが少ない。もっと自習スペースを作してほしい。
- ・図書館の自習室をいつも夜8時まで利用できるようにしてほしい。
- ・いろんな支援が非課税、子どもがいる方に偏り、子どもがいない人への支援が何もない。

5. 子どもが遊べる場所

- ・雨天や酷暑で外遊びできない時に、子どもを遊ばせる屋内施設がない。
- ・子どもの自由に遊べる場がない。公園でボールが使えない。
- ・室内プールがほしい。
- ・雨の休日に遊べる場所が少ない。

6. 若者が遊べる場所

- ・若者層が気軽に集える場がほしい。
- ・駅前に人を呼べる施設がほしい。
- ・駅のロータリーに時間をつぶせるお店がほしい。
- ・年寄りの憩いの場を作るのは良いが、若者にとって何もメリットがない。

7. 就職・就労のこと

- ・正社員とそれ以外（フリーター）との格差がありすぎる。
- ・シングルマザーになってから正社員を目指して就職活動をしたが、正社員として仕事に就くことができなかった。
- ・交代勤務だと、同世代の人となかなか会えません。
- ・子育てと仕事の両立が難しい。特別な支援もない。
- ・2人目を望んでいるが仕事がハードな為にできない。
- ・職場での人間関係がづらい。
- ・今は非常勤（保育士）。「いつかは正社員」と言われ続けてきたが、何も変わらない。

8. 給付や税金、生活苦

- ・物価高で生活難。
- ・共働きだと税金が高く、働いていない人の方が優雅な暮らしをしている。
- ・非課税者には給付金などの支援があるが、課税者もその日暮らしで精いっぱいです。
- ・もう少し給料が上がるとよい。

9. 将来への不安

- ・親の老後や介護を考えると、子どもはいろいろ我慢しなければいけないのか。将来を考えると難しいことだらけ。
- ・物価が上昇しているにも関わらず、賃金や待遇は良くならない。子育てにはわからないことが多いため、自分が産んで育てられるビジョンが見えない。
- ・結婚のメリットが分からない。

10. その他

- ・街灯が暗いところが多い。
- ・住所が長すぎて書くのが大変。
- ・「こどもまんなか社会」とあるが、甘やかすことと大切に育てることは違う。良いこと悪いことの分別ができる子どもを増やしていくことが重要。
- ・今さらアンケートを行っている時点で、行動が遅い。若者が社会人になって、町から出て

いかないように考えなければ、この町の少子高齢化は防げない。

- ・町を活性化させて、若者層（ファミリー層）を増やすべき。
- ・瑞穂町に魅力がない。
- ・学区や町内会の区割りなどが不可解。
- ・子どもを地域の大人が大切にしていない点で問題である。
- ・隣の男性の怒鳴り声とタバコがきつい。
- ・議員などが年寄りすぎてあきれる。
- ・日々楽しい。

問 15 あなたにとって、瑞穂町がより良い町になるためには、どのような取組が大事だと思いますか。自由に書いてください。

72 件の意見等がありました。主な意見等は以下のとおりです。

1. 公共交通の充実

- ・電車の本数を増やしてほしい。
- ・始発も遅いし、終電も早い。
- ・駅員のいない時間も多く、料金精算が出来ない。チャージはコンビニ。
- ・駅のトイレに石けんすらない。
- ・駅窓口の時間が短い。思い切って町に委託できないか。
- ・電車とバスの時刻の連携をなんとかしてほしい。
- ・コミュニティバスの料金を安くしてほしい。高すぎる。
- ・コミュニティバスの本数を増やしてほしい。1 時間待つのはいやだ。
- ・コミュニティバスの利便性が悪い。ルートを見直してほしい。
- ・バスが時刻表より早く発車するのは悲しい。
- ・モノレールが来ても料金が高ければ、利用客が見込めない。
- ・モノレールも乗り換えがスムーズにできるように。うまく乗り換えできないと、高齢者やバリアフリーの観点からも良くない。

2. 公園、子どもの遊び場の確保

- ・室内で子どもが遊べる場所がほしい。
- ・三小地域に公園がもう少しあると助かる。二本木公園に集中しすぎ。
- ・公園が少ない。狭い。
- ・松原稲荷神社の空き地を早く公園として使えるようにしてほしい。
- ・公園の遊具が使えなくなっているなら、早めに撤去してほしい。
- ・遊具のある公園が少ない。
- ・設備が充実した公園や運動場など、健康増進の拠点となる場所の整備。
- ・公園の石像は何のメリットがあるのか。

3. 学習支援

- ・塾の支援が欲しい。
- ・義務教育課程の子ども達の基礎学力の向上。
- ・教職員のスキルアップ（指導力）。

- ・教育の質の向上。小中学校の偏差値を上げる。
- ・発達特性を持つ子ども達の支援。（人員確保、支援クラスを設定する。）
- ・収入に関係なく、大学までの支援をしてほしい。
- ・英検や漢検、危険物や簿記等の様々な検定にチャレンジ出来る機会がほしい。
- ・体験格差が大きい。
- ・就職した後も、お金を気にせず大学や専門学校に入れる支援があるとよい。
- ・学びたい人が自由に学べる環境をつくりだしてほしい。

4. 若者のための場の充実

- ・筋トレができる場所やスパがあるとよい。
- ・誰でも参加できる職業体験を催してほしい。
- ・若者が参加できるイベント、催し物がほしい。
- ・イベント等に積極的に加わっていくことも大切。
- ・出生率を上げる手前のこととして、若者が出会える場をつくるのもあり。運動やイベント等で縁をつくり、関わりを増やすのも策です。

5. 安心・安全なまち、災害対策をしっかりとやっているまち

- ・災害があっても、安心して過ごせるまちになってほしい。
- ・下水の問題が SNS で流れてきたときは、本当にイヤだった。
- ・災害警報の放送が聞き取りづらい。
- ・治安向上への取組。
- ・中学生の自転車の乗り方が悪い。小中学校で自転車の乗り方の教育をしてほしい。
- ・高齢者の運転をやめさせたいなら、アンケートをとったらどうか。

6. まちづくり、まちのPRについて

- ・都心との差別化。
- ・森林、自然、広い土地を活用する。六道山の自然をアピールする。
- ・観光資源をもっと上手に活かしてほしい。
- ・駅周辺のゴミ放置が気になる。ゴミを捨てない、落ちていたら拾う人が増えるといい。
- ・住みたい町ランキングにランクインするようなまちづくり。
- ・若者を大切に思うなら、人を上手によべるまちづくりが必要。
- ・駅の西側を中心にしたまちづくり。
- ・名物をつくり、SNS などで配信する。
- ・電車は不便だが、車で外出は便利なので、アピールポイントになると思う。
- ・自然災害の影響を受けていないのも、アピールポイントになると思う。
- ・どういった「まちづくり」をするか、わかりやすく紙媒体以外でも発信してほしい。
- ・ケーブルテレビで放送しても若者は見ない。SNS の配信を強化したほうがよい。
- ・瑞穂町の知名度が低すぎる。町長はもっと瑞穂町の宣伝をしてほしい。
- ・人が交流できる場が増えることで、相談する一歩が踏み出せない人が、話すきっかけにつながり、将来の道筋が明るい方向に少しでも向けたら、よいまちづくりにつながると思う。

7. 役場・行政について

- ・「みずほまる」の知名度を上げる。
- ・LINE スタンプを、町民は無料でダウンロード可能に。
- ・役場の電気代節約。
- ・役場の建物がキレイになって働きやすいだろうが、町民のことを考えてほしい。
- ・役所の周りばかり道路計画が作られているのかが疑問。
- ・若者は、町の行政に関心を持った方がよい。

8. 買い物の不便さ解消

- ・買い物が不便。
- ・ショッピングセンターや大型スーパーがほしい。
- ・商店街を復活させてほしい。
- ・駅東側以外の利便性を考慮してほしい。
- ・もう少し産業的に栄えたらよいと感じる。
- ・産直のリニューアル。

9. 各種支援について

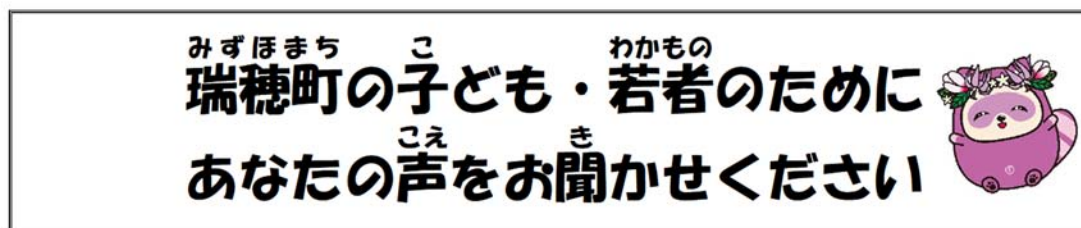
- ・収入などの条件が偏った支援ではなく、すべての人に支援してほしい。
- ・子育て世代に支援を！！（非課税など関係なく）
- ・産後うつのとき、驚くほどサポートしていただき、感動しました。ありがとうございます。
- ・何かに困っている子ども若者に手厚く支援することは大切だと思います。その一方でそういう人達だけを対象にするとスティグマを伴うと思います。
- ・日本の給料は安いので、若者へのお金のサポートが必要。
- ・出産や子育てへの助成金など子育て支援で人を呼べるような取組。
- ・不妊治療の支援。
- ・日曜でも子どもを預かってくれるところがほしい。
- ・教育費の減額に取り組んでほしい。
- ・様々な制度が、支援が必要な人に結び付けることも必要。
- ・子育て支援について、金銭面の負担を減らしていくことで、瑞穂町に残る若者が増え、子どもの数も増え、自然と活気づいていくといい。

10. その他

- ・若い人の意見を取り入れる。
- ・町民目線で取組を考えてほしい。今までやってきた「やり方」を変えるというのは、面倒なことも多いと思うが、町の発展のため奮闘してほしい。
- ・人とのつながりが少ない。コミュニケーションの場を設ける必要がある。

2. 調査票

小学5年生・中学2年生



みずほまち こ わかもの せいかつじつたいちようさ
瑞穂町子ども・若者の生活実態調査
しょうがく ねんせい ちゅうがく ねんせいよう
(小学5年生・中学2年生用)

ちようさ きようりよく ねが
～ 調査ご協力をお願い ～

みなさん、こんにちは。瑞穂町長の杉浦です。

みなさんは、「こども基本法」を知っていますか？「こども基本法」とは、全ての子どもや若者が、健やかに成長でき、将来にわたって幸せに生活できる「こどもまんなか社会」を作っていくための法律です。

町では、「こどもまんなか社会」の実現を目指し、子どもや若者を支援していくために必要なことをまとめた「子ども計画」をつくります。その計画をつくるために何よりも大切なのは、みなさんの意見です。

今回お願いする調査は、みなさんと一緒に「こどもまんなか社会」をつくっていくために、現在の生活の様子やみなさんが今思っていること、そして将来の目標などについての質問になっています。

正しい答えやまちがった答えはありませんので、みなさんが思う答えを選んでください。みなさんの回答をもとに町ができることを考えていきますので、調査へのご協力をお願いします。

れいわ ねん がつ
令和6年7月

みずほまちようちょう すぎうら ひろゆき
瑞穂町長 杉浦 裕之

がっこう ていしゅつぎげん れいわ ねん がつ にち きん 学校への提出期限：令和6年7月19日（金）まで
ウェブ かいとう れいわ ねん がつ にち きん ※Webでの回答：令和6年8月2日（金）まで
ほんちようさ といあわ つぎ ねが 【本調査についてのお問合せは次のところまでお願いします。】
みずほまち ふくしよ こそだ おうえんか こそだ しえんがかり 瑞穂町 福祉部 子育て応援課 子育て支援係
でんわ ちやくつう 電話：042-557-7624（直通） メール：kosodate@town.mizuho.tokyo.jp

ウェブにようきよう アイディ
Web入力用 ID：1111

ウェブかいとう
Web回答はこちらから→

アイディ こじんじょうほう とくてい
(このIDは個人情報 を特定するものではありません)

ユーアールエル
URL: <https://logoform.jp/f/●●●●>



【ご記入・ご提出にあたってのお願い】



- このアンケートは、封筒が配られた方が自分で書いてください。
- あなたが書いた内容をおうちの方に見せる必要はありません。
- あなたが書いた内容を学校の先生が見ることはありません。
- 名前は書かないでください。
- えんぴつかボールペンで書いてください。
- 正しい答えやまちがった答えはありませんので、あなたが思う答えを選んでください。
- 答えたくない質問に答える必要はありません。
- 「その他」に○をつけた場合は、()に答えを書いてください。
- アンケートはこの調査票で回答するか、Webで回答するかどちらか好きな方法で回答できます。
- 調査票で回答する方は、書き終わったら、封筒に入れて先生に提出してください。
- Webで回答する方は、表紙の右下にあるURLの入力、または二次元コードを読み取り、専用のサイトから回答してください。

こどもまんなか社会の考え方（参考）

「こどもまんなか社会」とは、すべての子ども・若者が健やかに成長でき、将来にわたって幸せな状態で生活を送ることができる社会のことです。「こどもまんなか社会」をつくっていくために大切なことは、

- ◎ 子どもや若者のみなさんが生まれながらに持っている権利を大切にしながら、みなさんの今とこれからにとって最もよいことを行っていくこと
- ◎ 子どもや若者のみなさんの意見を聴きながら、一緒に進めていくこと
- ◎ 大人として自分らしく生活を送ることができるようになるまで、ずっと、しっかり支えていくこと

などです。このようなことをしっかり取り組んでいくことを国が決めました。

何より大切なことは、みなさんの意見です。これからも、子どもや若者のみなさん一人一人の意見を聴いて、その声を大切にして、子どもや若者のみなさんにとって最も良いことは何かを考えて、それを取組に反映し、これまで大人が中心になってつくってきたこの社会を「こどもまんなか社会」へとつくり変えていきます。

問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

1. 男	2. 女	3. その他
------	------	--------

問2 一緒に暮らしているご家族はどなたですか。(○はいくつでも)

1. お父さん	2. お母さん	3. きょうだい
4. おじいさん・おばあさん	5. その他の親戚	6. その他 ()

問3 次の場所は、あなたにとって、ほっとできる場所・安心できる場所になっていますか。
ア) ~ウ) それぞれにもっともあてはまる番号に○をつけてください。(1つに○)

	はい	いいえ	わからない
ア) 家庭	1	2	3
イ) 学校	1	2	3
ウ) インターネット空間 (SNS、YouTubeやオンラインゲームなど)	1	2	3

問4 あなたは、次のうち、どのようなところで遊びや体験をしてみたいですか。
(○は3つまで)

1. 身近な公園	2. 大きなスポーツ施設
3. 自然体験ができる場所	4. 屋内レジャー施設
5. 芸術鑑賞が楽しめる場所	6. 様々な職業体験ができる場所
7. 買い物ができる場所	8. 生き物とふれあう場所
9. 児童館	10. 放課後子ども教室
11. したい活動はない	12. その他 ()



問5 あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか。
(教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます。)(1つに○)

- | | |
|--------------|----------|
| 1. まったくしない | 2. 30分未満 |
| 3. 30分～1時間未満 | 4. 1時間以上 |
| 5. わからない | |

問6 あなたは、将来、どの段階まで進学(勉強)したいですか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|------------|-----------------|
| 1. 中学校まで | 2. 高校まで | 3. 短大・高専・専門学校まで |
| 4. 大学またはそれ以上 | 5. まだわからない | 6. その他() |

【問6で「1」～「4」と答えた方にお聞きします。】該当しない方 ⇒ 問7へ

問6-1 問6で答えた理由はなぜですか。(○はいくつでも)

- | |
|-----------------------|
| 1. 希望する学校や職業、夢があるから |
| 2. 自分の成績から考えて感じたから |
| 3. 親がそう言ってるから |
| 4. 兄・姉がそうしているから |
| 5. まわりの先輩や友達がそうしているから |
| 6. 家にお金がないと思うから |
| 7. 早く働く必要があるから |
| 8. その他() |
| 9. 特に理由はない |

問7 家族の中にあなたが世話をしている人はいますか。(1つに○)

※ここでの「世話」とは、本来大人がする家事や、介護や子育てなどの面倒を見ることです。
お手伝いや兄弟の遊び相手をすることは含みません。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

【問7で「1. いる」と答えた方にお聞きします。】該当しない方 ⇒ 問8へ

問7-1 あなたと一緒に暮らしている大人の代わりに 行っている世話は、どのようなものですか。
(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 家事(食事の準備や掃除、洗濯など) | 2. きょうだいのお世話や送迎など |
| 3. 家族の介護(入浴やトイレのお世話など) | 4. 通院などへのつきそい |
| 5. ぐちを聞く、話し相手になる | 6. その他() |

【問7で「1. いる」と答えた方にお聞きます。】該当しない方 ⇒問8へ

問7-2 お世話をするに次のような大変さを感じていますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. 体力の面で大変 | 2. 時間の余裕がなく大変 |
| 3. 気持ちの面で大変 | 4. 特に大変さは感じていない |

問8 現在、悩んでいることや不安に感じていることはありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 友だち関係のこと | 2. 家族関係のこと |
| 3. 勉強や進学のこと | 4. 学校生活のこと |
| 5. 自分の健康のこと | 6. 自分の見た目のこと |
| 7. 恋愛のこと | 8. 将来のこと |
| 9. その他 () | 10. 特に悩みや不安はない |

問9 あなたは、落ち込んだ時に、助けてもらったり、相談する人はいますか。
(〇はいくつでも)

- | | |
|------------|----------|
| 1. 家族や親せき | 2. 友だち |
| 3. 学校の先生 | 4. 地域の人 |
| 5. その他 () | 6. わからない |
| 7. いない | |

問10 あなたは普段、学校以外で、インターネット (YouTubeなど) やSNS (LINE、X、Instagram、TikTok など) をどのくらい利用しますか。(1つに〇)

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に3～5日程度 | 3. 週に1～2日程度 |
| 4. まったく利用しない | 5. わからない | |

【問10で「1. ほぼ毎日」と答えた方にお聞きます。】該当しない方 ⇒問11へ

問10-1 あなたは普段、学校以外で、インターネット (YouTubeなど) やSNS (LINE、X、Instagram、TikTok など) を1日にどのくらい利用しますか。(1つに〇)

- | | | |
|----------|------------|------------|
| 1. 1時間未満 | 2. 1～3時間未満 | 3. 3～5時間未満 |
| 4. 5時間以上 | 5. わからない | |

もう少しだよ～！



問11 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。
「1」(まったく満足していない) から「10」(十分に満足している) の数字に○をつけて
ください。(1つに○)

まったく満足していない ←————→ 十分に満足している									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問12 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものはどれですか。
(1)～(5) それぞれにもっともあてはまる番号に○をつけてください。(1つに○)

(1) 今の自分が好きだ (1つに○)

- | | | |
|------------|------------------|--------------------|
| 1. あてはまる | 2. どちらかといえばあてはまる | 3. どちらかといえばあてはまらない |
| 4. あてはまらない | 5. わからない | |

(2) 自分には自分らしさというものがあると思う (1つに○)

- | | | |
|------------|------------------|--------------------|
| 1. あてはまる | 2. どちらかといえばあてはまる | 3. どちらかといえばあてはまらない |
| 4. あてはまらない | 5. わからない | |

(3) 自分はだれとでもすぐに仲良くなれる方だ (1つに○)

- | | | |
|------------|------------------|--------------------|
| 1. あてはまる | 2. どちらかといえばあてはまる | 3. どちらかといえばあてはまらない |
| 4. あてはまらない | 5. わからない | |

(4) 自分には困ったときに助けてくれる人がいる (1つに○)

- | | | |
|------------|------------------|--------------------|
| 1. あてはまる | 2. どちらかといえばあてはまる | 3. どちらかといえばあてはまらない |
| 4. あてはまらない | 5. わからない | |

(5) 自分の将来について希望を持っている (1つに○)

- | | | |
|------------|------------------|--------------------|
| 1. あてはまる | 2. どちらかといえばあてはまる | 3. どちらかといえばあてはまらない |
| 4. あてはまらない | 5. わからない | |

問13 「こどもの権利」とは、子どもが大人と同じく一人の人間として持つ権利です。権利には
安心して生活できること、自由に意見を言ったり活動したりできることなどが含まれます。
あなたは、「こどもの権利」について知っていますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. くわしく知っている | 2. 少し知っている |
| 3. 聞いたことがある | 4. 聞いたことがない |

問14 いま せいかつ かん今の生活に関して、ひごろかん日頃感じていることやなや悩みごとなどがありましたら、なんでもいいのでじゆう か自由に書いてください。

問15 あなたにとって、みずほまち瑞穂町をより良い町にするためには、どのようなとりくみ だいじ取組が大事だと思いますか。なんでもいいのでじゆう か自由に書いてください。

アンケートはこれでおしまいです！
ご協力ありがとうございました。





瑞穂町の子ども・若者のために あなたの声をお聞かせください



瑞穂町子ども・若者の生活実態調査 (小学5年生・中学2年生保護者用) ～ 調査ご協力のお願い ～

皆様には、日頃から瑞穂町の子ども・子育て支援施策にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、瑞穂町は「第2期瑞穂町子ども・子育て支援事業計画」（令和2年度～令和6年度）に基づき、子ども・子育て支援施策を推進しているところですが、令和5年4月1日、国において、こども基本法が施行されたことに伴い「瑞穂町子ども計画」を新たに策定することとなりました。

こども基本法に基づき、国がこども施策を総合的に推進するために定めたこども大綱では、「こどもまんなか社会」の実現を目指しており、その実現に向けてどんなことに取り組むかなど、こども大綱を勘案し、同計画にとりまとめていくことが求められています。

この調査は、小学生や中学生をはじめ、小学生・中学生の保護者、高校生年代、20代、30代と計画の対象となる幅広い年代から、様々な意見を聴取し、同計画に反映させるために実施するものとなりますので、ご多用のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年7月

瑞穂町長 杉浦 裕之

回答期限：令和6年8月16日（金）まで

【本調査についてのお問合せは次のところまでお願いします。】

瑞穂町 福祉部 子育て応援課 子育て支援係

電話：042-557-7624（直通） メール：kosodate@town.mizuho.tokyo.jp

Web 回答はこちらから→

Web 入力用 ID：1111

URL：<https://logoform.jp/f/●●●●>

（このIDは個人情報を特定するものではありません）



【ご記入・ご提出にあたってのお願い】



- このアンケートの中の「お子さま」は、小学5年生または中学2年生のお子さまのことを指します。
- 小学5年生または中学2年生のお子さまの保護者（養育者）の方がお答えください。
- 小学5年生、中学2年生のお子さまがいる場合は、「小学5年生」のお子さまの保護者（養育者）としてお答えください。
- この調査は無記名です。
- 鉛筆またはボールペンで記入してください。
- 質問を読み、あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。
- お答えになりにくい質問があるかもしれませんが、できるだけすべての質問にお答えいただければ幸いです。
- アンケートは、本調査用紙に記入するか、Webでご回答ください。
- 紙で回答された方は、同封の返信用封筒に入れ、お近くの郵便ポストにご投函ください。切手は必要ありません。
- Webで回答する方は、表紙の右下にあるURLの入力、または二次元コードを読み取り、専用のサイトから回答してください。

「こどもまんなか社会」の考え方（参考）

「こどもまんなか社会」とは、すべての子ども・若者が健やかに成長でき、将来にわたって幸せな状態で生活を送ることができる社会のことです。「こどもまんなか社会」をつくっていくために大事なことは、

- ◎ 子どもや若者のみなさんが生まれながらに持っている権利を大切にしながら、みなさんの今とこれからにとって最もよいことを行っていくこと
- ◎ 子どもや若者のみなさんの意見を聴きながら、一緒に進めていくこと
- ◎ 大人として自分らしく生活を送ることができるようになるまで、ずっと、しっかり支えていくこと

などです。このようなことを国が策定し、しっかりと取り組んでいくことが決められました。

何より大切なことは、皆様方のご意見です。これからも、子どもや若者の皆様の声に耳を傾け、大切にしながら、子どもや若者の皆様にとって最も良いことは何かを真摯に検討し、これまで大人が中心となって構築してきた社会を「こどもまんなか社会」へと変革していきます。

問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

1. 男	2. 女	3. その他
------	------	--------

問2 お子さまとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか(1つに○)

1. 父親(継父を含む)	2. 母親(継母を含む)	3. 祖父母
4. 叔父、叔母などの親戚	5. 兄・姉などの兄弟	6. その他()

問3 調査対象となるお子さまの学年をお答えください。(1つに○)

※小学5年生及び中学2年生のお子さまがいる場合は、「小学5年生」に○をしてください。

1. 小学5年生	2. 中学2年生
----------	----------

問4 お子さまと同居し、生計を同一にしているご家族の人数(お子さまを含む。)をお答えください。

※単身赴任中の方も含めてください。(1つに○)

1. 1人	2. 2人	3. 3人
4. 4人	5. 5人	6. 6人
7. 7人	8. 8人	9. 9人以上

問5 あなたの就労状況について、お答えください。(1つに○)

1. 正社員・正規職員・会社役員	2. 嘱託・契約社員・派遣社員
3. パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	4. 自営業(フリーランスを含む)
5. 働いていない	6. わからない

問6 あなたの婚姻状況について、お答えください。(1つに○)

1. 結婚している(再婚や事実婚を含む)	2. 離婚	3. 死別
4. 未婚	5. いない、わからない	

【問6で「1. 結婚している」を選択した方にお伺いします。】 該当しない方 ⇒問7へ

問6-1 あなたの配偶者(パートナー)の就労状況について、お答えください。(1つに○)

1. 正社員・正規職員・会社役員	2. 嘱託・契約社員・派遣社員
3. パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	4. 自営業(フリーランスを含む)
5. 働いていない	6. わからない

問7 前年の世帯全員の収入を合わせた「年間の世帯収入」をお答えください。(1つに○)

※令和5(2023)年の年間収入についてお答えください。

※単身赴任などで一時的に別居している方の収入も合わせた額でお答えください。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 200万円未満 | 2. 200～400万円未満 |
| 3. 400～600万円未満 | 4. 600～800万円未満 |
| 5. 800万円～1000万円未満 | 6. 1000万円以上 |
| 7. わからない | |

問8 あなたは、学校や地域において、子どもの親同士の交流の機会がありますか。(または、ありましたか。)(1つに○)

また、「ある・あった」方はどのような交流に参加していますか。(または、いましたか。)記述にてご記入ください。

- | | | |
|---------------|---|-------|
| 1. ある・あった(交流: |) | 2. ない |
|---------------|---|-------|

【問8で「1. ある・あった」を選択した方にお伺いします。】 該当しない方 ⇒問9へ

問8-1 親同士の交流を通じて、ご自身にとってどのような変化があったと思いますか。以下の

(1)～(7)それぞれにもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 子育てに必要な知識や意欲が高まった

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

(2) 子育てに対して悩みや不安、孤立感が軽減した

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

(3) 家族で協力しながら子育てができるようになった

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

(4) 学校と協力(相談)しながら子育てをするようになった

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

(5) 地域とつながりを持ちながら、子育てができるようになった

1. そう思う	2. ややそう思う	3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない	5. そう思わない	

(6) 子育てに関して必要な情報を必要なときに入手できるようになった

1. そう思う	2. ややそう思う	3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない	5. そう思わない	

(7) 子育てに関して必要なときに身近な相手に相談できるようになった

1. そう思う	2. ややそう思う	3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない	5. そう思わない	

【問8で「1. ある・あった」を選択した方にお伺いします。】 該当しない方 ⇒問9へ

問8-2 親同士の交流を深めるために、どのような機会があればいいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 学校行事の際に集まれる機会	2. 親同士が交流できる子育てイベント
3. 食事をしながら会話ができる機会	4. 親同士の定期的なサークル活動
5. 親子イベント	6. 子ども同士の交流
7. SNS を通じた交流機会の充実	8. わからない
9. その他 ()	

問9 保護者の方とお子さまの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。

(a)～f) それぞれについて、1つに○)

	あてはまる	あてはまる どちらかといえば	あてはまらない どちらかといえば	あてはまらない
a) テレビ・ゲーム・インターネットなどの視聴時間等のルールを決めている	1	2	3	4
b) お子さまに本や新聞を読むように勧めている	1	2	3	4
c) お子さまが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
d) お子さまから、学校のことについて話をしてくれる	1	2	3	4
e) お子さまが悪いことをしたらきちんとしかっている	1	2	3	4
f) お子さまの良いところをほめるなどして自信を持たせるようにしている	1	2	3	4

問 10 あなたが、次の中から児童虐待と思うものを選んでください。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. しつけとして子どもを叩く | 2. 子どもの前で激しい夫婦喧嘩をする |
| 3. 子どもを不潔なまま放置する | 4. 子どもが病気になっても病院を受診しない |
| 5. 子どもにきちんとした食事を与えない | 6. 性的描写のある画像等を子どもに見せる |
| 7. 兄弟・姉妹間で子どもを著しく差別して扱う | 8. 同居人による虐待を見て見ぬふりをする |
| 9. その他 () | |

問 11 どのようなことがあれば児童虐待を防ぐことができると思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 親のための子育て教室 | 2. 望まない妊娠を防ぐ性教育 |
| 3. 子育てを支援してくれる団体の情報 | 4. 相談できる相手がいる |
| 5. 子どもの成長に関する知識 | 6. 小さい子どもとふれあう機会 |
| 7. 身近で子育てに協力してくれる人 | 8. 経済的支援(児童手当など)の増加 |
| 9. 「いのち」の大切さを学ぶ機会 | 10. 児童虐待防止についての正しい知識・啓発 |
| 11. 子どもを大切にするまちづくり | 12. 虐待事件への厳罰化 |
| 13. その他 () | 14. 防ぐことはできない |

問 12 あなたは、瑞穂町が「こどもまんなか社会」の実現に向かっていると思いますか。(1つに○)
※「こどもまんなか社会」：常に子どもの最善の利益を第一に考え、子どもに関する取組・政策を我が国社会の真ん中に捉えることで、全ての子ども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる社会(詳細は表紙裏面に記載)

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | 6. わからない |

問 13 あなたは、瑞穂町の取組において、子ども・若者の意見を聞いてもらえていると思いますか。
(1つに○)

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | 6. わからない |

問 14 あなたは、瑞穂町が、結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっていると思いますか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | 6. わからない |

問 15 「こどもの権利」とは、子どもが大人と同じく一人の人間として持つ権利です。権利には安心して生活できること、自由に意見を言ったり活動したりできることなどが含まれます。あなたは、「こどもの権利」について知っていますか。（1つに○）

1. 詳しく知っている	2. 少し知っている
3. 聞いたことがある	4. 聞いたことがない

問 16 あなた自身の思いや気持ちについて、もっとも近いものはどれですか。
以下の（１）～（４）それぞれにもっともあてはまる番号１つに○をつけてください。

（１）社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がある

1. あてはまる	2. どちらかといえばあてはまる	3. どちらかといえばあてはまらない
4. あてはまらない	5. わからない	

（２）今の自分が好きだ

1. あてはまる	2. どちらかといえばあてはまる	3. どちらかといえばあてはまらない
4. あてはまらない	5. わからない	

（３）自分には自分らしさというものがあると思う

1. あてはまる	2. どちらかといえばあてはまる	3. どちらかといえばあてはまらない
4. あてはまらない	5. わからない	

（４）自分の将来について希望を持っている

1. あてはまる	2. どちらかといえばあてはまる	3. どちらかといえばあてはまらない
4. あてはまらない	5. わからない	

問 17 あなたは、これから子ども・若者のために、瑞穂町に必要な取組は何だと思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

1. お金の心配をすることなく学べる （進学・塾に行く）ように支援する	2. 就職に向けた相談やサポート体制を充実 させる
3. 技術や資格取得を支援する	4. イベントやボランティアなどの自主的な 活動を支援する
5. 自由に過ごせる場を増やす	6. 自分の意見を発表できる機会を増やす
7. 困難を抱える子ども・若者を包括的に 支援する体制を整備する	8. 参加したり過ごしたりできる場やイベン トなどの情報を提供する
9. その他（ ）	10. 特にない
11. 子どもを大切にするまちづくり	

問 18 今の生活に関して、日頃感じていることや悩みごとなどがありましたら、自由に書いてください。

問 19 あなたにとって、瑞穂町をより良い町にするためには、どのような取組が大事だと思いますか。自由に書いてください。

アンケートはこれで終了です！
ご協力ありがとうございました。



町内在住の16歳・17歳



瑞穂町の子ども・若者のために あなたの声をお聞かせください



瑞穂町子ども・若者の生活実態調査

(町内在住の16歳・17歳用)

～ 調査ご協力をお願い ～

皆様には、日頃から瑞穂町の子ども・子育て支援施策にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、瑞穂町は「第2期瑞穂町子ども・子育て支援事業計画」（令和2年度～令和6年度）に基づき、子ども・子育て支援施策を推進しているところですが、令和5年4月1日、国において、こども基本法が施行されたことに伴い「瑞穂町子ども計画」を新たに策定することとなりました。

こども基本法に基づき、国がこども施策を総合的に推進するために定めたこども大綱では、「こどもまんなか社会」の実現を目指しており、その実現に向けてどんなことに取り組むかなど、こども大綱を勘案し、同計画にとりまとめていくことが求められています。

この調査は、小学生や中学生をはじめ、小学生・中学生の保護者、高校生年代、20代、30代と計画の対象となる幅広い年代から、様々な意見を聴取し、同計画に反映させるために実施するものとなりますので、ご多用のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年7月

瑞穂町長 杉浦 裕之

回答期限：令和6年8月16日（金）まで

【本調査についてのお問合せは次のところまでお願いします。】

瑞穂町 福祉部 子育て応援課 子育て支援係

電話：042-557-7624（直通） メール：kosodate@town.mizuho.tokyo.jp

Web 回答はこちらから→

Web 入力用 ID：1111

URL：<https://logoform.jp/f/●●●●>



（このIDは個人情報を特定するものではありません）

【ご記入・ご提出にあたってのお願い】



- この調査は無記名です。
- 鉛筆またはボールペンで記入してください。
- 質問を読み、あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。
- お答えになりにくい質問があるかもしれませんが、できるだけすべての質問にお答えいただければ幸いです。
- アンケートは、本調査用紙に記入するか、Webでご回答ください。
- 紙で回答された方は、同封の返信用封筒に入れ、お近くの郵便ポストにご投函ください。切手は必要ありません。
- Webで回答する方は、表紙の右下にある二次元コードを読み取り、専用のサイトから回答してください。

「こどもまんなか社会」の考え方（参考）

「こどもまんなか社会」とは、すべての子ども・若者が健やかに成長でき、将来にわたって幸せな状態で生活を送ることができる社会のことです。「こどもまんなか社会」をつくっていくために大事なことは、

- ◎ 子どもや若者のみなさんが生まれながらに持っている権利を大切にしながら、みなさんの今とこれからにとって最もよいことを行っていくこと
- ◎ 子どもや若者のみなさんの意見を聴きながら、一緒に進めていくこと
- ◎ 大人として自分らしく生活を送ることができるようになるまで、ずっと、しっかり支えていくこと

などです。このようなことを国が策定し、しっかりと取り組んでいくことが決められました。

何より大切なことは、皆様方のご意見です。これからも、子どもや若者の皆様の声に耳を傾け、大切にしながら、子どもや若者の皆様にとって最も良いことは何かを真摯に検討し、これまで大人が中心となって構築してきた社会を「こどもまんなか社会」へと変革していきます。

問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

1. 男	2. 女	3. その他
------	------	--------

問2 一緒に暮らしているご家族はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 父親	2. 母親	3. 兄弟姉妹
4. 祖父母	5. その他の親戚	6. その他 ()

問3 次の場所は、あなたにとって、ほっとできる場所・安心できる場所になっていますか。

ア) ～ウ) それぞれにもっともあてはまる番号に○をつけてください。(1つに○)

	はい	いいえ	わからない
ア) 家庭	1	2	3
イ) 学校等	1	2	3
ウ) インターネット空間 (SNS やオンラインゲーム など)	1	2	3

問4 あなたは、次のうち、どのような場所で遊びや体験をしてみたいですか。

(○は3つまで)

1. 身近な公園	2. 大きなスポーツ施設
3. 自然体験ができる場所	4. 屋内レジャー施設
5. 芸術鑑賞が楽しめる場所	6. 様々な職業体験ができる場所
7. 買い物ができる場所	8. 生き物とふれあう場所
9. 国際交流体験ができる場所	10. お祭りやイベントなどの地域行事
11. したい活動はない	12. その他 ()

問5 あなたは、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか。

※学校の授業時間以外の時間をお答えください。また、教科書や参考書、マンガや雑誌を除きます。(1つに○)

1. まったくしない	2. 30分未満
3. 30分～1時間未満	4. 1時間以上
5. わからない	

問6 現在、どのような進路を希望していますか。(1つに○)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 大学・短大・専門学校などに進学(理系) | 2. 大学・短大・専門学校などに進学(文系) |
| 3. 就職(理系) | 4. 就職(文系) |
| 5. その他() | 6. まだ進学するか就職するか決めていない |
| 7. 既に就職している | |

【問6で「1～4」を選択した方にお伺いします。】 該当しない方 ⇒問7へ

問6-1 問6で答えた理由はなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|--|
| 1. 希望する学校や職業があるから | |
| 2. 自分の成績から考えてそう感じたから | |
| 3. 親がそう言っているから | |
| 4. 兄・姉がそうしているから | |
| 5. まわりの先輩や友達がそうしているから | |
| 6. 家にお金がないと思うから | |
| 7. 早く働く必要があるから | |
| 8. その他() | |
| 9. 特に理由はない | |

問7 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(1つに○)

※ここでの「お世話」とは、本来大人がする家事や、介護や子育てなどの面倒を見ることです。
お手伝いやきょうだいの遊び相手をすることは含みません。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

【問7で「1. いる」を選択した方にお伺いします。】 該当しない方 ⇒問8へ

問7-1 あなたと一緒に暮らしている大人の代わりに行っているお世話は、どのようなものですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|--|
| 1. 家事(食事の準備や掃除、洗濯など) | |
| 2. きょうだいの世話や送迎など | |
| 3. 家族の介護(入浴やトイレのお世話など) | |
| 4. 通院などへのつきそい | |
| 5. ぐちを聞く、話し相手になる | |
| 6. その他() | |

【問7で「1. いる」を選択した方にお伺いします。】該当しない方 ⇒問8へ

問7-2 お世話をすることに大変さを感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. 体力の面で大変 | 2. 気持ちの面で大変 |
| 3. 時間の余裕がない | 4. 特に大変さは感じていない |

問8 現在、悩んでいることや不安に感じていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 友達関係のこと | 2. 家族関係のこと |
| 3. 勉強や進学のこと | 4. 学校生活のこと |
| 5. 自分の健康のこと | 6. 自分の見た目のこと |
| 7. 恋愛のこと | 8. 将来のこと |
| 9. その他 () | 10. 特に悩みや不安はない |

問9 あなたは、落ち込んだ時に、助けてもらったり、相談する人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|----------|
| 1. 家族や親せき | 2. 友達 |
| 3. 学校の先生 | 4. 地域の人 |
| 5. その他 () | 6. わからない |
| 7. いない | |

問10 あなたは普段、インターネットやSNS (LINE、X、Instagram、YouTube、TikTok など) をどのくらい利用しますか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に3～5日程度 | 3. 週に1～2日程度 |
| 4. まったく利用しない | 5. わからない | |

【問10で「1. ほぼ毎日」を選択した方にお伺いします。】該当しない方 ⇒問11へ

問10-1 あなたは普段、インターネットやSNS (LINE、X、Instagram、YouTube、TikTok など) を1日にどのくらい利用しますか。(1つに○)

- | | | |
|----------|------------|------------|
| 1. 1時間未満 | 2. 1～3時間未満 | 3. 3～5時間未満 |
| 4. 5時間以上 | 5. わからない | |

問11 あなたが性的暴力や性的ハラスメントを受けた時、声をあげられると思いますか。

(1つに○)

- | | | |
|-------|---------|----------|
| 1. 思う | 2. 思わない | 3. わからない |
|-------|---------|----------|

【問 11 で「2. 思わない」を選択した方にお伺いします。】該当しない方 ⇒問 12 へ

問 11-1 あなたが性的暴力や性的ハラスメントを受けた時、声をあげられないのはなぜですか。(1つに○)

- | |
|-----------------------|
| 1. 人に知られたくないから |
| 2. 学校や職場など、周囲への影響を考えて |
| 3. 自分が責められないか不安だから |
| 4. 相手との関係を考えて |
| 5. その他 () |

問 12 あなたが性的暴力や性的ハラスメントを受けた場合、話や相談をできると思いますか。(1つに○)

- | | | |
|-------|---------|----------|
| 1. 思う | 2. 思わない | 3. わからない |
|-------|---------|----------|

【問 12 で「1. 思う」を選択した方にお伺いします。】該当しない方 ⇒問 13 へ

問 12-1 あなたが性的暴力や性的ハラスメントを受けた場合、主に誰に話や相談をしますか。(1つに○)

- | | | |
|------------|----------|-------------|
| 1. 専門の相談窓口 | 2. 家族 | 3. 警察 |
| 4. 友達 | 5. 学校の先生 | 6. 職場の同僚や上司 |
| 7. その他 () | | |

問 13 あなたは、以下のような相談窓口を知っていますか。

1) 性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター（内閣府）

※緊急避妊薬の処方や性感染症検査、証拠採取などの医療的支援、相談・カウンセリングなどの心理的支援、警察への同行支援、弁護士など専門家を紹介する法的支援などを行います。



全国共通番号 #8891（はやくワンストップ）

・最寄りのワンストップ支援センターにつながります。

←詳細はこちらの二次元コードから読み取り、ご覧ください。

https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/seibouryoku/consult.html

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

2) 性暴力に関する SNS 相談「Curetime」(内閣府)

※「被害のこと、電話だと話しにくいな。」そんなとき、チャットで話してみませんか？警察のこと、病院のこと、つらい気持ち。一人で悩まず、相談してください。専門の相談員と一緒に考えます。秘密は守られます。



←詳細はこちらの二次元コードから読み取り、ご覧ください。
<https://curetime.jp/>

1. はい

2. いいえ

3) 性犯罪被害相談電話(警察)

※性犯罪・性暴力被害等の相談に応じる警察の窓口です。

#8103 (ハートさん)

- この番号にダイヤルしていただくと、発信場所を管轄する都道府県警察の性犯罪被害相談電話につながります。【24 時間対応】

1. はい

2. いいえ

4) 警察相談専用電話(警察)

※犯罪被害の未然防止に関する相談等、各種相談に応じる警察の窓口です。

#9110

- 発信場所を管轄する都道府県警察の本部の総合窓口につながります。【最寄りの警察署でも対応】
- 24 時間受付体制の一部の県警を除き、当直または音声案内で対応します。
【土日・祝日および執務時間外】

1. はい

2. いいえ

5) 親子のため相談 LINE (こども家庭庁)

※「親子のための相談 LINE」は、子育てや親子関係について悩んだ時に、子ども(18 歳未満)とその保護者の方などが相談できる窓口です。



←詳細はこちらの二次元コードから読み取り、ご覧ください。
<https://kodomoshien.cfa.go.jp/no-gyakutai/oyako-line/>

1. はい

2. いいえ

問 14 あなたは、瑞穂町が「こどもまんなか社会」の実現に向かっていると思いますか。(1つに○)
 ※「こどもまんなか社会」：常に子どもの最善の利益を第一に考え、子どもに関する取組・政策を我が国社会の真ん中に捉えることで、全ての子ども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる社会（詳細は表紙裏面に記載）

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | 6. わからない |

問 15 あなたは、瑞穂町の取組において、子ども・若者の意見を聞いてもらえていると思いますか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

問 16 あなたは、瑞穂町が、結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっていると思いますか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

問 17 「こどもの権利」とは、子どもが大人と同じく一人の人間として持つ権利です。権利には安心して生活できること、自由に意見を言ったり活動したりできることなどが含まれます。あなたは、「こどもの権利」について知っていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 詳しく知っている | 2. 少し知っている |
| 3. 聞いたことがある | 4. 聞いたことがない |

問 18 あなた自身の思いや気持ちについて、もっとも近いものはどれですか。
 以下の(1)～(5)それぞれにもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がある

- | | | |
|------------|------------------|--------------------|
| 1. あてはまる | 2. どちらかといえばあてはまる | 3. どちらかといえばあてはまらない |
| 4. あてはまらない | 5. わからない | |

(2) 今の自分が好きだ

- | | | |
|------------|------------------|--------------------|
| 1. あてはまる | 2. どちらかといえばあてはまる | 3. どちらかといえばあてはまらない |
| 4. あてはまらない | 5. わからない | |

(3) 自分には自分らしさというものがあると思う

- | | | |
|------------|------------------|--------------------|
| 1. あてはまる | 2. どちらかといえばあてはまる | 3. どちらかといえばあてはまらない |
| 4. あてはまらない | 5. わからない | |

(4) 自分の将来について希望を持っている

- | | | |
|------------|------------------|--------------------|
| 1. あてはまる | 2. どちらかといえばあてはまる | 3. どちらかといえばあてはまらない |
| 4. あてはまらない | 5. わからない | |

(5) 自分には困った時に助けてくれる人がいる

- | | | |
|------------|------------------|--------------------|
| 1. あてはまる | 2. どちらかといえばあてはまる | 3. どちらかといえばあてはまらない |
| 4. あてはまらない | 5. わからない | |

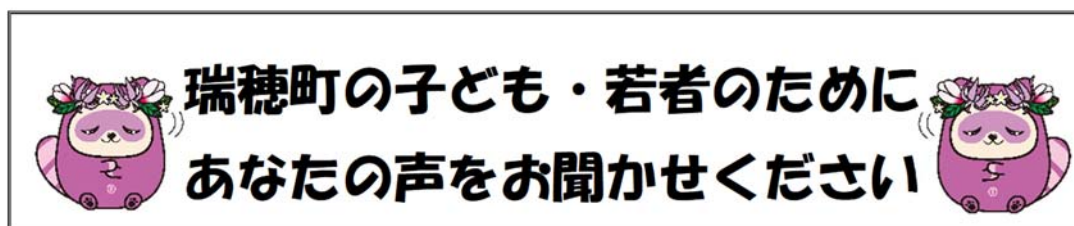
問 19 今の生活に関して、日頃感じていることや悩みごとなどがありましたら、自由に書いてください。

問 20 あなたにとって、瑞穂町をより良い町にするためには、どのような取組が大事だと思いますか。自由に書いてください。

アンケートはこれで終了です！
ご協力ありがとうございました。



町内在住の18歳～39歳



瑞穂町子ども・若者の生活実態調査

(町内在住の18歳～39歳用)

～ 調査ご協力をお願い ～

皆様には、日頃から瑞穂町の子ども・子育て支援施策にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、瑞穂町は「第2期瑞穂町子ども・子育て支援事業計画」（令和2年度～令和6年度）に基づき、子ども・子育て支援施策を推進しているところですが、令和5年4月1日、国において、こども基本法が施行されたことに伴い「瑞穂町子ども計画」を新たに策定することとなりました。

こども基本法に基づき、国がこども施策を総合的に推進するために定めたこども大綱では、「こどもまんなか社会」の実現を目指しており、その実現に向けてどんなことに取り組むかなど、こども大綱を勘案し、同計画にとりまとめていくことが求められています。

この調査は、小学生や中学生をはじめ、小学生・中学生の保護者、高校生年代、20代、30代と計画の対象となる幅広い年代から、様々な意見を聴取し、同計画に反映させるために実施するものとなりますので、ご多用のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年7月

瑞穂町長 杉浦 裕之

回答期限：令和6年8月16日（金）まで

【本調査についてのお問合せは次のところまでお願いします。】

瑞穂町 福祉部 子育て応援課 子育て支援係

電話：042-557-7624（直通） メール：kosodate@town.mizuho.tokyo.jp

Web 回答はこちらから→

Web 入力用 ID：1111

URL: <https://logoform.jp/f/●●●●>



(このIDは個人情報を特定するものではありません)

【ご記入・ご提出にあたってのお願い】



- この調査は無記名です。
- 鉛筆またはボールペンで記入してください。
- 質問を読み、あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。
- お答えになりにくい質問があるかもしれませんが、できるだけすべての質問にお答えいただければ幸いです。
- アンケートは、本調査用紙に記入するか、Webでご回答ください。
- 紙で回答された方は、同封の返信用封筒に入れ、お近くの郵便ポストにご投函ください。切手は必要ありません。
- Webで回答する方は、表紙の右下にある二次元コードを読み取り、専用のサイトから回答してください。

「こどもまんなか社会」の考え方（参考）

「こどもまんなか社会」とは、すべての子ども・若者が健やかに成長でき、将来にわたって幸せな状態で生活を送ることができる社会のことです。「こどもまんなか社会」をつくっていくために大事なことは、

- ◎ 子どもや若者のみなさんが生まれながらに持っている権利を大切にしながら、みなさんの今とこれからにとって最もよいことを行っていくこと
- ◎ 子どもや若者のみなさんの意見を聴きながら、一緒に進めていくこと
- ◎ 大人として自分らしく生活を送ることができるようになるまで、ずっと、しっかり支えていくこと

などです。このようなことを国が策定し、しっかりと取り組んでいくことが決められました。

何より大切なことは、皆様方のご意見です。これからも、子どもや若者の皆様の声に耳を傾け、大切にしながら、子どもや若者の皆様にとって最も良いことは何かを真摯に検討し、これまで大人が中心となって構築してきた社会を「こどもまんなか社会」へと変革していきます。

問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

1. 男 2. 女 3. その他

問2 あなたの年齢（令和6年7月1日“現在”）をお答えください。（1つに○）

() 歲

問3 あなたの就労状況について、お答えください。(1つに○)

1. 正社員・正規職員・会社役員
2. 嘱託・契約社員・派遣社員
3. パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員
4. 自営業（フリーランスを含む）
5. 学生・浪人・予備校生
6. その他（ ）
7. 働いていない

問4 現在、あなたと同居している方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者（パートナー）	2. 父親	3. 母親
4. あなたの子ども	5. 祖父母	6. いない（ひとり暮らし）
7. その他（ ）		

【問4で「1. 配偶者（パートナー）」を選択した方にお伺いします。】 該当しない方 ⇒問5へ
問4-1 あなたの配偶者（パートナー）の就労状況について、お答えください。（1つに○）

1. 正社員・正規職員・会社役員
2. 嘱託・契約社員・派遣社
3. パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員
4. 自営業（フリーランスを含む）
5. 学生・浪人・予備校生
6. その他（
7. 働いていない

問5 あなたに、子どもはいますか。(1つに○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

【問5で「1. はい」を選択した方にお伺いします。】 該当しない方 ⇒問6へ

問5-1 あなたは、学校や地域において、子どもの親同士の交流の機会がありますか。（または、ありましたか。）（1つに○）
また、「ある・あった」方はどのような交流に参加していますか。（または、いましたか。）
記述にてご記入ください。

1. ある・あった（交流： ） 2. ない

【問5-1で「1. ある・あった」を選択した方にお伺いします。】 該当しない方 ⇒問6へ

問5-2 親同士の交流を通じて、ご自身にとってどのような変化があったと思いますか。以下の

(1)～(7)それぞれにもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 子育てに必要な知識や意欲が高まった

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

(2) 子育てに対して悩みや不安、孤立感が軽減した

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

(3) 家族で協力しながら子育てができるようになった

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

(4) 学校と協力（相談）しながら子育てをするようになった

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

(5) 地域とつながりを持ちながら、子育てができるようになった

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

(6) 子育てに関して必要な情報を必要なときに入手できるようになった

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

(7) 子育てに関して必要なときに身近な相手に相談できるようになった

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

【問5-1で「1. ある・あった」を選択した方にお伺いします。】 該当しない方 ⇒問6へ
問5-3 親同士の交流を深めるために、どのような機会があればいいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 学校行事の際に集まれる機会
2. 親同士が交流できる子育てイベント
3. 食事をしながら会話がでる機会
4. 親同士の定期的なサークル活動
5. 親子イベント
6. 子ども同士の交流
7. SNS を通じた交流機会の充実
8. わからない
9. その他（ ）

問6 あなたが、次の中から児童虐待だと思うものを選んでください。
(あてはまるものすべてに○)

1. しつけとして子どもを叩く
2. 子どもの前で激しい夫婦喧嘩をする
3. 子どもを不潔なまま放置する
4. 子どもが病気になっても病院を受診しない
5. 子どもにきちんとした食事を与えない
6. 性的描写のある画像等を子どもに見せる
7. 兄弟・姉妹間で子どもを著しく差別して扱う
8. 同居人による虐待を見て見ぬふりをする
9. その他（ ）

問7 どのようなことがあれば児童虐待を防ぐことができると思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 親のための子育て教室
2. 望まない妊娠を防ぐ性教育
3. 子育てを支援してくれる団体の情報
4. 相談できる相手がいる
5. 子どもの成長に関する知識
6. 小さい子どもとふれあう機会
7. 身近で子育てに協力してくれる人
8. 経済的支援(児童手当など)の増加
9. 「いのち」の大切さを学ぶ機会
10. 児童虐待防止についての正しい知識・啓発
11. 子どもを大切にするまちづくり
12. 虐待事件への厳罰化
13. その他()
14. 防ぐことはできない

問8 あなたは、瑞穂町が「こどもまんなか社会」の実現に向かっていると思いますか。(1つに○)
 ※「こどもまんなか社会」：常に子どもの最善の利益を第一に考え、子どもに関する取組・政策を我が国社会の真ん中に捉えることで、全ての子ども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる社会（詳細は表紙裏面に記載）

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない 5. そう思わない 6. わからない

問9 あなたは、瑞穂町の取組において、子ども・若者の意見を聞いてもらえていると思いますか。

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない 5. そう思わない 6. わからない

問 10 あなたは、瑞穂町が、結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっていていると思いますか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | 6. わからない |

問 11 「こどもの権利」とは、子どもが大人と同じく一人の人間として持つ権利です。権利には安心して生活できること、自由に意見を言ったり活動したりできることなどが含まれます。あなたは、「こどもの権利」について知っていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 詳しく知っている | 2. 少し知っている |
| 3. 聞いたことがある | 4. 聞いたことがない |

問 12 あなた自身の思いや気持ちについて、もっとも近いものはどれですか。
以下の(1)～(4)それぞれにもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がある

- | | | |
|------------|------------------|--------------------|
| 1. あてはまる | 2. どちらかといえばあてはまる | 3. どちらかといえばあてはまらない |
| 4. あてはまらない | 5. わからない | |

(2) 今の自分が好きだ

- | | | |
|------------|------------------|--------------------|
| 1. あてはまる | 2. どちらかといえばあてはまる | 3. どちらかといえばあてはまらない |
| 4. あてはまらない | 5. わからない | |

(3) 自分には自分らしさというものがあると思う

- | | | |
|------------|------------------|--------------------|
| 1. あてはまる | 2. どちらかといえばあてはまる | 3. どちらかといえばあてはまらない |
| 4. あてはまらない | 5. わからない | |

(4) 自分の将来について希望を持っている

- | | | |
|------------|------------------|--------------------|
| 1. あてはまる | 2. どちらかといえばあてはまる | 3. どちらかといえばあてはまらない |
| 4. あてはまらない | 5. わからない | |

問 13 あなたは、これから子ども・若者のために、瑞穂町に必要な取組は何だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. お金の心配をすることなく学べる
(進学・塾に行く) ように支援する
2. 就職に向けた相談やサポート体制を充実させる
3. 技術や資格取得を支援する
4. イベントやボランティアなどの自主的な活動を支援する
5. 自由に過ごせる場を増やす
6. 自分の意見を発表できる機会を増やす
7. 困難を抱える子ども・若者を包括的に支援する体制を整備する
8. 参加したり過ごしたりできる場やイベントなどの情報を提供する
9. その他 ()
10. 特になし
11. 子どもを大切にするまちづくり

問 14 今の生活に関して、日頃感じていることや悩みごとなどがありましたら、自由に書いてください。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There is a vertical margin line on the left side, creating a narrow left margin. The paper appears to be from a notebook or a standard ruled document.

瑞穂町子ども・若者の生活実態調査報告書

令和7年3月

発行 瑞穂町

企画・編集 瑞穂町福祉部子育て応援課

〒190-1292

東京都西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎2335番地

TEL 042-557-7624

FAX 042-556-3401